

地元就職促進に関する調査研究報告書

(全体版)

2017年3月

姫路市

目次

I	姫路市の現状	5
I-1	姫路市の姿	5
I-2	居住地としての姫路市	5
I-3	姫路市の人口動態	7
I-4	転出の理由	8
II	調査	9
II-1	調査の目的	9
II-2	調査票の設計	9
II-2-1	若年層の人口流出に関する先行研究	9
II-2-2	調査対象者	11
II-2-3	調査方法	11
II-2-4	予備調査	11
II-2-5	質問項目の設定	11
III	調査結果と分析	13
III-1	調査の概要	13
III-2	結果分析における留意点	13
III-3	調査結果の見方	16
III-4-1	Q1-1：将来やりたい仕事がある	17
III-4-2	Q1-2：公務員になりたい	18
III-4-3	Q1-3：国際的な仕事がしたい	20
III-4-4	Q1-4：専門性の高い仕事をしたい	21
III-4-5	Q1-5：将来独立起業したい	23
III-4-6	Q1-6：自分は就職活動に対して意欲的な方だと思う	24
III-4-7	Q1-7：すでに就職活動準備に取りかかっている	25
III-4-8	Q1-8：できれば働きたくない	26

III-4-9	Q1-9 : 仕事をする自分がイメージできない	27
III-4-10	Q1-10 : フリーターもやむをえない.....	28
III-4-11	Q1-11 : 就職活動は不安である.....	29
III-4-12	Q1-12 : 親と就職の話をよくする	30
III-4-13	Q1-13 : 親は「好きにきなさい」と言う	31
III-4-14	Q1-14 : 親は地元で就職することを勧める	32
III-4-15	Q1-15 : 親は公務員になることを勧める	33
III-4-16	Q1-16 : 就職については親と意見が合わない	34
III-4-17	Q1-17 : 自分の学業成績は上位だと思う	35
III-4-18	Q2 : 就きたい業種.....	36
III-4-19	Q3 : 就きたくない業種.....	38
III-4-20	Q4 : 就きたい職種.....	40
III-4-21	Q5 : 就きたくない職種.....	43
III-4-22	Q6 : 就職先を選ぶときに重視するポイント	45
III-4-23	Q7 : 企業にどんな制度があれば良いか.....	46
III-4-24	Q8 : 卒業後の進路予定.....	47
III-4-25	Q9 : 進路を決めるとき参考にする情報源.....	48
III-4-26	Q10 : 将来働くことになったときの就職先（地域）	50
III-4-27	Q11 : 姫路市内での就職意思.....	52
III-4-28	Q12 : 姫路市内で就職したい或いはしたくない理由	53
III-4-29	Q13 : 姫路市の生活環境で好きな点.....	54
III-4-30	Q14 : 姫路市の生活環境で嫌いな点	55
III-5	属性を加味した分析.....	56
III-5-1	学業成績との関連.....	57
III-5-2	進路予定との関連.....	58
III-5-3	出生順位との関連.....	59
III-5-4	就業意欲との関連.....	60

III-5-5 外出頻度との関連	61
IV 総括	62
参考文献	63
V 付録（資料編）	65
V-1 調査票	66
V-2 自由回答一覧	73
V-2-1 【高校生】	73
V-2-2 【大学生】	112

はじめに

姫路市の雇用状況は、総じて良好であるものの、若年層の市外流出が指摘されている。人口減少という潮流のなか、魅力ある地域づくりを実現するためには、地域で活躍する人材を育て、定住を促進しなければならない。しかし、地域における雇用の現状については、表層的な数値的資料は存在するものの、その実態は未解明である。姫路市の雇用政策のみならず、企業を含めた地域経済・地域社会の安定的な発展のための有効な対応策を提案するためにも、若年層の進学・就業意識の実態を把握することは重要である。そこで、姫路経営者協会は、姫路市が実施する調査・研究事業の一環として、地元就職促進に関する実態調査を行うことになった。

若年層の意識に関する基礎資料を収集するために、姫路市内に立地する高校、大学の協力を仰いだ。生徒・学生の就職や進学といった進路に対する考え方を知ることによって、姫路市が抱える雇用問題に関する、新たな洞察を得ることを期待するものである。

本調査報告書は、主に 5 つのパートから構成されている。最初に、姫路市の現状を概観した。次に、今回の調査で使用された調査票について解説した。続いて、得られた調査結果とその分析を行った。総括として、調査から明らかになった主な知見を整理し、最後に、付録として各種資料を収録している。

I 姫路市の現状

調査報告を行うにあたり、姫路市を取り巻く環境について若干の説明をしておく。姫路市は、各種指標からは総じて良好な住環境に恵まれている街と見做せるものの、実は転出者が多い実態がある。死亡者数が出生者数を上回る傾向にも歯止めがかからず、社会減と自然減の勢いをそのままにしておけば、現在 53 万余の姫路市の人口は、2060 年には 36 万人にまで減少することが予想されている。

I-1 姫路市の姿

兵庫県南西部に位置する姫路市は、温暖な気候や播磨平野という地理的な条件に恵まれていることもあり、歴史的にも経済・文化面で豊かな発展をみた地域といえる。そのため、播磨圏域の経済・産業の中心都市として位置付けられている。

表 1 に示すように、姫路市の人口は、全国 813 市区のなかで、31 位に相当する 53 万人を擁する。世帯数は、34 位に順ずる 225,300 世帯が暮らす一大都市であり、全国の市区ランキングでいえば、上位 5%内に入る巨大都市といえよう。市域面積も広大といえ、534.47 km²と上位 20%以内にランキングされる。

その他の各種統計指標もまた、概ね良好な高順位を示しているが、マンパワーと生活基盤は低位に沈んでおり、特に、病院数や自動車の所有率は、市の規模を考慮すると充実しているとはいえないだろう。

I-2 居住地としての姫路市

播磨圏域の中心地たる姫路市は、各種ランキング調査において高く位置づけられている。たとえば、ブランド総合研究所の「地域ブランド調査 2015」では、調査対象となった 1000 市町村区のなかで、姫路市は 16 位の魅力度とされている。翌年には、回答者の対象年齢を拡大した影響もあってか、27 位に順位を落としているものの、上位 2%~3%以内にランクインしている。

また、経済産業省の「生活コストの『見える化』システム」による地域の暮らしやすさ指標の貨幣価値総合評価ランキングでは、「30 歳代：利便性志向：夫婦と子ども（小中学生）の世帯」の場合、兵庫県内で 2 位、近畿地方内で 10 位にランクインしている。特に、地域の保育所の待機児童率の低さや大気汚染物質濃度の低さなどで高評価を得ている。

一方で、「姫路」地域が住みたい街として上位にランキングされているにもかかわらず、「姫路市」はそれほどの評価を得ていない。「SUUMO 関西住みたい街ランキング 2016」の「住みたい行政市区ランキング」においては、「姫路市」は、30 位以内にも入っていない。「姫路」という地域名は、総合ランクで 21 位にあり、兵庫県民によるランキングでは 7 位となっていることから、姫路城といった文化施設がイメージの牽引役となって、居住地としての魅力は乏しいものの、街としての魅力は高まっていることを示唆している。

表 1 姫路市の姿

		順位	数値
地勢	面積	130 位	534.47 km ²
	人口（住民基本台帳）	31 位	532,949 人
	世帯数（住民基本台帳）	34 位	225,317 世帯
財政力	経常収支比率	65 位	83.7%
	公債費負担比率	371 位	14.4%
	実質交際費比率	237 位	6.4%
	将来負担比率	306 位	25.1%
	財政力指数	155 位	0.85
経済力	事業所数	31 位	25,055 事業所
	従業者数	33 位	255,212 人
	上場企業本社	30 位	16 社
	製造品出荷額等	14 位	24,087 億円
	卸売業年間販売額	43 位	10,342 億円
	小売業年間販売額	34 位	5,118 億円
	大型店店舗数	25 位	96 店
	大型店店舗面積	25 位	484,369 m ²
マンパワー・生活基盤等	労働力人口	30 位	259,873 人
	昼夜間人口比率	213 位	101.14%
	納税者 1 人当たり所得	174 位	322.1 万円
	世帯当たり乗用車保有台数	521 位	1.25 台
	人口 1 万人当たり病院数・ 一般診療所数	397 位	8.04 所
	人口 1 万人当たり医師数	271 位	21.02 人

姫路商工会議所『図で見る姫路経済 2016』

I-3 姫路市の人口動態

総務省による「住民基本台帳人口移動報告」によれば、2015年度に兵庫県の転出超過数は7,409人に上っている。これは北海道に続いて全国第2位の多さである。転入者は87,946人あったものの、転出者が95,355人となり、前年の全国3位からさらに悪化した。

そのような兵庫県に位置している姫路市の人口移動を見ると、先述の相対的な好イメージと実態には大きな乖離がある。

人口動態の内容を観察すると、1990年から2010年までの20年間で、姫路市の65歳以上の高齢者人口は約59,000人増加している。15～64歳の生産年齢人口は約14,000人減少し、15歳未満の人口も約18,000人減少している。つまり、いわゆる、少子高齢化が姫路市においても進行しつつある。しかし、全国の他の自治体と比較すれば、姫路市の人口構成は、年少人口が比較的高い割合で維持され、高齢化率は25%にとどまっている。

人口動態をさらに詳細に観察すると、あまり楽観視できない現実が露見する。2015年の姫路市の転出超過数は、1,173人であり、これは全国の自治体の10位に相当する。2012年までは転入超過だったが、2013年以後は転出超過に転じ、3年連続で出ていく者が多かったという現実を示している。

たとえば、兵庫県の県庁所在地であり、政令指定都市でもある神戸市は、同じく転出超過傾向を示し始めている。この神戸市と比較すると、2016年の神戸市の出生率は7.89%であり、同じく2016年の姫路市の8.69%よりも低い。しかし、神戸市は転入者が多いことから、直近15年の社会増減数をみても、2012年と2014年以外は転入超過となっている。転出超過だった両年といえども、その数はそれぞれ、373人（2012年）と142人（2014年）でしかなく、姫路市の人口流出の現状が深刻であることがわかる。

神戸市との比較で明らかになったとおり、姫路市は自然減というよりも社会減の程度が著しく高い都市である。社会減の影響は、税収が減少する可能性が高まることを暗示しており、自治体を経営していくにあたって、社会減に対応すべき課題が潜在的に存在していることが示唆されている。

さらに、転出者の特徴を精査してみる。2012年の「姫路市町別人口・年齢別人口調査結果」によれば、姫路市から兵庫県外に転出した6,970人のなかで、最も多い年齢層は、1,310人の20～24歳であり、続いて、1,276人の25～29歳である。県内に転出した5,840人のなかで、最も多い年齢層は、1,153人の25～29歳、続いて862人の30～34歳、そして、819人の20～24歳である。転出先が県外・県内にかかわらず、転出者の主な構成員は若年層と判明した。

しかし、これらの数値は、住民票を移した人の数であり、実際には、住民票を移さずに進学したり就職したりする者もいることが推定される。たとえば、選挙の啓発活動を行う明るい選挙推進協会が2016年に明らかにしたところでは、親元を離れて暮らす学生（大学院生、大学生、短大生、予備校生）の62.4%が住民票を移していない。したがって、特に、18歳から24歳頃までの年齢層の転出者は、各種人口動態調査結果よりも多くの人口が、他

所に流出している可能性が高いと見るべきである。

出生率が低くないにもかかわらず、人口減少が加速化しているという事実は、イメージとは裏腹に、姫路市に住み続けることをやめて転出する人が多くなりつつあるということを示している。

I-4 転出の理由

姫路市から転出する理由は様々に想像されるが、「ひめじ創生戦略（人口ビジョン）」の解説によれば、「要因として、大学進学などを機会に東京や阪神地域に転出した後、就職を考えた際に能力、個性の発揮や長期的な視点からのキャリア形成などの面から、希望する就職先が地元でないことが考えられる（p.15）」とされている。確かに、自治体による各種調査は、若者が転出する理由として、仕事がないからという内容を頻繁に挙げているが、本当にそうだろうか。姫路市の有効求人倍率は1.29倍(2016年6月)であり、雇用環境は良好である。姫路市から若者が転出する理由は、単に仕事がないからではなく、その仕事内容と若者の希望する仕事内容に乖離があることがうかがえる。

たとえば、姫路市が、過去2年以内に転出した20～39歳の男女1,500人を対象に、2015年6～7月に郵送でアンケート調査を実施した結果がある。転出した直接的な原因を問うたものではないが、参考までに紹介しておく。それによると、「安定した職がある」という質問に対して、「満足」と答えた者が25.7%、普通と答えた者が59.2%を占め、「不満」と答えた者は10.5%に過ぎなかった。この項目の得点から見る限り、姫路市で安定した職に就くという点においては、大きな問題ではないようである。しかし、この調査からは、各人の希望する職があったのかどうかは見えてこない。

同調査において、転出者の中で不満が突出して多かった2項目は、「治安が良い」と「マナーが良い」であり、それぞれ31.3%と36.5%が不満と答えている。両者が原因で転出したとはいえないものの、転入を躊躇させるに十分な理由である。若年層に限らず、潜在的に転入可能性がある市外の人々に対して好ましくない現状がある。

同調査は、回収率が不明であり、転出者のうちどれだけの割合で回答が得られたのか判断できず、バイアスの可能性を排除することはできない。雇用問題を検討する上で、転入・転出に関する調査は、さらに詳細に行われる必要を感じざるを得ないが、これは、今後の姫路市の課題であろう。

前述の明るい選挙推進協会による調査は、高校卒業後に住民票を移さないまま転居する若者が多く、実際に居住している人数は、選挙人名簿登録者数に比べて少数だと分析している。その理由のなかには、地元の成人式に参加するために、故意に住民票を移さないまま転居する若者が存在すると指摘している。若年層の居住実態を把握するためには、このような事情にも配慮した市政の利便性を改善しなければならない。

II 調査

II-1 調査の目的

姫路市の雇用環境や居住環境には、多くの自治体に比して好条件が揃っているにもかかわらず、若年層の人口流出が後を絶たない。しかも、それは激化しつつある。ところが、姫路市には、その原因や背景を検討した資料はない。したがって、若年層の定住促進という課題解決に取り組むための手がかりとなる基礎資料収集の必要性は明らかである。

本調査は、姫路市からの流出人材の多くが若年層であることに注目し、特に、姫路市を離れようとする者とそうでない者の進路意識の実態を把握し、姫路市が実施する各種行政施策の基礎資料を得ることを目的としている。姫路市内の若者が就職や進学に抱く意識を分析することが、次の世代を担う若年層の人口流出という現象の背景の一端を明らかにするだろう。

II-2 調査票の設計

本調査は、若者の属性と進路意識との関連を探り、どんな特性を持つ者がどんな進路意識を抱いているのかを評定しようとするものである。この点を意識しつつ質問項目を設定するために、社会学、心理学、教育学、経営学の観点から、若年層の人口流出に関する先行研究を概観した。また、企業が生徒・学生に求める人材像に関する調査は数多く行われているが、生徒・学生が企業に求める企業像に関する調査はそれほど多くない。本調査では、生徒・学生が企業に求める企業像についても調査し、企業が採用活動やその後の従業員引き留めに必要と考えられる要素を探索した。

II-2-1 若年層の人口流出に関する先行研究

若年層が、生まれ育った地域から離れたがらない傾向は、各種調査結果から観察されている。たとえば、全国大学生生活協同組合連合会の「2014年大学生の意識調査」は、「将来は地元で暮らしたい」とする大学生が半数を超えると報告している。また、独立行政法人労働政策研究・研修機構は、国立社会保障・人口問題研究所の「第7回人口移動調査」を詳細に分析した結果、現代の若者が、その上の世代に比べて、地方・地元定着傾向が強くなったことを示している。すなわち、高卒者が地元での就職や進学を優先し、地元を離れた大卒者がUターン就職で地元に戻る割合が増加している現状を指摘し、地域移動が減少していることを明らかにした。

ここで紹介した調査結果は、人口減少や人口流出に悩む自治体にとっては、朗報なのかもしれない。特に、若年層の減少に歯止めがかからない地域にとっては歓迎すべきデータなのかもしれない。これらの結果は、なぜ若年層が地元回帰志向を高めているのか、またその原因は何かといった新たな疑問と課題が提示するが、本調査は、現時点で姫路市内に通学する若者が進路の選択に直面した際に、どんな関心を持ち、どんな特性を持つ者が地

元に残り、どんな特性を持つ者が流出しようとするのかに注目する。なぜならば、若年人口の減少に単に歯止めがかかるという現象自体を歓迎するわけにはいかないからである。地元志向の若者の特性と、流出志向の若者の特性に差異があった場合、自治体にとって、それが好ましいことなのかどうかは疑わしい。

ここに、興味深い結果を示す研究がある。平尾・重松(2006)は、大学生を地元志向の程度によって分類し、彼らの就職意識を比較した。そして、働く力が弱い人が地元に残る可能性を指摘し、さらなる社会負担の増加に起因する社会問題の懸念を提示している。定住政策によっては、地域にとって必ずしも歓迎されない事情が生ずることを含意した研究であり、注目すべき発見である。親子関係の影響も指摘しており、本調査にもこの研究の観点を反映している。

人間の特性に注目するとき、様々な尺度が考えられるが、そのひとつに「能力」を挙げることができるだろう。当然のことながら、人間の能力は一面的に測ることはできない。たとえば、頭師(1996, 2009)らは、企業組織において、創造性や汎用的技能が重視されると論じている。しかし現実的には、進学や就職といった場面の多くで、学力による順位づけが行われている。ある人物の能力全般を学業成績が測定できるわけではないものの、学業成績は、就職の際には意味のあるものと考えられる風潮がある。すなわち、スクリーニング仮説が提唱するように、企業は、訓練費用がかからない訓練能力の高い人物を好んで選抜しようとするために、その指標として学校歴を使おうとする傾向があると考えられる。佐野(1989)の解説によれば、生来の能力の高さを見分けようとするときに、選抜コストをかけずに採否を決定しやすいのである。また、あくまでも労働者に限るものの、企業内で能力が高いとされる者は、昇進や昇給の面でも優遇されることになる。本調査では、特性のひとつの指標として学業成績を用い、進路意識との関連についても探求している。

学生が持つ特性に注目した研究には、たとえば、前村(2011)がある。定住や移動をもたらす個人の心理的特性としての「定住志向」と「異文化志向」に焦点をあて、2つの志向性の測定と、関連性を検討したところ、両者には負の相関がみられた。すなわち、今とは異なる環境で生活してみたくない者は自分とは異なる文化を知りたがらず、今とは異なる環境で生活してみたい者は自分とは異なる文化を知りたがる。言い換えれば、外の世界に関心がない者は定住し、関心が高い者が出ていくということである。さらに言えば、消極性の高い者が定住し、積極性の高い者が流出するともいえるのである。本調査には、前村の視点も導入した。

最近はめっきり減ってしまったが、社会学や教育学の分野に「イエの跡取り」という伝統的規範に注目した研究がある。つまり、出生順位が就職先にどのような影響を与えているのかを明らかにしようとするものである。長男・長女が積極的に出生地に残留する傾向は、冨江(1997)等で指摘されている。長子か否かによって、就職する地域に差異が認められるのかも調査する。

地元という用語についての議論もみられる。一般的に用いられる用語ではあるが、それ

だけに曖昧な用語ともいえる。米原・田中(2015)は、「ある個人が自分の育ってきたと認知する地域」を地元と定義し、「ある個人が自分の育ってきたと認知する地域へと向かう志向」を地元志向としている。本調査では、これらの知見に基づき、ふるさとと知覚する地域を基準に、若年層の特性と地元志向の関連についても探究する。

II-2-2 調査対象者

調査対象者を選定するにあたっては、調査テーマと目的に適う人物を考慮することが重要である。本調査は、地元就職促進をテーマとし、姫路市に居住する若年層の地元就職を促進するための基礎資料を得ることを目的としている。高校進学率が約 97%となった現在、若年層の大多数は、高校卒業時に就職または進学というキャリアの転換点を迎えることになることから、姫路市内の高校に通う高校生を対象者とした。また、大学進学率が約 50%となった現在、同じく卒業後に地元で滞留するか他所に転出するかの分岐点を迎える大学生も対象者とした。

II-2-3 調査方法

調査方法を大別すると、横断的調査と縦断的調査がある。就職や進学といったライフイベントやキャリアに関する心理調査のためには縦断的調査を行い、個々人の継続調査を行うことで心理的な変化を追跡することが望ましいが、本調査の主目的は、地元滞留者と流出者の特性による進路意識の違いを明らかにし、今後の各種行政施策の基礎資料を収集することにある。したがって、生徒・学生の集団を対象に、一時点だけの横断的調査を行うことにする。

II-2-4 予備調査

姫路市の調査意向に基づき、姫路経営者協会職員と学識経験者で予備調査票を作成した。2016年10月に、予備調査を大学生18名対象に行い、疲労効果やワーディング等に留意しながら予備調査票の内容を修正した。その後、播磨ひとづくり地域戦略会議にて修正された調査票案に再考を加え、本調査用の調査票を作成した。

II-2-5 質問項目の設定

予備調査の結果を考慮し、概して15分間以内に回答を終えられる内容で構成した。また、一部に先行研究の既存尺度を利用した。なお、調査票は付録に収録されている。

Q1(1~16)の将来の仕事と就職観に関する質問項目については、平尾・重松(2006)の尺度項目を用いた。Q1(17)の「自分の学業成績は上位だと思う」は、本調査で独自に加えた項目であり、回答者が自認する学業成績に限定されるものの、学業成績と就労意識の関係を探索するために設けられた。

Q2の「就きたい業種」とQ3の「就きたくない業種」の項目については、株式会社アイ

デム 人と仕事研究所による「2016年3月卒業予定者の就職活動に関する調査」で使用された志望業界の項目を用いた。職業の多様化が進行している近年において、的確な分類は非常に困難であるため、最近実施された調査の分類法を採用している。Q4の「就きたい職種」とQ5の「就きたくない職種」の項目についても、同調査の項目を踏襲している。

Q6の「就職先を選ぶときに重視するポイント」については、熊谷・西尾(2011)による項目を用いた。

Q7の「就職先に希望する制度について」の自由回答は、生徒・学生が企業に対して望んでいる制度を探索するために、本調査が独自に尋ねている。

Q8の「卒業後の進路」に関する質問項目は、本調査独自のものである。

Q9の「参考情報源」については、松本(2007)を参考に選択肢を絞り込んでいる。

Q10の「将来働くことになったときの就職先(地域)」については、中国地方を対象に調査した平尾・重松(2006)を参考に、本調査の対象となる近畿地方の地域名に変更している。

Q11、Q12の「姫路市内での就業意欲」に関する質問項目については、本調査独自のものである。

Q13、Q14では、「姫路市の生活環境面」についての好き嫌いを自由回答で尋ねた。

回答者の属性を尋ねるフェイスシートについては、性別や学年といった一般的な項目に加えて、回答者の出生順位や外出頻度等の項目を加えることで、回答者の特性と就業意識の関連を探っている。

なお、LGBTへの配慮から、性別に関しては選択式ではなく自書式で尋ねたため、自認する性別として分類すべき項目として扱い、システム欠損値としては扱わない。

※ 63・64 ページ参考文献参照

Ⅲ 調査結果と分析

この種の調査としては、大規模な回答を得られた。一部の回答者には、ユーザー欠損値が観察されたものの、分母に影響するほどではなかったため分析対象に含めた。なるべく多くのデータを活用するべく、すべての設問に答えなかった 5 名を分析対象から除いた上で、その他の回答をすべて分析対象とする利用可能なケースによる分析を行った。

Ⅲ-1 調査の概要

内容：地元就職促進に関する調査研究

調査目的：若年層の進路意識に関する基礎資料の収集

調査期間：2016年11月1日～11月30日

調査対象：姫路市内の高校に通う生徒、大学に通う学生

調査協力校：兵庫県立姫路西高等学校（西高）、兵庫県立姫路東高等学校（東高）、兵庫県立姫路南高等学校（南高）、姫路市立飾磨高等学校（飾磨高）、姫路市立姫路高等学校（姫路高）、姫路市立琴丘高等学校（琴丘高）、兵庫県立大学（県大）、姫路獨協大学（姫獨大）

調査方法：質問紙による集合調査法

分析対象回答数：1,202名

分析対象回答数内訳：西高 155名、東高 133名、南高 139名、飾磨高 153名、姫路高 149名、琴丘高 123名、県大 224名、姫獨大 126名

Ⅲ-2 結果分析における留意点

回答者の内容に偏りがあることを指摘しておく。偏った回答者の属性は、調査結果に大きく影響していることが予想されるため、解釈に一定の考慮が必要となる。

第一に、性差に偏在がある。高校生に関しては、男性が 400 名に対して女性が 441 名と、一般的な人口比率を反映した結果となっている。しかし、大学生は、男性が 232 名に対して女性が 112 名と、男性が女性の約 2 倍となっている。したがって、大学生の性差については、解釈に留意しなければならない。

表 2 性差バイアス（単位：人）

	男	女
高校生	400	441
大学生	232	112

第二に、専攻の違いによる偏在にも考慮が必要である。高校生の文理系比率をみると、理系の396名に対し文系は446名となっている。やや文系が多い点には注意が必要である。

また、大学生は、理系が273名、文系が67名と大きな偏りが見られる。特に、大学生の専攻の違いによる回答バイアスを考えると、結果を安易に一般化することはできない。

表3 文理系バイアス (単位：人)

	理系	文系
高校生	396	446
大学生	273	67

第三に、所属学年の違いによる回答バイアスが考えられる。表4の回答者の内訳をあらためて詳述すると、西高は1年生から78名、2年生から77名の回答が得られたが、3年生からの回答はなかった。東高は、2年生の133名のみ、南高は、3年生の137名のみとなっている。飾磨高は、2年生が113名、3年生が40名、姫路高は、3年生の142名、琴丘高は、1年生が7名、2年生が5名、3年生が111名と混在している。

大学生の内訳は、表5の通り、県大が、1年生が44名、2年生96名、3年生45名、4年生29名、大学院生8名であり、姫獨大は、1年生が104名、2年生6名、3年生4名、4年生6名と大きく異なっている。高校生にしる大学生にしる、進路の決定時期に近い者とそうでない者には意識の違いがあることが容易に想像されるため、調査結果の解釈には留意すべきである。

表4 高校生：学年バイアス (単位：人)

	1年生	2年生	3年生
西高	78	77	0
東高	0	133	0
南高	0	0	137
姫路高	0	0	142
飾磨高	0	113	40
琴丘高	7	5	111

表5 大学生：学年バイアス (単位：人)

	1年生	2年生	3年生	4年生	大学院生
県大	44	96	45	29	8
姫獨大	104	6	4	6	0

第四に、所属校や所属学部の違いによる傾向が予想される。今回の調査では、公立高校 6 校が調査対象となったが、公立高校とはいえ、各校それぞれに特色ある教育方針を掲げている。東高は、単位制を導入するなど主体的に生きる力の育成を重視し、キャリア教育の充実を図っている。西高は、文部科学省指定のスーパーグローバルハイスクールとして、主体的に世界で活躍するグローバル・リーダーを育成する高校としての教育環境づくりを進めている。南高は、家庭や地域社会との連携を深めつつ、自らの夢や志を実現し、社会に貢献できる人物を育成することを教育方針としている。飾磨高は、個性の伸長や地域社会への貢献を教育目標として掲げ、普通科高校でありながら介護職員初任者研修やガイドヘルパーの資格を取得できる健康福祉コースを擁しているのが特徴である。姫路高は、キャリア教育の充実を謳い、主体的に学び、問題意識を深めるための探究科学コースを設けている。琴丘高は、個性を伸ばす学習環境を特色として、なかでも国際文化科では英語教育を重視し、国際性を育もうとしている。これらの特色は、高校生の進路や就職意識に何らかの影響を与えていると考えられるため、結果分析には留意しなければならない。

当然のことながら、大学では所属学部の偏在も大きい。県大では、工学部 141 名、理学部 83 名から回答を得られたが、すべて理系学生である。したがって、県大については、文理系で分類しての分析は行わない。姫獨大では、人間社会学群の 59 名と薬学部の 44 名が大部分を占めている。広義には、文理系の違いと類似の結果が予想されるが、各所属学部の特性が回答に与える影響は無視できないだろう。

表 6 県大：所属専攻バイアス（単位：人）

	工学部	理学部	その他学部
県大	141	83	0

表 7 姫獨大：所属専攻バイアス（単位：人）

	人間社会学群	薬学部	その他学部
姫獨大	59	44	17

第五に、現在の居住地にも大きな偏りが見られる。高校生の多くは姫路市内に居住しており、その数は769名に上る。これに対して、姫路市外に居住する高校生は67名でしかなく、9割超の高校生は姫路市内の居住者である。大学生は、姫路市内の大学に進学したものの姫路市内の高校から進学した者に限るわけではなく、姫路市外に下宿している者も存在するだろう。実際、本調査での回答者の分布は、姫路市内居住者は143名に留まり、姫路市外居住者は200名となっている。居住地による回答バイアスが生じる可能性は否定できない。

表8 居住地バイアス（単位：人）

	姫路市内居住	姫路市外居住
高校生	769	67
大学生	143	200

III-3 調査結果の見方

集計結果は各設問の標本数を100とした百分比(%)で表示している。小数点第1位以下を四捨五入しているため、その結果として、この比率の合計が100%にならないこともありうる。

なお、調査結果の分析においては、III-2で指摘した通り、回答者バイアスがあることを前提に理解しなければならない。

III-4 質問項目別の結果と分析

以下、得られた結果を概観しつつ、相対的に強い傾向が観察された結果に注目して分析を加える。詳細な結果については、付録の自由回答一覧またはグラフ一覧(別紙)を参照されたい。

なお、Q1に関しては、17項目の問いに対して高校生と大学生の考えに最も近い選択肢を回答するよう求めた。選択肢はいずれも「あてはまる」「ややあてはまる」「どちらでもない」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」の5段階評価である。次ページ以降に各項目の結果と分析を記す。

III-4-1 Q1-1：将来やりたい仕事がある

高校生も大学生も共通して、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせると7割程度が将来やりたい仕事があると回答している。

「あてはまる」と答えた高校生の割合は、西高が38%、東高が28%、南高が48%、飾磨高が42%、姫路高が44%、琴丘高が52%となっている。東高がやや低めの割合を示しているのは、2年生のみの回答者だったことの影響や、他校のキャリア教育と異なっている可能性を示唆している。

「あてはまる」と答えた大学生の割合では、県大が23%に対して、姫獨大は54%と2倍以上の開きが観察された。県大生は、大学院進学希望者が姫獨大生よりも相対的に多いため、将来に仕事について思案中の学生が多いことが推察される。

表9 将来やりたい仕事がある（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	38	31	15	10	6
東高	28	38	14	13	7
南高	48	27	12	7	6
飾磨高	42	28	11	9	10
姫路高	44	24	18	6	8
琴丘高	52	30	6	5	7
県大	23	43	18	12	4
姫獨大	54	19	14	5	8

「将来やりたい仕事がある」という傾向が強い姫獨大に注目すると、特に、理系の大学生は67%が「あてはまる」と回答し、「ややあてはまる」の23%と合わせると90%が明確な将来設計を描いていることがわかる。

表10 姫獨大文理別：将来やりたい仕事がある（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	67	23	2	2	6
文系	31	24	25	8	12

III-4-2 Q1-2：公務員になりたい

高校生は各校で異なる傾向を示している。「あてはまる」と「ややあてはまる」を合算すると、西高は26%、東高は41%、南高は38%、飾磨高は28%、姫路高は46%、琴丘高は39%となっている。40%超とやや高め傾向を示す東高と姫路高の間に、そして、20%台に留まっている西高と飾磨高の間には、何らかの共通項があるのかもしれないが、本調査からはその理由を特定することはできない。

表 11 学校別：公務員になりたい（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	10	16	35	22	17
東高	11	30	31	14	14
南高	20	18	20	17	25
飾磨高	7	21	25	19	28
姫路高	22	24	27	11	16
琴丘高	17	22	23	15	23
県大	5	19	31	21	24
姫獨大	17	17	33	10	23

県大生の「あてはまる」が5%に過ぎないのに対して、姫獨大のそれは17%である。また、姫獨大の理系の大学生は、「あてはまる」が10%に対して「あてはまらない」が33%を占め、文系のそれぞれ20%、15%と異なった傾向を示している。

ここで言う「公務員」から、回答者がどんな職種を想起したのかは本調査では不明だが、工学部と理学部に属する県大生や薬学部属する姫獨大生は、自身の専攻の延長線上には技官くらいしか想像できないのに対して、文系学部属する姫獨大生は、警察官や消防士といった進路を考えることができるため、このような差異が生じたと考えうる。

表 12 県大：公務員になりたい（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	5	19	31	21	24

表 13 姫獨大文理別：公務員になりたい（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	10	10	37	10	33
文系	20	21	32	12	15

III-4-3 Q1-3：国際的な仕事がしたい

高校生は、各校で異なる傾向を示している。「あてはまる」と「ややあてはまる」を合算すると、西高は38%、東高は34%、南高は25%、飾磨高は19%、姫路高は29%、琴丘高は24%となっている。西高と東高で、国際的な仕事に高い関心が認められる。これに対し、「あてはまらない」と「ややあてはまらない」を合算すると、西高は34%、東高は40%、南高は45%、飾磨高は56%、姫路高は45%、琴丘高は48%となっている。飾磨高や琴丘高の国内志向が強く認められる。

表 14 学校別：国際的な仕事がしたい（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	15	23	28	21	13
東高	9	25	26	20	20
南高	11	14	30	20	25
飾磨高	3	16	25	24	32
姫路高	9	20	26	14	31
琴丘高	6	18	28	20	28
県大	7	22	32	26	13
姫獨大	9	13	36	17	25

県大生は、正規分布に近い分布を描いており、際立った特徴を示していないが、姫獨大生は、全般としては、国際的な仕事をやや敬遠する傾向を見せている。しかし、姫獨大生を理系と文系で分類したところ、姫獨大の文系は、「あてはまる」と「ややあてはまる」に29%が回答したのに対し、理系は14%に留まっている。文系の18%に対し、理系の33%が「あてはまらない」と回答しているのも対照的で、文系学生は、むしろ国際的な仕事に関心が高いことがうかがえる。ここでは、海外居住を明確に問うことをしていないが、国際的な仕事が地元でできることを訴求することも、地元定住の促進につながる可能性を示唆している。

表 15 姫獨大文理別：国際的な仕事がしたい（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	8	6	39	14	33
文系	11	18	31	22	18

III-4-4 Q1-4：専門性の高い仕事をしたい

「あてはまる」と「ややあてはまる」が約 6 割を占める結果が各高校で共通してみられる。働こうとする時期が訪れると、専門性の高い仕事に就きたいという意思を感じさせる者が多数派となっており、「ゼネラリストというよりはスペシャリストになりたい自分」というアイデンティティを確立しつつある姿がみえる。

表 16 学校別：専門性の高い仕事がしたい（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	26	35	28	5	6
東高	19	33	32	13	3
南高	30	26	30	9	5
飾磨高	23	37	24	8	8
姫路高	29	25	27	11	8
琴丘高	35	26	26	6	7
県大	28	44	22	4	2
姫獨大	34	26	29	6	5

県大の回答者は、工学部と理学部の学生で構成されていることから、7 割超が「あてはまる」または「ややあてはまる」と答えている。

姫獨大の理系の 55%が「あてはまる」と回答し、「ややあてはまる」の 27%を加えると 82%が専門性の高い職種に進みたいという意思を示しており、薬学部生の進路の明確さが際立つ結果となった。これに対して、文系はそれぞれ 17%と 26%であり、強い意思をもって専門性を追求するのではなく、柔軟に将来を描いている様子が見える。

表 17 姫獨大文理別：専門性の高い仕事がしたい（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	55	27	14	4	0
文系	17	26	40	9	8

ここで、高校生の理系と文系での傾向の違いを探ると、理系で「あてはまる」と回答したのが 36%に対して、文系では 19%と約 2 倍の開きがある。「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせると、それぞれ 69%と 47%とその差は縮まる。逆に「あてはまらない」と回答した理系は 4%に過ぎず、文系の 8%とはこちらも対照的である。「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」を合算しても、理系が 10%、文系が 19%と同様の傾向を示している。理系は専門性の高さを感じ、文系は出口の広さを予想している様子がみえる。

表 18 高校生文理別：専門性の高い仕事がしたい（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	36	33	21	6	4
文系	19	28	34	11	8

III-4-5 Q1-5：将来独立起業したい

高校生の独立起業志向は高くない。しかし、特に「あてはまらない」と回答した割合は、各校で大きく乖離している。西高が27%であるのに対し、飾磨高が40%、南高が45%、東高が39%、姫路高が49%、琴丘高が36%となっている。西高では、どこかに所属して活躍する自分をイメージする者が多いのに対して、姫路高では、相対的に起業家精神を備えた者が多いようである。

県大生も同様に、「あてはまる」と「ややあてはまる」が10%と少数派である。「あてはまらない」40%と「ややあてはまらない」26%を合わせると、66%が消極的である。しかし、姫獨大は、それぞれ25%と49%と、やや傾向が異なっており、独立起業を思い描く学生が少なからず存在している。

表 19 学校別：将来独立起業したい（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	3	6	34	30	27
東高	2	6	27	26	39
南高	6	8	22	19	45
飾磨高	3	7	26	24	40
姫路高	6	6	23	16	49
琴丘高	5	14	26	19	36
県大	1	9	24	26	40
姫獨大	14	11	26	20	29

III-4-6 Q1-6：自分は就職活動に対して意欲的な方だと思う

高校生は、「あてはまる」と5%が回答した飾磨高から14%の姫路高まで分散しているが、そもそも、進学希望者が多数を占めているため、就職活動に意欲的とする生徒は少ないようである。

大学生は、就職活動の時期に直面していない回答者が大多数を占めていることもあり、意欲を示す者の割合は20%程度に留まった。

表 20 学校別：就職活動に対して意欲的である（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	7	24	44	16	9
東高	6	18	47	21	8
南高	11	20	36	18	15
飾磨高	5	17	40	25	13
姫路高	14	15	44	11	16
琴丘高	10	27	43	11	9
県大	4	14	38	25	19
姫獨大	11	11	50	15	13

III-4-7 Q1-7：すでに就職活動準備に取りかかっている

高校生も大学生も、各校ともに60～70%が「あてはまらない」と回答している。これは、高校生の多くが進学を希望していることと、大学生も就職活動準備に取りかかる時期の学年の者が少なかったからと考えられる。特に、姫獨大の理系は、薬学部で占められているため、売り手市場ということもあってか、「あてはまらない」が61%を占めている。

表 21 学校別：すでに就職活動準備に取りかかっている（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	2	3	13	17	65
東高	1	2	13	17	67
南高	2	2	16	13	67
飾磨高	2	3	16	18	61
姫路高	1	4	14	7	74
琴丘高	2	3	20	11	64
県大	5	8	15	22	50
姫獨大	6	6	22	20	46

表 22 姫獨大文理別：すでに就職活動準備に取りかかっている（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	4	4	14	17	61
文系	8	6	25	23	38

III-4-8 Q1-8：できれば働きたくない

高校生の約半数は、「あてはまらない」と回答し、将来働こうとする意思を示している。ただし、「あてはまる」と回答した割合は、各校に差異がみられる。西高は4%、東高は11%、南高は9%、飾磨高は12%、姫路高は19%、琴丘高は10%であり、「ややあてはまる」を加えるとそれぞれ、13%、26%、25%、22%、26%、16%となる。最も低い西高の13%と最も高い姫路高の26%との2倍の乖離には、キャリア教育の内容や校風の違いが影響しているのかもしれない。

約4分の1の大学生は、できれば働きたくないと考えているようだが、高校生とは異なる様相を見せ、「あてはまらない」とする者が減少する。県大生が「あてはまらない」と回答した割合は、高校生の約半分であり、社会人となる時期が迫るなかで現実的な判断を反映しているのかもしれない。姫獨大も同様の傾向を示しているが、「あてはまる」と回答した者は県大の11%に対して21%と高く、姫獨大生の労働意欲は低調と解釈することもできる。しかし、過半数は働く意思表示をしているのも事実である。働く意欲を向上させる余地はあるので、キャリア教育等の機会で、働くことの意義等について触れることも良いだろう。

表 23 学校別：できれば働きたくない（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	4	9	16	22	49
東高	11	14	18	17	40
南高	9	9	13	17	52
飾磨高	12	10	14	18	46
姫路高	19	7	14	8	52
琴丘高	10	6	14	16	54
県大	11	18	24	20	27
姫獨大	21	6	19	20	34

表 24 姫獨大文理別：できれば働きたくない（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	25	6	16	20	33
文系	19	6	22	20	33

III-4-9 Q1-9：仕事をする自分がイメージできない

高校生は、各校の結果に大きく異なる傾向が観察される。「あてはまる」だけを比較すると、西高 6%、東高 14%、南高 7%、飾磨高 14%、姫路高 20%、琴丘高 10%であり、最少の西高と最多の姫路高には 3 倍以上の乖離が認められる。「あてはまる」と「ややあてはまる」を合算すると、西高 29%、東高 38%、南高 23%、飾磨高 43%、姫路高 32%、琴丘高 27%となり、最少が琴丘高、最多が飾磨高と変化する。

大学生も、高校生と概ね同様の傾向を示しているが、仕事をする自分がイメージできる者とそうでない者の違いは、所属学部や専攻によって、職種をイメージしやすい場合とそうでない場合があるのかもしれない。

表 25 学校別：仕事をする自分がイメージできない（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	6	23	25	30	16
東高	14	24	24	25	13
南高	7	16	29	24	24
飾磨高	14	25	20	21	20
姫路高	20	12	25	15	28
琴丘高	10	17	26	21	26
県大	10	24	23	26	17
姫獨大	18	18	27	15	22

表 26 姫獨大文理別：仕事をする自分がイメージできない（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	16	18	29	14	23
文系	18	20	23	17	22

III-4-10 Q1-10：フリーターもやむをえない

「就職活動がうまくいかない場合、フリーターもやむをえない」という問いに対して、高校生は、各校の結果に若干の差異が認められる。「あてはまる」と現実を受け止めようとする回答は、西高 3%、東高 5%、南高 3%、飾磨高 5%、姫路高 7%、琴丘高 2%となっている。「ややあてはまる」を含めると、西高 11%、東高 15%、南高 12%、飾磨高 21%、姫路高 15%、琴丘高 10%となる。これに対して、「あてはまらない」と回答した割合は、西高 43%、東高 45%、南高 48%、飾磨高 37%、姫路高 47%、琴丘高 50%だった。総合すると、飾磨高の生徒は、フリーターもやむをえないと受け止める傾向が他校の生徒より強く、琴丘高の生徒は、そのような境遇に直面することがないという自信を示しているようである。

大学生は、各校や専攻の違いなく、約 20%が現実を受け止めようとしている。しかし、「あてはまらない」と強い意思を示す者は、工学部と理学部に属する県大生と薬学部属する姫獨大理系に多い。特に、姫獨大では、文系の 31%に対して 51%を占めている。自身が専攻する分野に自信を示しているものと解釈できる。

表 27 学校別・フリーターもやむをえない (単位：%)

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	3	8	17	29	43
東高	5	10	20	20	45
南高	3	9	23	17	48
飾磨高	5	16	22	20	37
姫路高	7	8	20	18	47
琴丘高	2	8	12	28	50
県大	5	13	17	25	40
姫獨大	7	13	24	14	42

表 28 姫獨大文理別：フリーターもやむをえない (単位：%)

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	6	12	17	14	51
文系	9	14	32	14	31

III-4-11 Q1-11：就職活動は不安である

高校生は一様に不安傾向を示しているが、各校の結果には違いが認められる。「あてはまる」と回答した割合は、最少の西高が 32%に対して、最多の飾磨高は 45%だった。「ややあてはまる」まで含めた割合を比較すると、最少の西高が 64%、最多の東高は 81%だった。この結果は、高校を卒業後の進路が進学か就職によっても不安の度合いが違ってくるが予想される。

大学生もまた高校生と同様の不安を訴えており、しかも、所属校や専攻にかかわらず同様の傾向を示している。「あてはまる」と回答した者の割合は、県大と姫獨大ともに 44%だが、「ややあてはまる」まで含めると約 7 割の学生が不安を訴えている。姫獨大では、理系よりも文系の方がやや強い不安傾向が観察される。

生徒・学生にとって、新規一括採用という現実が大きな心理的負担となっている可能性がうかがえる結果である。

表 29 学校別：就職活動は不安である（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	32	42	16	5	5
東高	42	38	11	4	5
南高	34	34	2	5	5
飾磨高	45	31	13	6	5
姫路高	43	27	16	6	8
琴丘高	41	32	13	2	12
県大	44	32	16	5	3
姫獨大	44	26	14	6	10

表 30 姫獨大文理別：就職活動は不安である（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	42	24	12	8	14
文系	49	25	15	6	5

III-4-12 Q1-12：親と就職の話をよくする

高校生の分布には、学校別の差異はほとんど認められない。そして、親子間の会話が少ないというわけではなさそうである。

県大と姫獨大の結果には、異なる傾向がみられる。「あてはまる」と回答した割合は、県大が12%に過ぎないのに対して、姫獨大は21%であり、「ややあてはまる」まで含めると、43%と41%と逆転する。学生の特性や専攻の違いが反映されている可能性が考えられるが、その理由を明確に推定することはできない。

姫獨大の文系と理系の間には異なる傾向が認められる。「あてはまる」と回答した文系学生の割合は14%だが、理系学生は27%である。「ややあてはまる」まで含めると、43%と37%に逆転する。また「あてはまらない」と回答した文系学生は5%に過ぎないが、理系学生は27%に上っている。文系の場合、就職先の幅が広いと、親と相談する機会が多いのかもしれない。理系の場合、特に薬学部生は、就職先がある程度限定されることから、その限られた進路について親と相談する場合と、進路が限定されているから親と相談することもない場合が考えられる。

表 31 学校別：親と就職の話をよくする（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	15	31	23	17	14
東高	14	37	21	16	12
南高	14	27	28	18	13
飾磨高	14	29	26	18	13
姫路高	16	29	29	10	16
琴丘高	19	29	19	19	14
県大	12	31	25	21	11
姫獨大	21	20	31	14	14

表 32 姫獨大文理別：親と就職の話をよくする（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	27	10	24	12	27
文系	14	29	35	17	5

III-4-13 Q1-13：親は「好きにきなさい」と言う

親の関与の程度は全般的に少ないが、高校間に差異が認められる。「あてはまる」は、西高 27%、東高 32%、南高 35%、飾磨高 28%、姫路高 44%、琴丘高 37%に対し、「あてはまらない」は、それぞれ、9%、2%、4%、4%、8%、6%となっている。親の干渉の程度も、校風に反映されている可能性がみうけられる。

大学間にも小異が認められる。県大の学生が「あてはまらない」と回答した割合が 5%だったのに対して、姫獨大の学生は 10%だった。「あてはまる」は 23%と 25%とあまり変わらない。

表 33 学校別：親は「好きにきなさい」と言う（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	27	29	26	9	9
東高	32	34	24	8	2
南高	35	25	24	12	4
飾磨高	28	28	25	14	5
姫路高	44	18	22	8	8
琴丘高	37	27	20	10	6
県大	23	32	27	13	5
姫獨大	25	21	33	11	10

文系と理系の間にも差異が認められる。「あてはまる」は、文系 26%に対して、理系 25%と大差がない。しかし、「あてはまらない」は、文系 7%に対して、理系 16%と 2 倍以上の乖離を示している。これも、就職先の幅が狭い理系ならではの事情がうかがえる。

表 34 姫獨大文理別：親は「好きにきなさい」と言う（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	25	16	29	14	16
文系	26	20	38	9	7

III-4-14 Q1-14：親は地元で就職することを勧める

高校生は、具体的な就職の話題を親とする時期ではない者が多いことが想像されるが、各校の結果に差異が認められる。たとえば、西高の「あてはまる」が2%に対して、飾磨高のそれは13%に上っている。「ややあてはまる」までを含めると、東高が13%に対し、姫路高は24%となっている。反対に、「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」を合算した割合では、姫路高が36%に対して、東高が57%となる。親の地元志向の程度が校風に影響している可能性が考えられる。

大学生は各地から進学してきているため、ここで言う「地元」は必ずしも姫路市や播磨圏域を指しているわけではない。「あてはまらない」または「あまりあてはまらない」と回答した者が、「あてはまる」または「ややあてはまる」と回答した者を圧倒しており、親はあまり関与していない傾向がうかがえる。

姫獨大においては、理系の親の過半数は、あまり地元就職を勧めていないようである。

表 35 学校別：親は地元で就職することを勧める（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	2	12	35	23	28
東高	3	10	30	20	37
南高	10	10	35	16	29
飾磨高	13	9	38	16	24
姫路高	12	12	40	12	24
琴丘高	8	10	33	14	35
県大	10	14	29	14	33
姫獨大	12	6	40	15	27

表 36 姫獨大文理別：親は地元で就職することを勧める（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	15	2	31	23	29
文系	9	8	47	13	23

III-4-15 Q1-15：親は公務員になることを勧める

高校別の結果は、校風を反映していることをうかがわせる。東高は、「あてはまる」と「ややあてはまる」を合算すると 30%を占めており、せいぜい 10 数%の他校を圧倒している。姫路高は 25%を占めるものの、「あてはまらない」も 25%と、他校の 40%前後よりも低い割合である。

県大で「あてはまる」と回答したのは 5%だが、姫獨大では 10%となっている。姫獨大文系の親は、理系の親よりも公務員志向が高いことに影響されているのだろう。「あてはまる」と回答した文系の割合は 12%だったのに対して、理系の割合は 6%だった。これは、理系の公務員の職種が限定的であることも理由のひとつと考えられる。在籍中の専攻とイメージできる就職先との間に連続性がなければ、親も勧めようがないのかもしれない。

表 37 学校別：親は公務員になることを勧める（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	5	10	28	20	37
東高	10	20	21	15	34
南高	6	6	35	11	42
飾磨高	3	13	27	16	41
姫路高	10	15	42	8	25
琴丘高	9	7	29	14	41
県大	5	20	27	13	35
姫獨大	10	13	35	10	32

表 38 姫獨大文理別：親は公務員になることを勧める（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	6	6	33	10	45
文系	12	16	40	11	21

III-4-16 Q1-16：就職については親と意見が合わない

高校生は各校に違いが認められる。たとえば、「あてはまらない」と回答した割合は、最少の西高が 29%だったのに対して、最多の琴丘高は 64%を占めている。親や家庭の背景については本調査では尋ねていないため、結果との関連は不明だが、家庭環境の違いが反映されている可能性が考えられる。

大学生は、数%から 10%程度が就職について親と意見が合わないと回答しているが、成人していることもあってか、「あてはまらない」、「ややあてはまらない」、「どちらでもない」が圧倒的多数を占めている。

表 39 学校別：就職については親と意見が合わない（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	5	6	32	28	29
東高	1	7	33	22	37
南高	0	1	29	21	49
飾磨高	3	6	31	22	38
姫路高	3	7	30	18	42
琴丘高	3	1	20	12	64
県大	4	6	31	24	35
姫獨大	5	3	29	20	43

表 40 姫獨大文理別：就職については親と意見が合わない（単位：%）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	2	4	27	14	53
文系	8	3	31	26	32

III-4-17 Q1-17：自分の学業成績は上位だと思う

高校生も大学生も、やや控えめな回答となった。「あてはまる」と回答した割合が最も高かった姫獨大が7%に過ぎず、琴丘高では2%に過ぎなかった。各校の成績の評価方法もまちまちであることが推察されるが、実際に上位に位置する者でさえ謙虚な回答をしたようである。

なお、自認する成績層と進路意識との関連については、特筆すべき結果を後述する。

表 41 学校別：自分の学業成績は上位だと思う（単位：％）

	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
西高	3	15	33	15	34
東高	5	12	29	24	30
南高	6	11	31	23	29
飾磨高	3	9	22	31	35
姫路高	4	10	38	19	29
琴丘高	2	13	31	15	39
県大	1	13	28	26	32
姫獨大	7	4	24	27	38

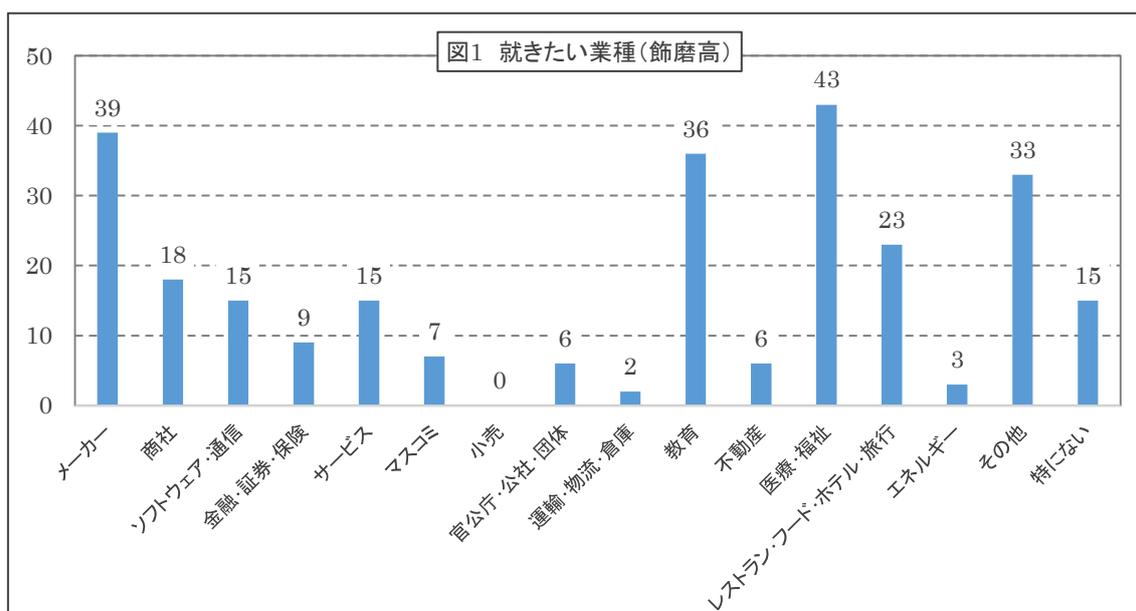
表 42 姫獨大文理別：自分の学業成績は上位だと思う（単位：％）

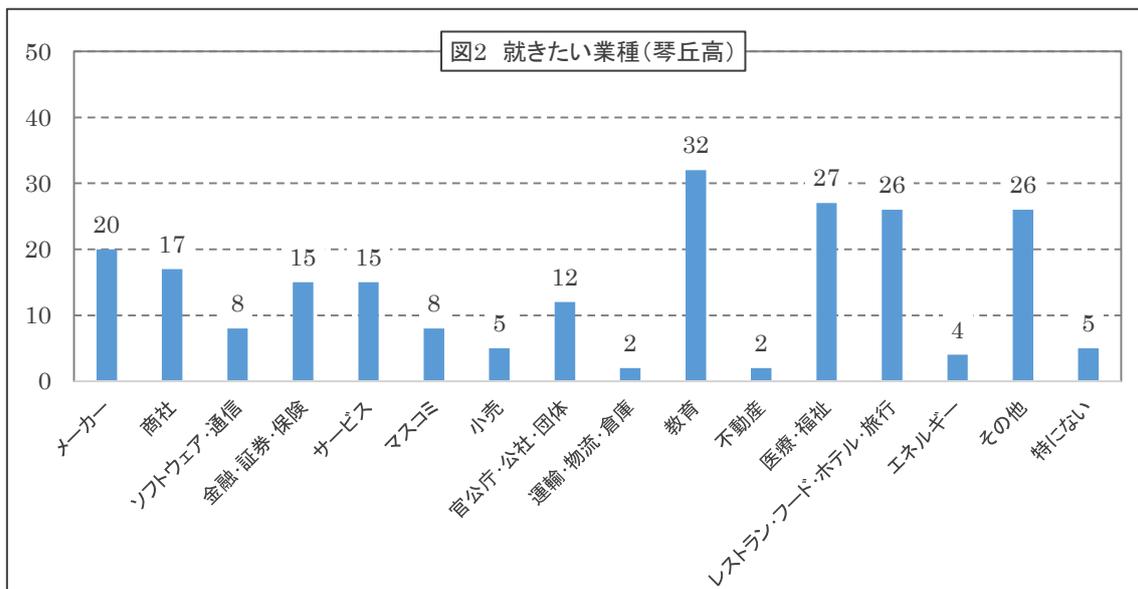
	あてはまる	ややあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	あてはまらない
理系	8	0	27	20	45
文系	4	8	25	28	35

III-4-18 Q2：就きたい業種

高校生と大学生が、就きたいと考えている業種について問うた。「メーカー」、「商社」、「ソフトウェア・通信」、「金融・証券・保険」、「サービス」、「マスコミ」、「小売」、「官公庁・公社・団体」、「運輸・物流・倉庫」、「教育」、「不動産」、「医療・福祉」、「レストラン・フード・ホテル・旅行」、「エネルギー」、「その他」、「特にない」の16項目から、最大3つまで選択可としている。

高校生は、各校それぞれに多少の分散はみられるものの、類似の傾向を示している。人気の業種は「メーカー」、「教育」、「医療・福祉」となっている。特徴的な分布を示している飾磨高の「医療・福祉」人気の高さは、健康福祉コースの影響だろう。琴丘高では、「レストラン・フード・ホテル・旅行」に高い人気が見られるが、国際文化科を擁する影響かもしれない。

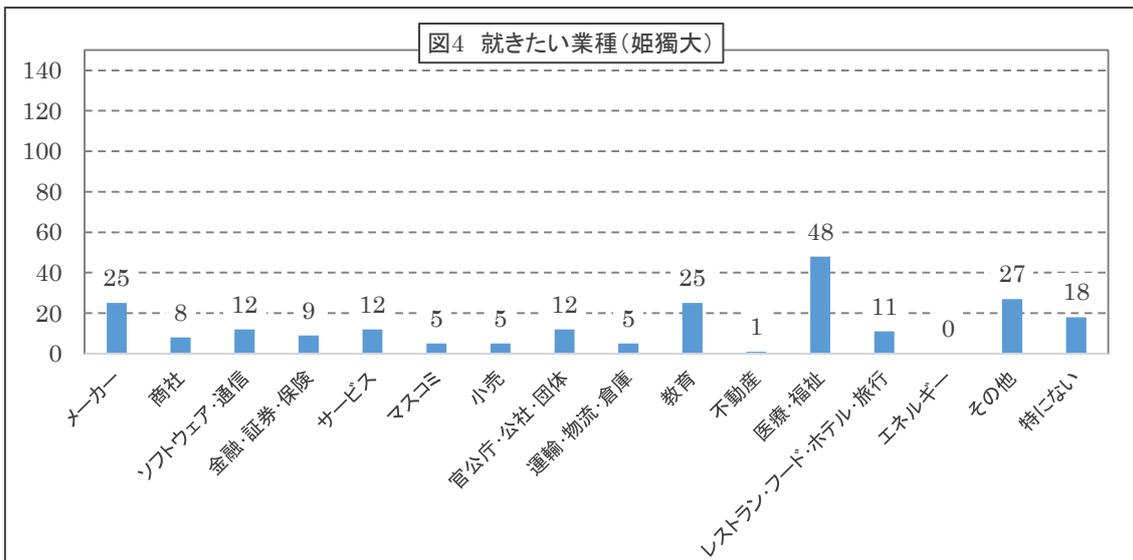
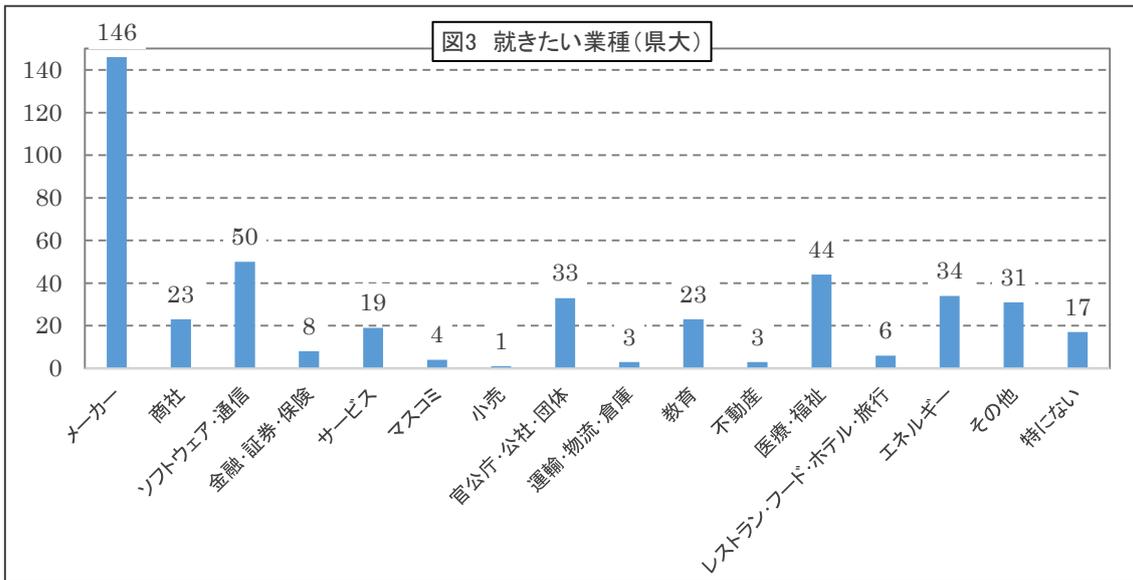




県大では、146名から支持を集めた「メーカー」が圧倒的な人気である。これは、理学部と工学部に属する学生の回答としては自然である。以下、50名の「ソフトウェア・通信」、44名の「医療・福祉」と続き、「小売」や「運輸・物流・倉庫」、「不動産」は低調である。

姫獨大では、48名の支持があった「医療・福祉」が高い人気を示し、以下、27名の「その他」、25名の「メーカー」が続いている。これは、薬学部の学生が回答者に多かったことが理由だろう。「エネルギー」業種に就きたいという者は0名、「不動産」が1名となっている。

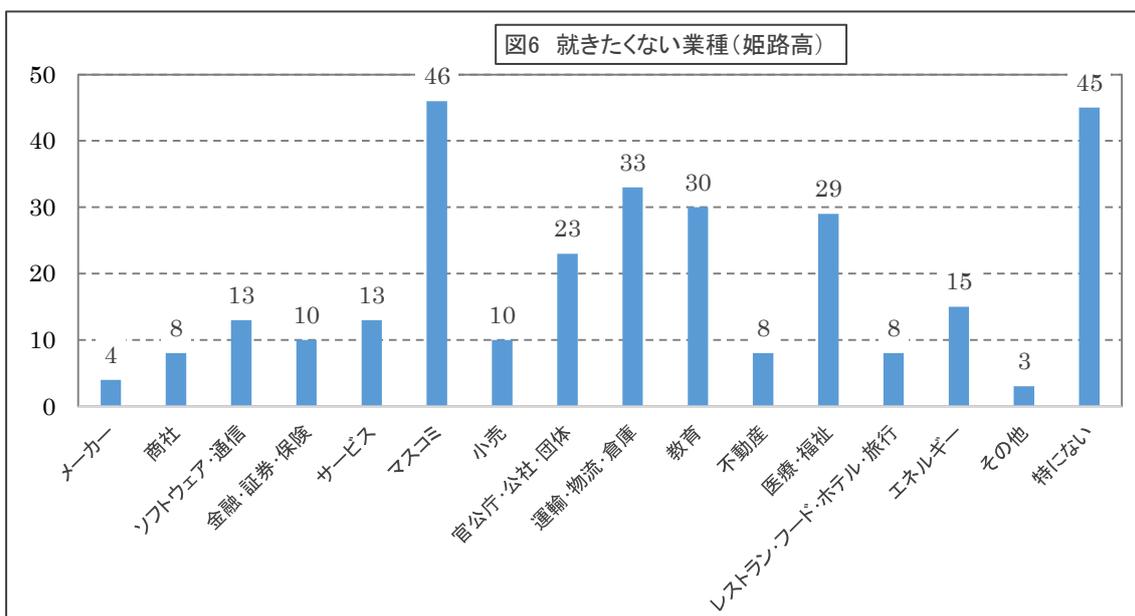
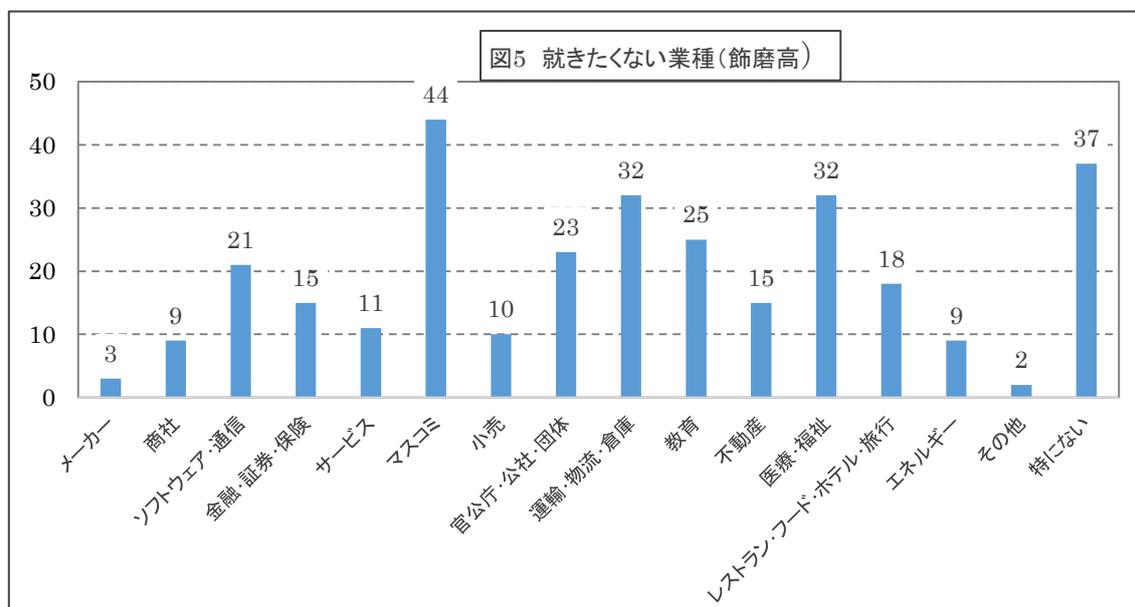
姫獨大の文系と理系で人気傾向を分析すると、文系では「その他」が21名、続いて「メーカー」の19名、「教育」の15名となっている。理系では、25名の「医療・福祉」が圧倒し、他の業種は一桁で並んでいる。これも、姫獨大の理系学生の専攻が薬学のみだったことに影響された可能性が高い。



III-4-19 Q3：就きたくない業種

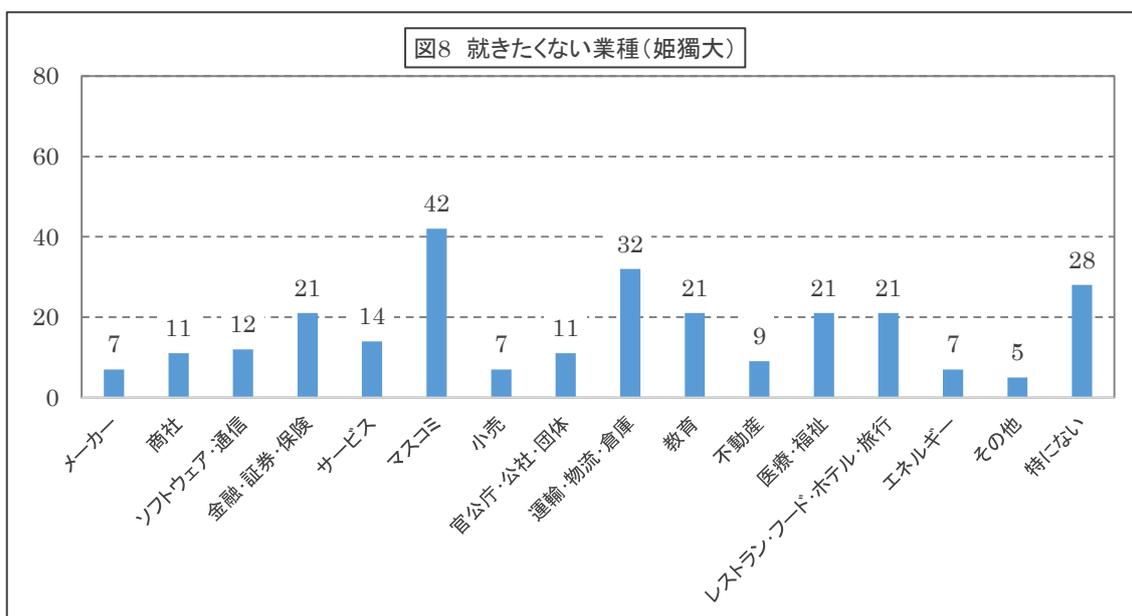
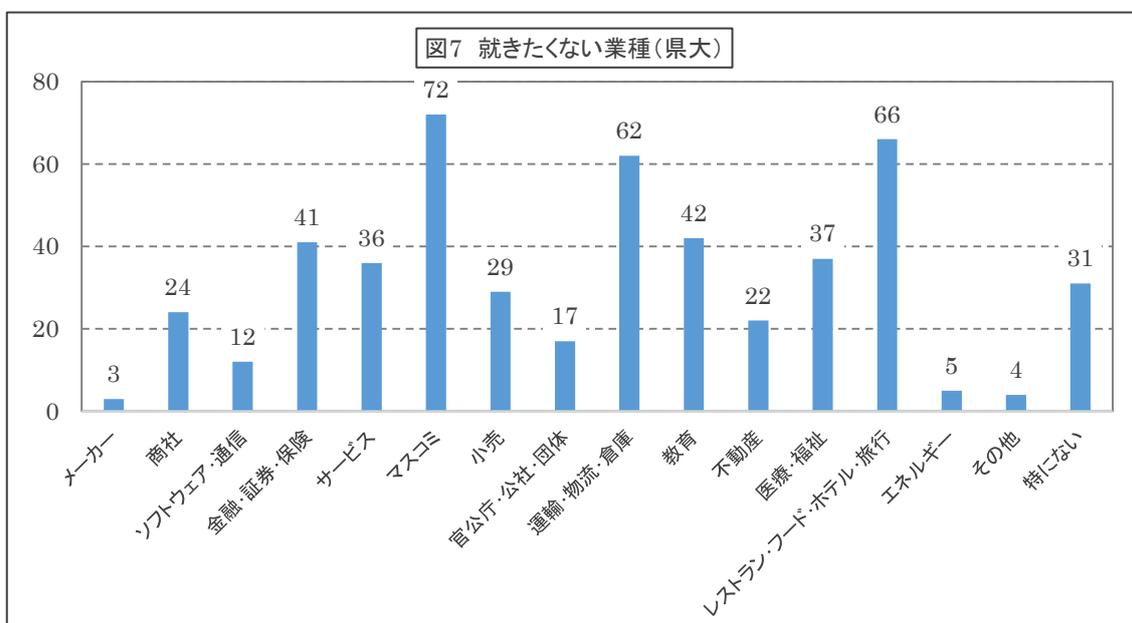
高校生と大学生が、就きたくないと考えている業種について問うた。「メーカー」、「商社」、「ソフトウェア・通信」、「金融・証券・保険」、「サービス」、「マスコミ」、「小売」、「官公庁・公社・団体」、「運輸・物流・倉庫」、「教育」、「不動産」、「医療・福祉」、「レストラン・フード・ホテル・旅行」、「エネルギー」、「その他」、「特にない」の16項目から、最大3つまで選択可としている。

高校生は、人気の業種と同様に多少の分散がみられるが、類似の傾向を示している。不人気の業種として、「マスコミ」、「運輸・物流・倉庫」が挙げられ、「医療・福祉」や「特にない」と回答した者がこれらに続いている。



県大と姫獨大に共通して不人気だったのは、「マスコミ」である。これは、文系、理系の区別なく就きたくない職種とされている。県大で不人気の職種は、「マスコミ」の72名に続いて、「レストラン・フード・ホテル・旅行」の66名、「運輸・物流・倉庫」の62名となっている。この3業種は、他業種を引き離している。

姫獨大では、「マスコミ」の42名を筆頭に、「運輸・物流・倉庫」の32名、「特にない」の28名が続く。大学生の場合、専攻との関連性が大きく影響する可能性が高いが、「マスコミ」に進みたくない学生が突出している。



III-4-20 Q4：就きたい職種

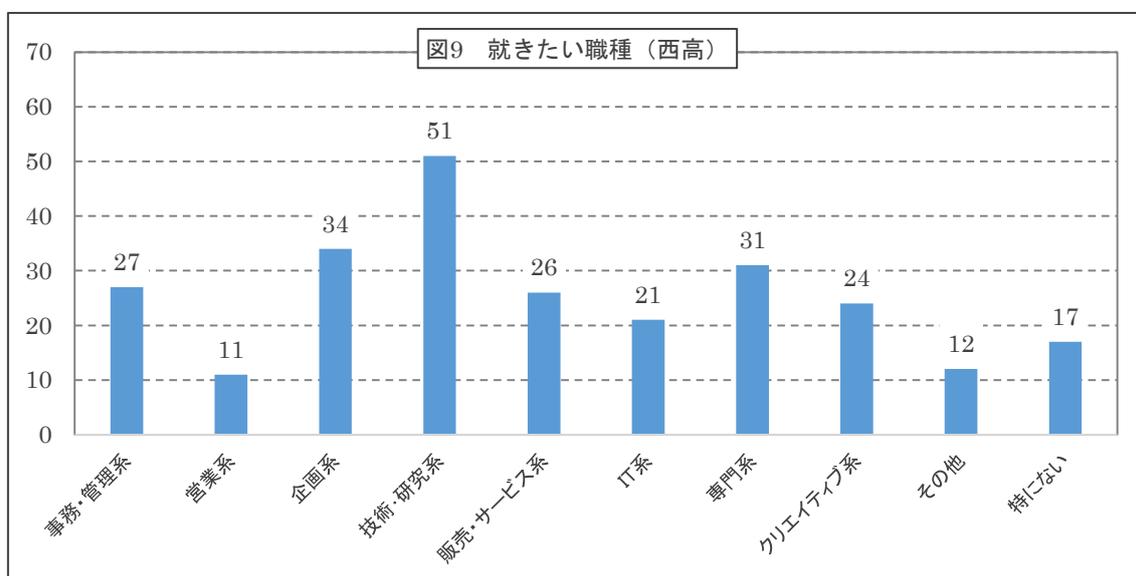
高校生と大学生が、就きたいと考えている職種について問うた。「事務・管理系」、「営業系」、「企画系」、「技術・研究系」、「販売・サービス系」、「IT系」、「専門系」、「クリエイティブ系」、「その他」、「特にない」の8項目から、最大2つまで選択可としている。

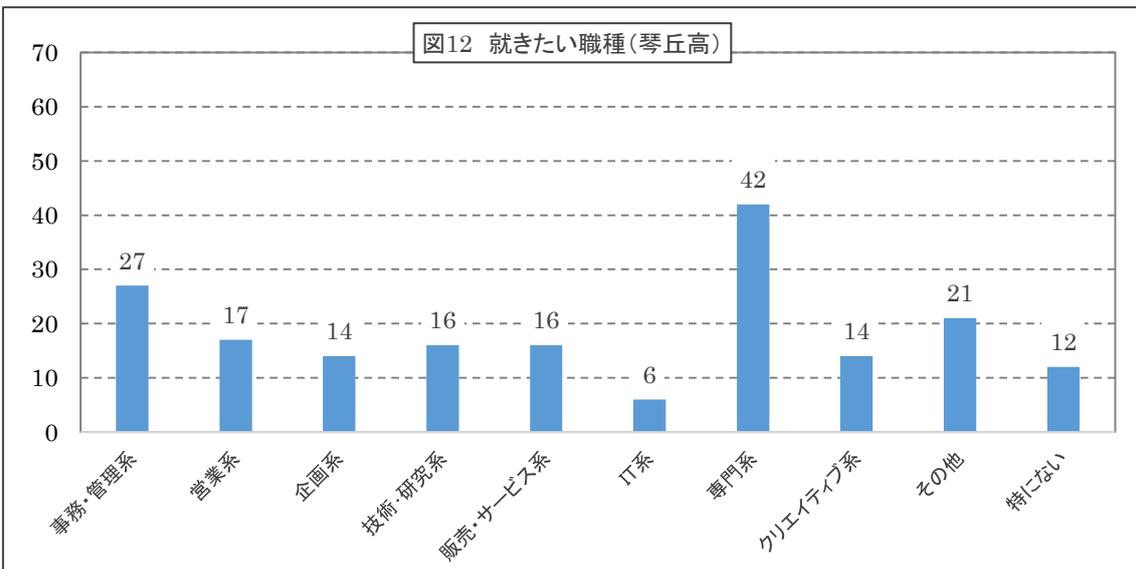
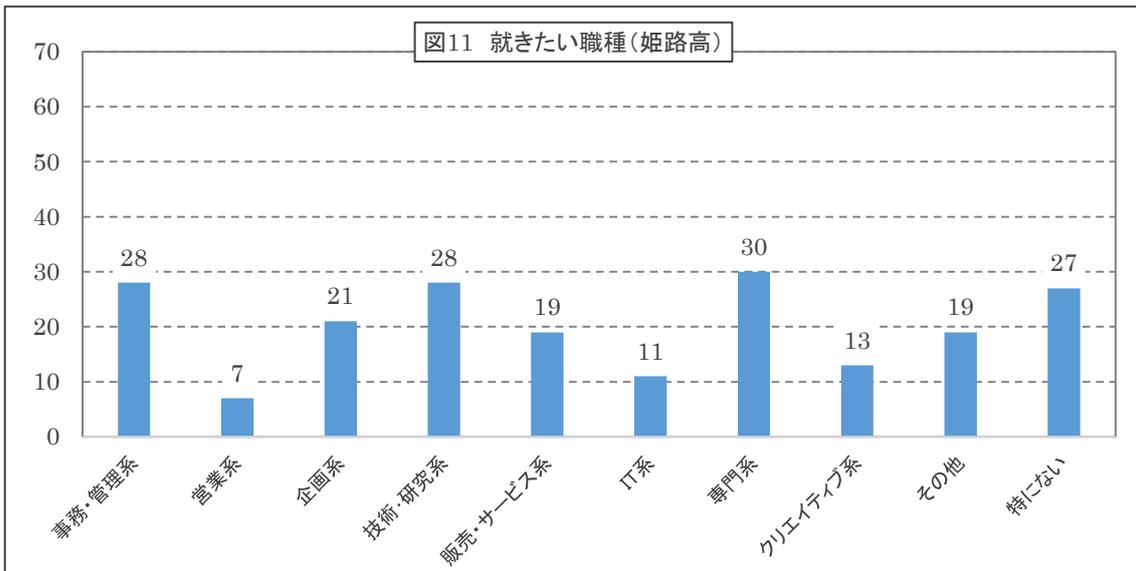
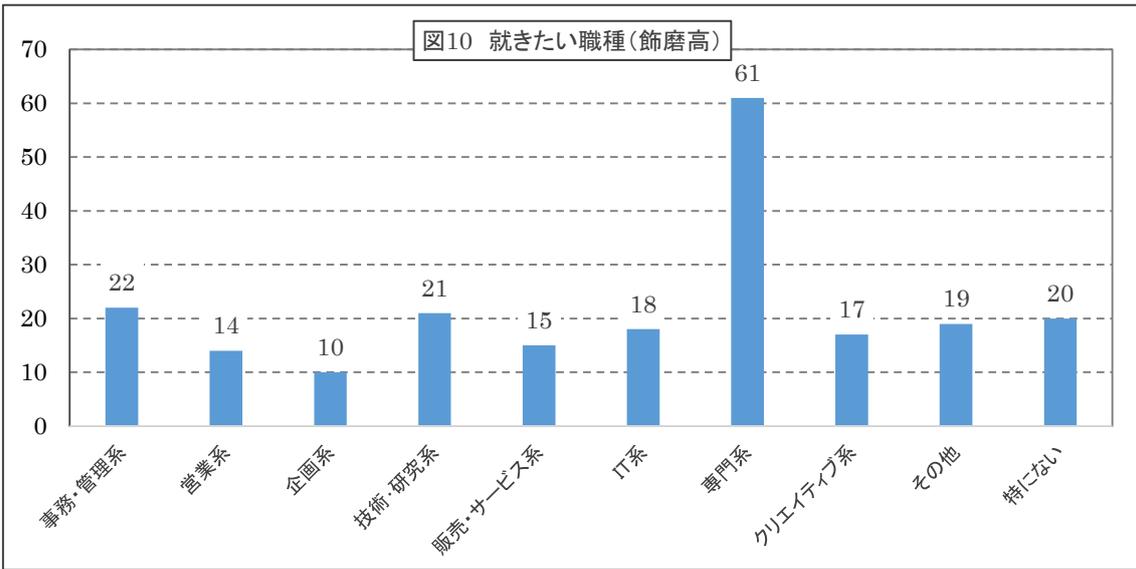
高校生は、各校の傾向が大きく分散した結果を示している。西高の人気職種は、「技術・研究系」の51名、「企画系」が34名、「専門系」が31名となっている。飾磨高は、「専門系」の61名が突出しているが、それ以外の職種は10名から20名程度で均衡している。健康福祉コースの影響と考えられる。南高と東高は、西高と類似の傾向を示しているものの、「技術・研究系」を希望する者の割合は西高ほど高くない。姫路高では、「専門系」、「技術・研究系」、「事務・管理系」の人気が高い。琴丘高では、「専門系」の42名が「事務・管理系」の27名を引き離して高い人気を示している。国際文化科の影響と考えられる。これらの違いは、各校の進路指導傾向や、卒業生の実際の進路を反映している可能性が考えられるが、専門的職種を希望する者の割合が高い傾向が共通してみられる。

大学生は、自身が専攻する内容が強く反映された結果を示している。県大の学生が就きたい職種として挙げたのは、「技術・研究系」の154名を筆頭に、55名の「専門系」、48名の「IT系」が続く。この3職種だけで66%を占めている。

姫獨大では、「専門系」が40名、「事務・管理系」と「特にない」がそれぞれ24名となっており、ここでも自身の専攻を活かせる職種を希望する大学生の姿が浮かび上がる。

理系の学生は、「専門系」や「技術・研究系」に就きたいという者が多く、文系の学生は、「事務・管理系」や「その他」、「特にない」と回答する者が多い。対照的な結果といえる。文系の場合、いわゆる「つぶしが利く」意識と、明確なキャリアパスを描きにくい実態が混在しているようである。

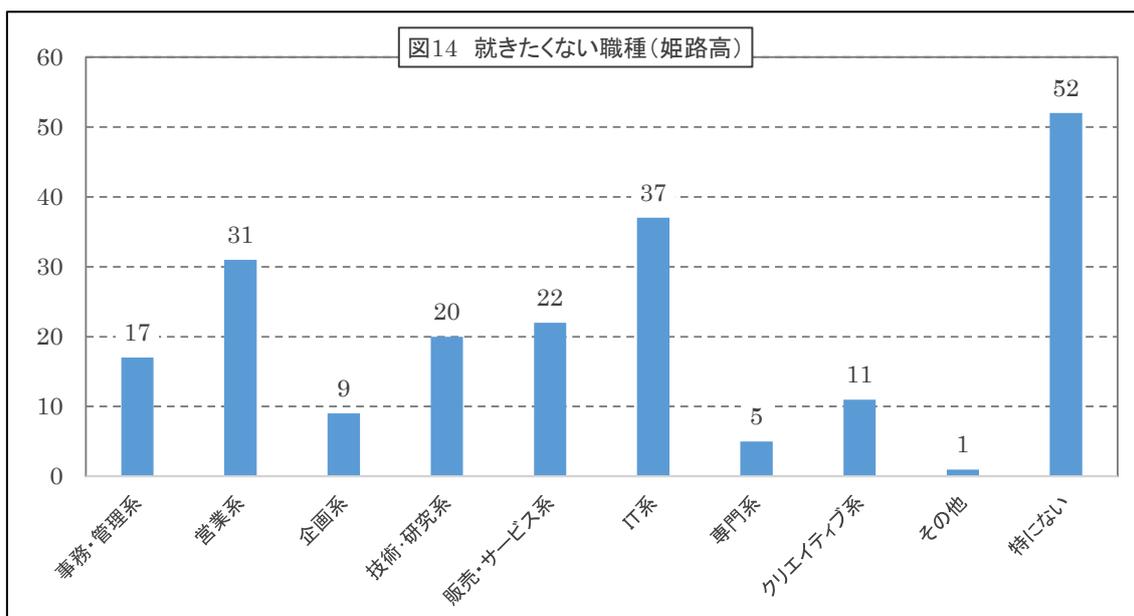
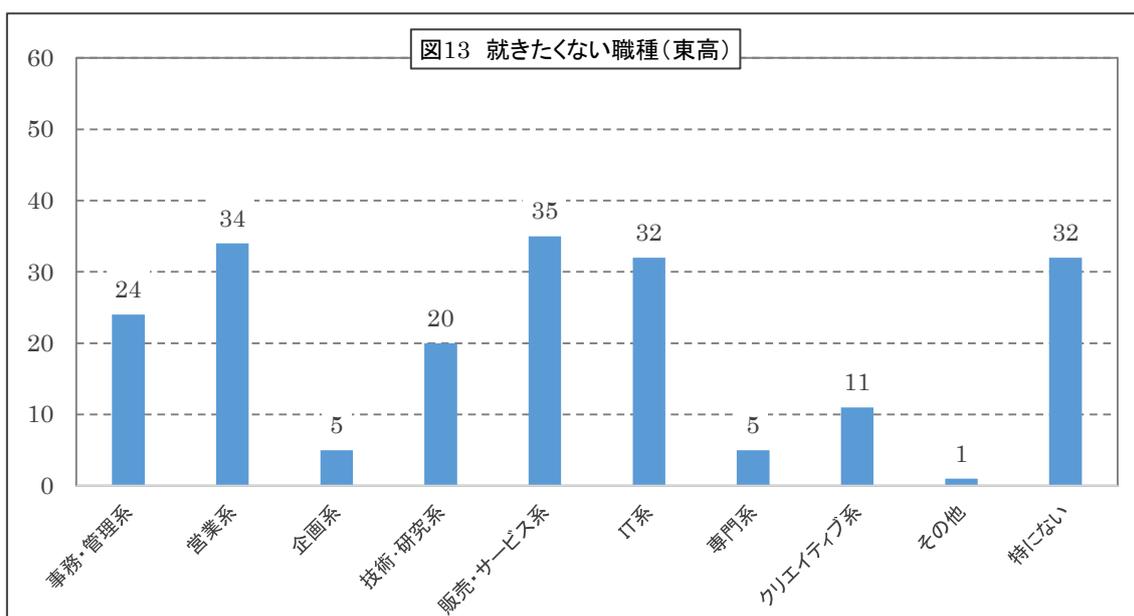




III-4-21 Q5：就きたくない職種

高校生と大学生が、就きたくないと考えている職種について問うた。「事務・管理系」、「営業系」、「企画系」、「技術・研究系」、「販売・サービス系」、「IT系」、「専門系」、「クリエイティブ系」、「その他」、「特にない」の8項目から、最大2つまで選択可としている。

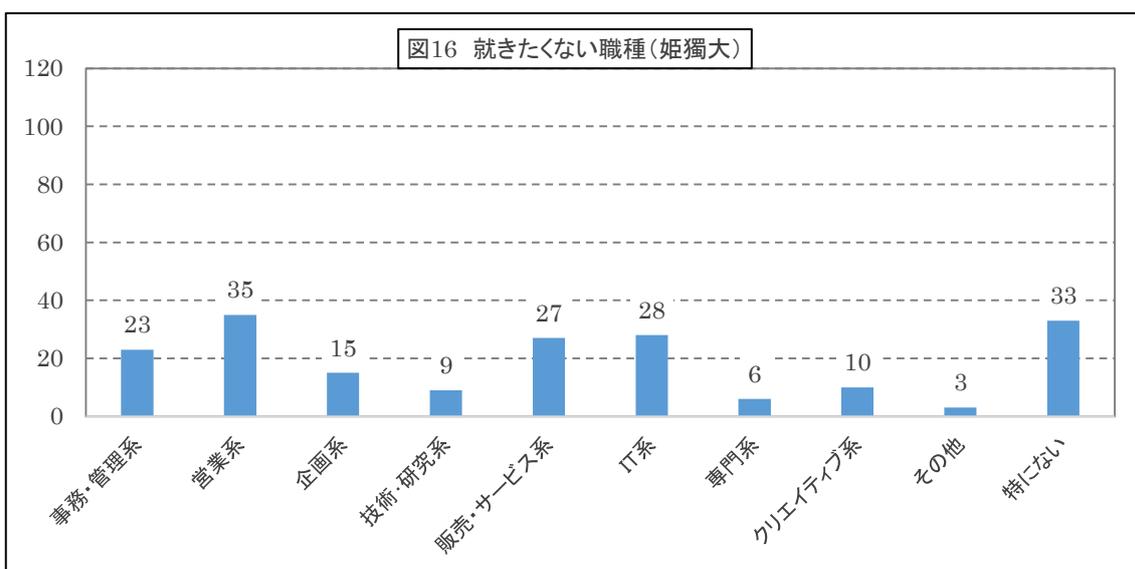
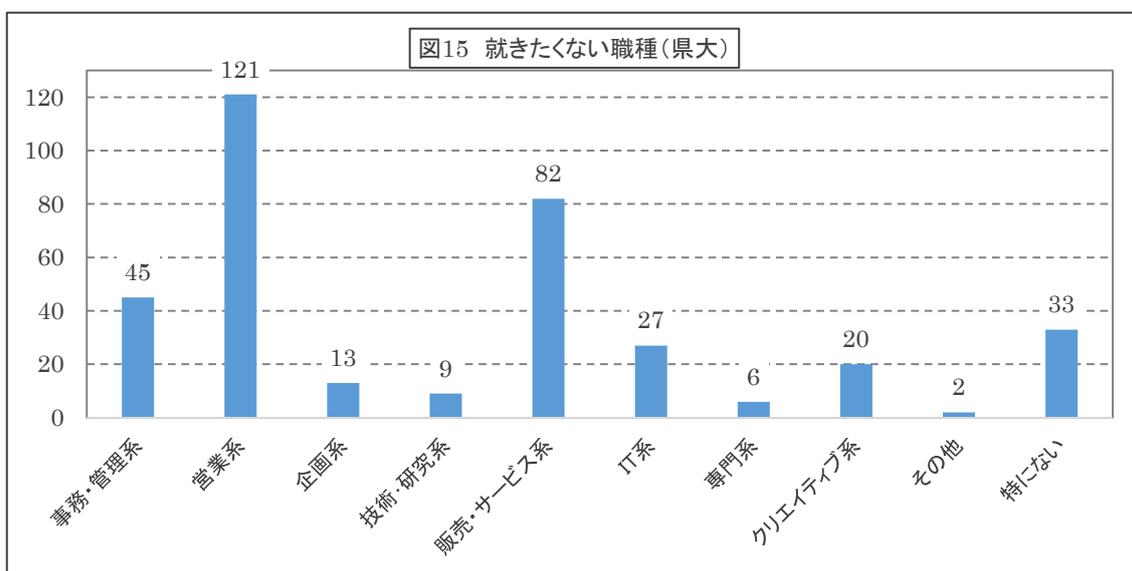
高校生は各校それぞれに異なる傾向を示しているものの、共通して「特にない」と回答した者の割合が高く、固定した職種像が描けていない可能性を感じさせる。また、「IT系」を挙げる割合が高く、選択肢のなかで最も想像しづらい難しさを感じさせたのかもしれない。「営業系」もまた、各校で不人気の傾向を示している。



大学生にとっては、「営業系」、「販売・サービス系」は魅力ある職種ではないようである。特に、県大では、121名が「営業系」を、82名が「販売・サービス系」を就きたくない職種として挙げており、これら以外の職種を圧倒している。工学部と理学部の学生にとっては、縁遠い職種なのかもしれない。

姫獨大では、この2職種に加えて、「IT系」も不人気だが、「特にない」と回答する者も多く、就職先についての受容性の高さを示している。

「営業系」や「販売・サービス系」を就きたくない職種として挙げる理系学生が多いのは、彼らの専攻の専門性の高さや進路の明確さを反映しているものと考えられる。文系学生は、「IT系」を就きたくない職種に挙げているが、これは自身の専攻もさることながら、そもそも向いていないという意識が働いているのかもしれない。



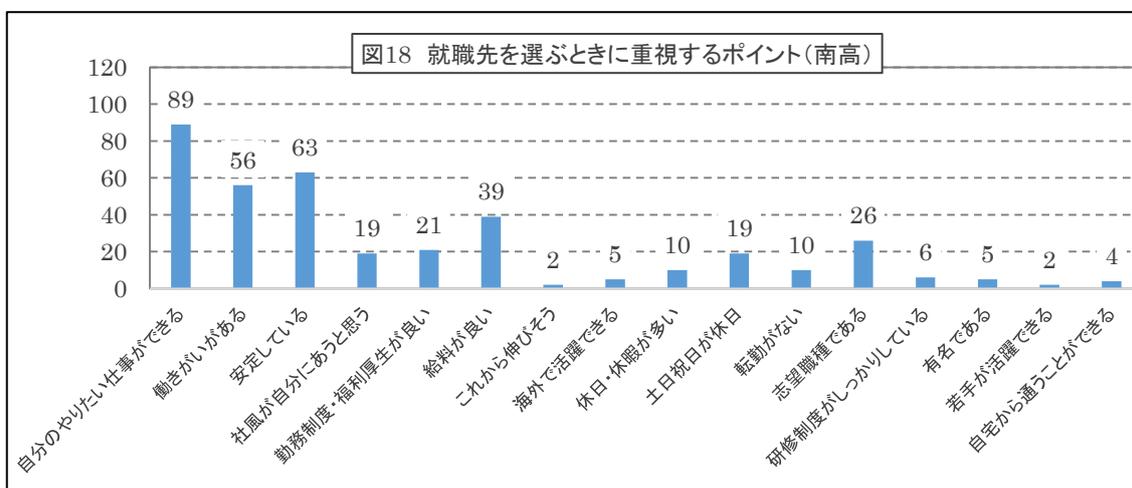
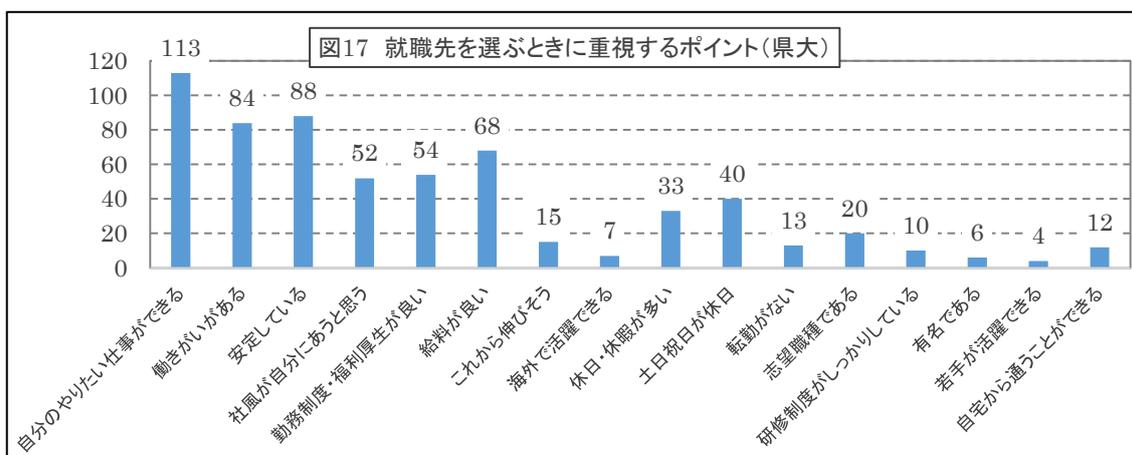
III-4-22 Q6：就職先を選ぶときに重視するポイント

高校生と大学生が就職先を選ぶときに重視するポイントについて問うた。「自分のやりたい仕事ができる」、「働きがいがある」、「安定している」、「社風が自分にあうと思う」、「勤務制度・福利厚生が良い」、「給料が良い」、「これから伸びそう」、「海外で活躍できる」、「休日・休暇が多い」、「土日祝日が休日」、「転勤がない」、「志望業種である」、「研修制度がしっかりしている」、「有名である」「若手が活躍できる」「自宅から通うことができる」の16項目から、最大3つまで選択可としている。

高校生も大学生も共通した傾向を示し、各校共通して「自分のやりたい仕事ができる」が高い回答率を示している。順位と回答率に差異はあるが、「働きがいがある」、「安定している」、「給料が良い」も重視されている。これらの項目以外を重視した者は少なく、企業の福利厚生面や将来性、認知度には高い関心を示していない。

県大と姫獨大のトップ2は共通しており、最も多くの回答者があったのが「自分のやりたい仕事ができる」であり、続いて「安定している」となっている。さらに、「働きがいがある」や「給料が良い」もポイントとして挙げられている。

ただし、文系と理系で分類してみると、文系が「自分のやりたい仕事ができる」を重視しているのに対して、理系が「安定している」を重視している点は興味深い。



III-4-23 Q7：企業にどんな制度があれば良いか

将来就職する際に、企業にどんな制度があれば良いかを自由回答で尋ねた。自由回答の解釈には主観的な判断が含まれることが避けられないが、大きな傾向を示した回答をまとめておく。すべての回答は付録を参照されたい。

広い意味での労働時間が高校生にとっての関心事といえ、全回答者の 6 割を占める結果となった。完全週休二日制や有給休暇の取得に言及した者が 76 名、産休・育休制度の充実を求める内容を記述した者が 66 名、残業ゼロや厳格な残業制限を求める者が 51 名に上った。これらの他にも、12 名がフレックスタイム制を求めており、労働時間への関心の高さがうかがえる。また、自由な服装を求める声や年功序列制を否定する記述も散見され、個人の生活の充実を希望すると同時に、企業に対する不信感を持つ高校生の姿が浮かび上がる。

大学生も高校生と同様の傾向を見せたが、結婚がより現実的な年齢に近づいていることもあってか、産休・育児に関する希望を述べた者が最多で 27 名、休暇に関する要望の 20 名、そして残業の制限が 10 名と続く。海外留学制度や資格支援制度といった具体的な制度を希望する者も多かった。

III-4-24 Q8：卒業後の進路予定

高校生と大学生が、今通っている学校を卒業した後の進路予定について尋ねた。「播磨圏域で就職」、「播磨圏域で進学」、「兵庫県内（播磨圏域外）で就職」、「兵庫県内（播磨圏域外）で進学」、「兵庫県外で就職」、「兵庫県外で進学」の6項目から1つを選択可とした。

高校生は、ほとんどが進学を予定している。全国的な進学率と比較しても、非常に高い進学意欲が認められる。進学先は、大学、短期大学、専門学校を想定していることもあり、各校の傾向に分散がみられる。西高と東高は、「兵庫県外で進学」を予定している者が多数を占めているのに対して、飾磨高と琴丘高は、「播磨圏域外の兵庫県内での進学」予定者が多数を占めている。「播磨圏域で就職や進学」を予定している者は少なく、回答者全体の10%のみである。

県大の学生は、卒業後には「兵庫県外で進学」を予定していると回答した者が最も多く、33%に上った。これは、大学院への進学を意図しているものと考えられる。次に、25%が「兵庫県外で就職」する予定にしている。続いて、18%が「播磨圏域外の兵庫県内で就職」を予定し、13%が「播磨圏域外の兵庫県内で進学」という。播磨圏域で就職あるいは進学を予定する者は、合算してもわずか11%だった。

姫獨大の学生は、就職予定者が93%に対して、進学予定者は7%である。「兵庫県外で就職」しようとする者が43%、「播磨圏域外の兵庫県内で就職」しようとする者が32%、「播磨圏域で就職あるいは進学」を予定する者は、合算して19%である。文系と理系の進路傾向に大きな差はなく、高校生と同様に、播磨圏域に残ろうとする者は少ない。

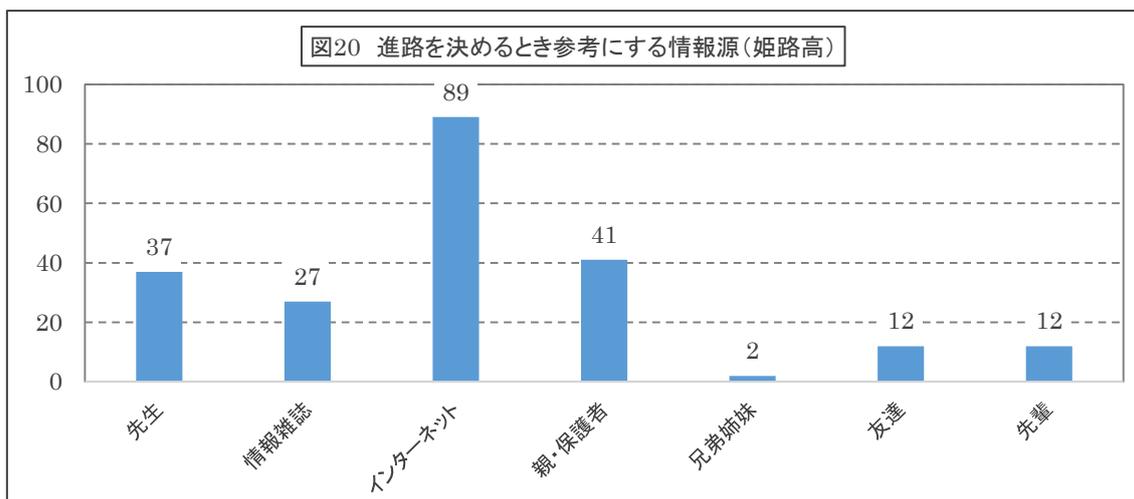
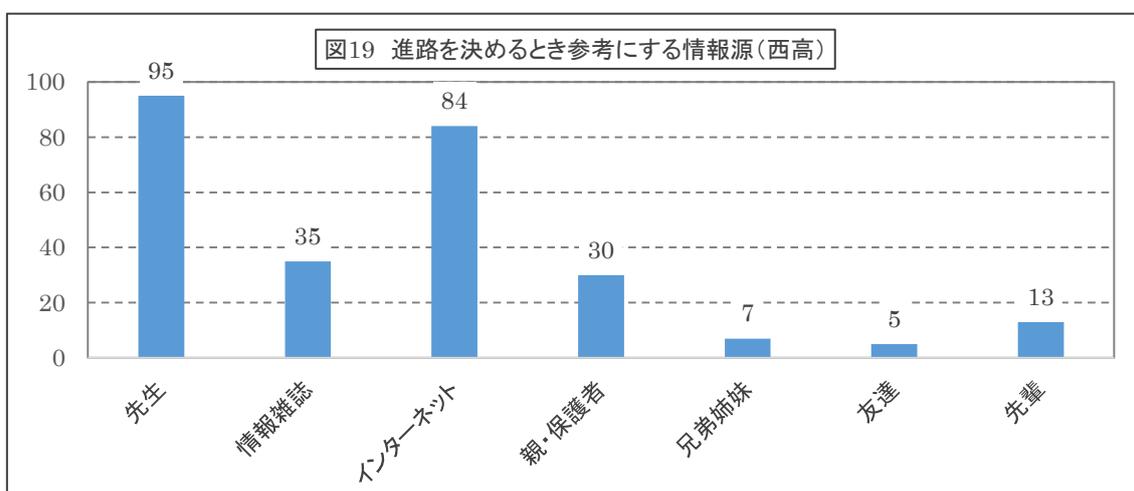
表 43 学校別：卒業後の進路予定（単位：%）

	播磨圏域 で就職	播磨圏域 で進学	兵庫県内 (播磨圏域 外) で就職	兵庫県内 (播磨圏域 外) で進学	兵庫県外 で就職	兵庫県外 で進学
西高	0	3	1	27	1	68
東高	0	3	3	26	1	67
南高	2	9	2	39	2	46
飾磨高	4	14	2	52	1	27
姫路高	3	10	3	39	2	43
琴丘高	2	11	0	52	3	32
県大	5	6	18	13	25	33
姫獨大	18	1	32	4	43	2

III-4-25 Q9：進路を決めるとき参考にする情報源

Q8で尋ねた進路予定について、高校生と大学生が最も参考にする情報源について問うた。選択肢は、「先生」、「情報雑誌」、「インターネット」、「親・保護者」、「兄弟姉妹」、「友達」、「先輩」の7つから、最大2つを選択可とした。

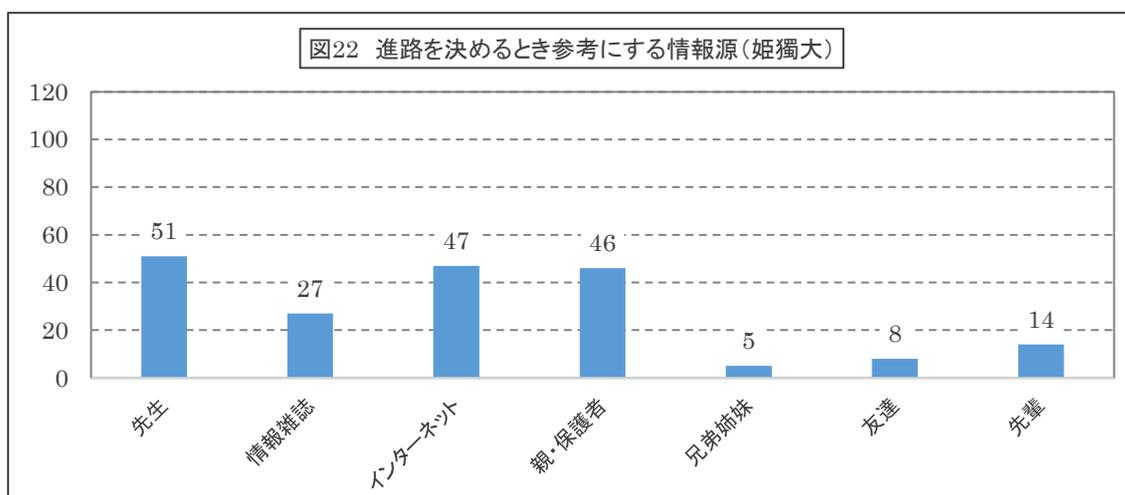
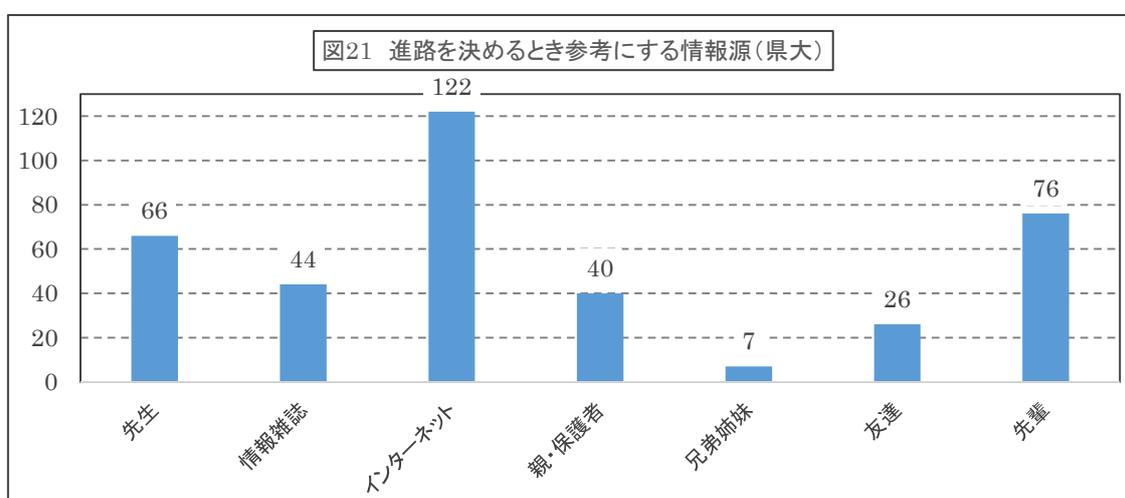
高校生は、学校によって傾向が異なるが、共通して「インターネット」を参考にしようとする者が多い。男女間に著しい差はなかった。顕著な差異がみられるのが「先生」で、西高と東高では最も多い回答者数を得ている。しかし、飾磨高、姫路高、琴丘高では「先生」よりも「インターネット」の傾向が強く大学と同様の傾向を示している。姫路高では、「先生」を情報源にする者は「親・保護者」よりも少ない。先生と生徒の関係性に違いがあるようである。



県大では、「インターネット」の122名を最多に、76名の「先輩」、66名の「先生」と続いている。これは、回答者の専攻が工学部と理学部に偏っていることが大いに影響していると考えられ、インターネットの情報を参考にしながら、自身が所属する研究室の先輩や教員の情報を得ようとする姿が浮かび上がる。

姫獨大では異なった傾向がみられる。最も参考にしようとする情報源は「先生」で51名、そして47名の「インターネット」、46名の「親・保護者」と続く。身近な人々の意見とインターネットの情報を参考にしながら進路を決めようとする姿がみえる。

姫獨大の文系と理系を比較すると、文系が「インターネット」に頼る割合が高いようである。しかし、共通して、「先生」と「親・保護者」の意見を参考にする傾向もみられる。



III-4-26 Q10：将来働くことになったときの就職先（地域）

高校生と大学生が将来働くことになったときの就職先（地域）について、考え方が近いものを問うた。「実家から通えるところに就職したい」、「地元（出身県）で就職したい」、「出身県でなくても良いが近隣県（近畿圏内）で就職したい」、「東京で勤務できるところに就職したい」、「そのほか特定の地域で就職したい」、「勤務地にはこだわらない」の6つから1つを選択可とした。

高校生は、飾磨高を除いて、「勤務地にはこだわらない」がトップである。「近隣県（近畿圏内）」や「地元（出身県）」志向も高く、多くが兵庫県出身者のため、関西圏で就職したい者が多いといえる。飾磨高では、「実家から通えるところ」を望む者が相対的にも高く、非常に地元志向が高い高校といえる。

県大では、37%の「近隣県（近畿圏内）」がトップで、29%の「勤務地にこだわらない」が続いている。

姫獨大では、「地元（出身県）」が31%とトップで、23%の「勤務地にこだわらない」が続く。ただし、ほぼ同数の20%が、「実家から通えるところ」を希望している特徴がある。理系は「近隣県（近畿圏内）」を希望する者の割合が高いのに対して、文系は「地元（出身県）」を希望する者が多い。

表 44 学校別：将来働くことになったときの就職先（地域）（単位：％）

	実家から通えるところに就職したい	地元（出身県）で就職したい	出身県でなくても良いが近隣県（近畿圏内）で就職したい	東京で勤務できるところに就職したい	そのほか特定の地域で就職したい	勤務地にはこだわらない
西高	5	13	26	10	10	36
東高	7	10	25	11	8	39
南高	7	27	19	8	2	37
飾磨高	18	27	30	3	3	19
姫路高	11	19	24	4	2	40
琴丘高	8	21	30	5	5	31
県大	14	11	37	6	3	29
姫獨大	20	31	18	4	4	23

表 45 姫獨大文理別：将来働くことになったときの就職先（地域）（単位：％）

	実家から通えるところに就職したい	地元（出身県）で就職したい	出身県でなくても良いが近隣県（近畿圏内）で就職したい	東京で勤務できるところに就職したい	そのほか特定の地域で就職したい	勤務地にはこだわらない
理系	26	15	34	4	4	17
文系	19	38	7	4	4	28

III-4-27 Q11：姫路市内での就職意思

将来働くことになったとき、姫路市内で就職したいかどうかを尋ねた。本調査において関心度の高い質問である。「姫路市内で就職したい」、「できれば姫路市内で就職したい」、「あまり姫路市内で就職したくない」、「姫路市内で就職したくはない」、「姫路市内で就職したくはない」、「わからない」の5択から1つを選択可とした。

高校生は、共通して「わからない」がトップだった。しかし、西高や東高では、「姫路市内で就職したくない」者が多く、対照的に、飾磨高や南高では、「姫路市内で就職したい」者が多い。

県大では、「わからない」と回答した者が最多の45%だったが、「姫路市内で就職したくはない」と明確に回答した者が26%、消極的ながら「あまりしたくない」と回答した者が24%に上った。これに反して、「したい」は2%、「できればしたい」が3%と、圧倒的に少数である。

姫獨大でも同様の傾向がみられ、将来の居住地についてはあまり考えたことがない姿がみうけられる。しかし、積極的であれ消極的であれ、姫路市内で就職したくないという意思表示が認められることは、本調査を実施したひとつの意義である。文系、理系でも同様の拒絶傾向がみられ、専攻による違いはほとんどないようである。

表 46 学校別：姫路市内での就職意思（単位：％）

	姫路市内で 就職したい	できれば姫 路市内で就 職したい	あまり姫路 市内で就職 したくない	姫路市内で 就職したく はない	わからない
西高	5	19	16	24	36
東高	1	13	23	17	46
南高	9	30	8	13	40
飾磨高	12	35	10	7	36
姫路高	10	20	11	11	48
琴丘高	10	17	15	11	47
県大	2	3	24	26	45
姫獨大	9	9	15	20	47

表 47 姫獨大文理別：姫路市内での就職意思（単位：％）

	姫路市内で 就職したい	できれば姫 路市内で就 職したい	あまり姫路 市内で就職 したくない	姫路市内で 就職したく はない	わからない
理系	4	6	15	33	42
文系	12	11	17	9	51

III-4-28 Q12：姫路市内で就職したい或いはしたくない理由

Q11 で、姫路市内での就職意向を尋ねたが、Q12 では、その回答に至った理由を自由回答で問うた。すなわち、姫路市内で就職したい理由または就職したくない理由が記述されている。主観的な分析とはなるが、大きな傾向を示した回答をまとめておく。すべての回答は付録を参照されたい。

「姫路市内で就職したい」理由を回答した高校生 67 名のうち、18 名が自宅から通勤できる利便性を挙げ、10 名が慣れた環境で過ごせる安心感といったメリットを述べている。地元への貢献を理由とする者も散見された。大学生は 4 名のうち、3 名が自宅からの利便性を挙げ、1 名は姫路市の住みやすさを理由としている。

「できれば姫路市内で就職したい」理由を回答した高校生 169 名のうち、69 名が自宅から通勤できる利便性を挙げており、「姫路市内で就職したい」という者よりも高い割合を示している。慣れた環境で過ごせる安心感を表現した者は 25 名だった。しかし、「姫路市内で就職したい」と強い意思を示した者に比べて、他所への不安や移動コストの削減といった消極性を感じさせる表現が多い印象である。ただし、言い換えれば、就職先の条件が悪くなければ、姫路市内で就職したいとも理解することができ、地元就職を促進するためには、このような意向を持つ人々をターゲットとして、さらに研究する価値があるだろう。大学生は、7 名のうち、3 名が利便性を挙げています。

「あまり姫路市内で就職したくはない」理由を回答した高校生 91 名の理由は、他の街を経験したいという描写が著しく 53 名に上った。都会への憧れを述べる者も多く、姫路市内のデメリットというよりも、他所へ出ることのメリットを挙げています。また、自立心をうかがわせる表現もみられた。大学生 54 名は、14 名が自分の出身地（姫路市外）での就職を希望していることを理由に挙げています。また、特筆すべきは、「治安が悪い」「姫路にいたいと思わない」と、姫路市での暮らしを 10 名が否定的に表現していることである。

「姫路市内で就職したくはない」と姫路市を去ろうとする理由を述べた高校生 94 名は、「もっと都会に行きたい」、「広い視野を持ちたい」といった好奇心と、「姫路市内にやりたい仕事がない」、「田舎は嫌」、「祭が苦手」といった積極的に姫路市を忌避する意識が混在している。大学生 67 名のうち、約 20 名が出身地での就職希望を理由に挙げています。その他には、「田舎だから」、「やりたい仕事がない」、「不良が多い」、「口が荒い」といった否定的な内容が並んでいる。

「わからない」と回答した理由を述べた高校生 194 名のうち、約 80 名が就職先の地域にこだわりを持っていないとの表現をしている。しかし、「就職できればどこでも良い」「どこでもいい」といった、やや投げやりな表現と、「勤務先にこだわりがない」といった表現には、意思の違いが感じられる。その他の理由には、まだ将来が確定していないことや自分の進路次第だとする者が多かった。大学生 77 名のうち、約 40 名が就職先の地域にこだわりを示していない。その他には、「姫路のことをよく知らない」といった回答があった。

III-4-29 Q13：姫路市の生活環境で好きな点

姫路市の生活環境で好きな点とその理由を自由回答で尋ねた。Q11 の姫路市内で就職したいかどうかの意向と関連する理由も少なからず挙げられているが、姫路市に対する肯定的な意見が描かれている。

高校生は、自然災害が少ない点を挙げた者が多く、都会過ぎず田舎過ぎない点を評価する声も多い。新幹線をはじめとする交通の利便性や姫路城や店舗、施設が比較的充実している割に、自然環境が豊かな点も魅力とされている。

大学生は、姫路駅周辺の商業施設の充実や交通の利便性や、地方都市の程よい加減の良さを指摘する声が多い。同時に、自然の多さを指摘する者も多かった。

詳細な記述は、付録を参照されたい。

III-4-30 Q14：姫路市の生活環境で嫌いな点

Q13 に対して、姫路市の生活環境で嫌いな点とその理由を自由回答で尋ねた。Q13 と同じく、Q11 に関連する理由も含まれているが、姫路市に対する否定的な意見が並ぶ。

ポイ捨てといったゴミの問題や、騒音問題、運転や列車内の荒いマナーや治安の悪さが指摘されている。また、バスの利便性や都市計画を批判する記述も散見された。「あり過ぎて書ききれません」や排他的、閉鎖的といった辛辣な回答は、姫路市内で就職はしたくないとした者に集中している。

ここで注目すべきは、姫路市をふるさとと知覚している者と、姫路市外をふるさとと知覚している者の間には、明らかに異なる傾向がみられる点である。姫路市をふるさととする者は、交通の利便性や施設といったハード面の不満を述べる傾向が強く、姫路市外をふるさとと知覚する者は、治安やマナーといったソフト面の不満を指摘する傾向が強い。詳細な記述は、付録を参照されたい。

III-5 属性を加味した分析

ここからは、一部の質問項目に限るが、属性を加味した分析を行う。特に、学業成績、出生順位、ふるさと意識、外出頻度、勤労意欲と姫路市内や播磨圏域に残留する意思との関連に注目した。

なお、居住地に関しても留意が必要である。現在、姫路市内に居住している者には、姫路出身者もいればそうでない者も含まれている。また、姫路市外に居住していても、姫路出身者もいれば、そうでない者もいるだろう。本調査の関心は、主に姫路市での地元就職を促進するための基礎資料を得ることであることから、自分がふるさとと知覚している場所を「姫路市」と回答した 718 名の高校生と 38 名の大学生を対象に、姫路市内での就職意思を分析した。

その結果、大学生の 21%が「姫路市内で就職したい」と回答し、26%の「できれば姫路市内で就職したい」と合わせると約半数に達している。高校生もそれぞれ、9%、26%と高い割合で積極的な意思を示していることがわかった。ただし、大学生の回答者数は 38 名とサンプル数が少ないため、以降の分析は、特に触れない限り高校生のみ限定する。

表 48 ふるさとが姫路：姫路市内での就職意思（単位：％）

	姫路市内 で就職し たい	できれば 姫路市内 で就職し たい	あまり姫路 市内で就職 したくない	姫路市内で 就職したく はない	わからな い
高校生	9	26	13	12	40
大学生	21	26	18	8	26

III-5-1 学業成績との関連

Q1(17)で尋ねた学業成績と、姫路市内での就職意思の関係を比較してみる。まず、高校生と大学生で回答のあった 848 名を対象に分析を加えた。

ほとんどの成績層は、「わからない」をトップに、同様の傾向を示している。しかし、注目すべきは「学業成績が上位だと思う」の問いに「あてはまる」と回答した者（以下「上位だと思う層」という）が、「姫路市内で就職したくない」割合が 37%と、他の成績層が 10%台で並んでいるなかで突出していることである。学業成績が、将来の活躍の程度に直接関係しているとはいえないが、「上位だと思う層」が姫路市内での就職に抵抗を見せている点は、無視できない事実として受け止めるべきだろう。

表 49 学業成績別：姫路市内での就職意思（単位：％）

学業成績が上位 だと思う	姫路市内で 就職したい	できれば姫 路市内で就 職したい	あまり姫路 市内で就職 したくない	姫路市内で 就職したく はない	わからない
あてはまる	9	21	12	37	21
ややあてはまる	9	26	14	13	38
どちらでもない	8	20	19	11	42
あまりあてはまら ない	7	29	11	13	40
あてはまらない	7	20	11	15	47

ふるさとが姫路と自認する 718 名の高校生だけを対象に、学業成績と姫路市内での就職意思の傾向を探ってみた。その結果、上記と類似の傾向が観察された。「上位だと思う層」には姫路市内で就職したくないとする者が、他の成績層よりも高い割合で存在している。

表 50 ふるさとが姫路×学業成績別：姫路市内での就職意思（単位：％）

学業成績が上位 だと思う	姫路市内で 就職したい	できれば姫 路市内で就 職したい	あまり姫路 市内で就職 したくない	姫路市内で 就職したく はない	わからない
あてはまる	7	22	15	33	22
ややあてはまる	11	29	15	10	36
どちらでもない	9	24	18	8	40
あまりあてはまら ない	8	33	12	10	37
あてはまらない	8	22	9	15	46

III-5-2 進路予定との関連

卒業後の進路予定を分類すると、「播磨圏域で就職」が 2%、「播磨圏域で進学」が 9%、「兵庫県内（播磨圏域外）で就職」が 2%、「兵庫県内（播磨圏域外）で進学」が 41%、「兵庫県外で就職」が 2%、「兵庫県外で進学」が 46%となっている。姫路市内や兵庫県内に魅力的な進学先がないことが明らかである。

姫路市以外をふるさとと自認する高校生は 69 名存在するが、兵庫県外に進学しようとする者が 65%と、姫路市をふるさととする者よりも 19 ポイント高い結果となっている。姫路出身者は、県内に留まりたい傾向がみられることから、兵庫県内には引き留められる可能性が高いのかもしれない。

表 51 ふるさとと自認する地域：卒業後の進路予定（単位：%）

	播磨圏域 で就職	播磨圏域 で進学	兵庫県内 （播磨圏域 外）で就職	兵庫県内 （播磨圏域 外）で進学	兵庫県外 で就職	兵庫県外 で進学
姫路市が ふるさと	2	9	2	41	2	46
姫路市以 外がふる さと	1	3	1	28	1	65

III-5-3 出生順位との関連

家業を承継させたりする際に、長子を優先する考え方がある。兄弟がいる場合、その出生順が就業意識に影響している可能性が考えられるため、回答者が長子なのかどうかを尋ねてみた。

ふるさとを姫路と自認する高校生のなかで、長子の男性は 182 名、長子ではない男性は 161 名、長子の女性は 195 名、長子ではない女性は 175 名だった。

彼らが就職先として姫路市内をどのように捉えているかを比較してみたところ、男性は、長子でない者に姫路市内での就職意思が認められる傾向にあり、女性は、長子か否かはあまり関係なく、姫路市内での就職意思を示す者が多い。しかし、最も高い割合を示したのは出生順位にかかわらず「わからない」だった。

表 52 ふるさとが姫路×出生順位：姫路市内での就職意思（単位：％）

	姫路市内で就職したい	できれば姫路市内で就職したい	あまり姫路市内で就職したくない	姫路市内で就職したくない	わからない
長子の男性	9	15	15	13	48
長子ではない男性	14	25	11	11	39
長子の女性	5	34	15	8	38
長子ではない女性	9	28	11	15	37

III-5-4 就業意欲との関連

Q1(8)で「できれば働きたくない」という問いに対してあてはまるかどうかを尋ねた。「あてはまらない」と回答した就業意欲のある者は、「姫路市内で就職したい」と10%が答え、「できれば姫路市内で就職したい」と25%が答えた。また、「あまりあてはまらない」という者も、「姫路市内で就職したい」が6%、「できれば姫路市内で就職したい」が36%と高い割合で存在し、姫路市内での就職意思をある程度示している。姫路市内での就職先が彼らにとって望ましいものであれば、地元就労する可能性があるだろう。

「できれば働きたくない」という問いに「あてはまる」または「ややあてはまる」とした者は、就業意欲が乏しいとみなすことができることから、「わからない」の割合がそれぞれ54%、48%と高い率を示した結果は自然な反応といえよう。しかし、共通して最も高い割合を示したのは、「わからない」であり、将来の就職地域に特段の意思や選好を持つ者は多くない。

表 53 ふるさが姫路×就業意欲：姫路市内での就職意思（単位：％）

できれば働きたくない	姫路市内で就職したい	できれば姫路市内で就職したい	あまり姫路市内で就職したくない	姫路市内で就職したくない	わからない
あてはまる	8	15	10	13	54
ややあてはまる	3	18	23	8	48
どちらでもない	12	29	13	13	34
あまりあてはまらない	6	36	15	8	36
あてはまらない	10	25	12	13	40

III-5-5 外出頻度との関連

ふるさとと自認する場所を姫路とした高校生 718 名中、姫路市外にしばしばでかける者は 141 名、ときたま出かける者は 413 名、めったに出かけない者は 162 名だった。姫路市内での就職意思は外出頻度に反比例しており、「しばしば出かける」者が 6%、「ときたま出かける」者が 8%、「めったに出かけない」者が 13%となっている。「できれば姫路市内で就職したい」と合算すると、それぞれ、23%、35%、44%とその差はさらに拡大する。

姫路市外に出かける頻度が高い者ほど、姫路市内で就職したいという意思は弱く、めったに出かけない者は姫路市内で就職する意思を強く示す傾向がみられる。

表 54 ふるさとが姫路×外出頻度：姫路市内での就職意思（単位：％）

	姫路市内 で就職し たい	できれば 姫路市内 で就職し たい	あまり姫路 市内で就職 したくない	姫路市内で 就職したく はない	わからな い
しばしば出かける	6	17	15	16	45
ときたま出かける	8	27	14	12	39
めったに出かけ ない	13	31	9	7	40

同様に、外出頻度と卒業後の進路についても関連を観察したが、姫路市内での就職意思のような強い関連は見られなかった。

表 55 ふるさとが姫路×外出頻度：卒業後の進路予定（単位：％）

	播磨圏域 で就職	播磨圏域 で進学	兵庫県内 （播磨圏 域外）で就 職	兵庫県内 （播磨圏 域外）で進 学	兵庫県外 で就職	兵庫県外 で進学
しばしば出かける	2	9	4	42	1	45
ときたま出かける	2	9	2	39	2	47
めったに出かけ ない	2	8	1	46	0	44

IV 総括

以上の結果から、姫路市内の高校や大学に通学する若者の進路意識について、いくつかの特徴を指摘することができる。以下に、主な知見を列挙する。

- 将来やりたい仕事があり、就職先を選ぶときに重視している。
- 公務員志望が多い学校とそうではない学校がある。
- 国際的な仕事の希望者が多い学校とそうではない学校がある。
- 専門性の高い仕事をしたい若者が多く、特に理系では顕著。
- 独立起業志望者は少ない。
- 仕事をする自分がイメージできない若者は少なくない。
- 就職活動は不安である。
- 親の干渉は少ない。
- 業種・職種によって人気度に大きな差がある。
- 労働時間、休暇制度、産休・育休制度に関心が高い。
- 播磨圏域で就職や進学を予定する若者は少数。
- 進路決定には、インターネット、先生、親・保護者を情報源にする。
- 勤務地にはこだわらない若者が多い。
- 姫路市内での就職希望は、「わからない」がトップだが、学校によって希望／拒絶傾向は異なる。
- 姫路市内での就職希望者は、自宅通勤の利便性、慣れた環境での安心感、他所への不安、移動コストの削減を訴えている。
- 姫路市外での就職希望者の多くは、他の街を経験したいという願望や都会へ憧れを訴えているが、姫路市内での暮らしに不満を漏らす者もいる。
- 姫路市の魅力は、自然災害が少ない点や地方都市の程よいバランス。
- ふるさとが姫路という若者はハード面（交通や都市計画）に不満があり、ふるさとが姫路ではない若者はソフト面（マナーや治安の悪さ）に不満がある。
- ふるさとが姫路という若者には、姫路市内での就職希望者が少なくない。
- 学業成績の最上位層には、姫路市内で就職したくない者が多い。
- 女性と長子ではない男性には、姫路市内での就職希望者が少なくない。
- 就労意欲が高い若者に、姫路市内での就職希望者が少なくない。
- 外出頻度の高い若者に姫路市内での就職希望は希薄だが、外出頻度の低い若者は姫路市内での就職希望が強い。

参考文献

明るい選挙推進協会(2016)『新有権者等若年層の政治選挙に関する意識調査(参院選前調査)』
[<http://www.akaruisenkkyo.or.jp/wp/wp-content/uploads/2016/08/HP用.pdf>] (2017年3月8日閲覧)

株式会社アイデム人と仕事研究所(2016)『2016年3月卒業予定者の就職活動に関する調査』
[https://apj.aidem.co.jp/upload/chousa_data_pdf/237/file.pdf] (2017年3月8日閲覧)

株式会社リクルート住まいカンパニー(2016)『SUUMO 関西住みたい街ランキング 2016』
[http://suumo.jp/edit/sumi_machi/2016/kansai/](2017年3月8日閲覧)

熊谷太郎・西尾圭一郎(2011)『松山大学の文系学生の就職意識に関する調査(2)』松山大学
論集,23(5), 27-52.

神戸市(2016)『神戸市統計報告平成28年度 No.6』
[http://www.city.kobe.lg.jp/information/data/statistics/toukei/jinkou/ugokidata/28jinkou_ugoki_kiji.pdf] (2017年3月8日閲覧)

佐野陽子(1989)『企業内労働市場』有斐閣

頭師暢秀(1996)『日本人の持ち味を活かす経営 - 情報システムと課長 - 』テレコム社会科学
学生賞入賞論文集,5,95-114.

頭師暢秀・今井翔一(2009)『研究演習におけるビジネス・コンテストを通じた学び』流通科
学大学教育高度化センター紀要,5,9-24.

全国大学生生活協同組合連合会(2015)『「2014年大学生の意識調査」概要報告』
[<http://www.univcoop.or.jp/press/mind/report-mind2014.html>] (2017年3月8日閲覧)

総務省(2015)『住民基本台帳人口移動報告』
[http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01toukei03_01000048.html] (2017年3月8日閲覧)

地域ブランド研究所(2015)『地域ブランド調査 2015』
[<http://tiiki.jp/news/survey2015>] (2017年3月8日閲覧)

地域ブランド研究所(2016)『地域ブランド調査 2016』

[http://tiiki.jp/news/05_research/survey2016] (2017年3月8日閲覧)

独立行政法人労働政策研究・研修機構(2015)『若者の地域移動 - 長期的動向とマッチングの変化 - 』JILPT資料シリーズ 162.

富江英俊(1997)『高校生の進路選択における「地元志向」の分析：都市イメージ・少子化との関連を中心に』東京大学大学院教育学研究科紀要 37,145-154.

平尾元彦・重松政徳(2006)『大学生の地元志向と就職意識』大学教育（山口大学大学教育機構）,3,161-168.

姫路市市長公室地方創生推進室(2016)『ひめじ創生戦略～ふるさと・ひめじにプラスワン(人口ビジョン)（総合戦略）』

[<http://www.city.himeji.lg.jp/var/rev0/0092/9702/2016331194630.pdf>] (2017年3月8日閲覧)

姫路商工会議所(2016)『図で見る姫路経済 2016』

姫路市総務局総務部情報政策室(2012)『姫路市町別人口・年齢別人口』

[<https://www.city.himeji.lg.jp/toukei/h02/h02129/hon.pdf>] (2017年3月8日閲覧)

姫路市総務局情報政策室(2015)『平成 27 年中の姫路市の人口の動き』

[<https://www.city.himeji.lg.jp/toukei/h12/h1215/h1215g.pdf>] (2017年3月8日閲覧)

前村奈央佳(2011)『移動と定住に関する心理的特性の検討：異文化志向と定住志向の測定および関連性について』関西学院大学先端社会研究所紀要, 6, 109-124.

松本緑(2007)『鳥取県の若年者雇用の現状 - 新卒者採用の動向 - 』公立鳥取環境大学 TORC レポート,29,42-54.

米原拓矢・田中大介(2015)『地元志向と心理的特性との関連 - 新たな発達モデルの構築に向けて - 』地域学論集,鳥取大学地域学部紀要, 11(3),139-157.

V 付録（資料編）

V-1 調査票

V-2 自由回答一覧

V-3 グラフ一覧

就業意識に関するアンケート調査

—— ご協力をお願い ——

このたび、私ども姫路経営者協会では、学生のキャリア支援制度の充実をめざしてアンケート調査を行うことになりました。

この調査は、姫路市が実施する調査・研究事業の一環として行うもので、若者の就業意識や生活状況や働くことへの意識、考え方、希望などについて調査し、今後の若年者就業支援施策の推進に向けた政策提案を行うべく基礎資料として利用するものです。

ご回答は無記名でお願いしています。本アンケートの結果や内容は統計的に処理し、全体としての傾向を把握することのみを目的としていますので、皆様の回答が個々に分析されたり公表されたりすることは絶対にありません。

なお、本調査におきましては、ご回答いただいたことをもって参加への同意をいただいたものとさせていただきます。

誠に恐縮ですが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

～ご記入にあたってのお願い～

- 1:平成 28 年 11 月時点でお答えください。
- 2:回答は、あなた自身にあてはまる選択肢を選び、番号を○で囲んでいただく形式がほとんどです。また、設問によっては直接ご記入をいただいたり、具体的な内容を文章でご記入いただくところもあります。
- 3:質問項目は飛ばすことなく、順番にお答えください。記入漏れ等、不備がございますと、せっかくご協力いただいた調査票が使用できなくなってしまいます。
- 4:回答所要時間は、およそ 15 分間を予定しています。

2016 年 11 月

受託・実施担当: 姫路経営者協会
問い合わせ先:
〒670-0932 兵庫県姫路市下寺町43 姫路商工会議所新館 2F
電話: 079-288-1011

Q1

以下のそれぞれの質問について、あなたの考えに最も近いに番号に1つだけ○をつけてください。

		1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 どちらでもない	4 あまりあてはまらない	5 あてはまらない
1	将来やりたい仕事がある	1	2	3	4	5
2	公務員になりたい	1	2	3	4	5
3	国際的な仕事をしたい	1	2	3	4	5
4	専門性の高い仕事をしたい	1	2	3	4	5
5	将来独立起業したい	1	2	3	4	5
6	自分は就職活動に対して意欲的な方だと思う	1	2	3	4	5
7	すでに就職活動準備に取りかかっている	1	2	3	4	5
8	できれば働きたくない	1	2	3	4	5
9	仕事をする自分がイメージできない	1	2	3	4	5
10	就職活動がうまくいかない場合フリーターもやむをえない	1	2	3	4	5
11	就職活動は不安である	1	2	3	4	5
12	親と就職の話をよくする	1	2	3	4	5
13	親は「好きにきなさい」と言う	1	2	3	4	5
14	親は地元で就職することを勧める	1	2	3	4	5
15	親は公務員になることを勧める	1	2	3	4	5
16	就職については親と意見が合わない	1	2	3	4	5
17	自分の学業成績は上位だと思う	1	2	3	4	5

Q2

あなたが就きたい業種の番号を○で囲んでください。(最大3つまで選択可)

1	メーカー	9	運輸・物流・倉庫
2	商社	10	教育
3	ソフトウェア・通信	11	不動産
4	金融・証券・保険	12	医療・福祉
5	サービス	13	レストラン・フード・ホテル・旅行
6	マスコミ	14	エネルギー
7	小売	15	その他
8	官公庁・公社・団体	16	特にない

Q3

あなたが就きたくない業種の番号を○で囲んでください。(最大3つまで選択可)

1	メーカー	9	運輸・物流・倉庫
2	商社	10	教育
3	ソフトウェア・通信	11	不動産
4	金融・証券・保険	12	医療・福祉
5	サービス	13	レストラン・フード・ホテル・旅行
6	マスコミ	14	エネルギー
7	小売	15	その他
8	官公庁・公社・団体	16	特にない

Q4

あなたが就きたい職種の番号を○で囲んでください。(最大2つまで選択可)

1	事務・管理系	6	IT系
2	営業系	7	専門系
3	企画系	8	クリエイティブ系
4	技術・研究系	9	その他
5	販売・サービス系	10	特にない

Q5

あなたが就きたくない職種の番号を○で囲んでください。(最大2つまで選択可)

1	事務・管理系	6	IT系
2	営業系	7	専門系
3	企画系	8	クリエイティブ系
4	技術・研究系	9	その他
5	販売・サービス系	10	特になし

Q6

あなたが就職先を選ぶときに重視するポイントは何ですか。あてはまる番号を○で囲んでください。(最大3つまで選択可)

1	自分のやりたい仕事ができる	9	休日・休暇が多い
2	働きがいがある	10	土日祝日が休日
3	安定している	11	転勤がない
4	社風が自分にあうと思う	12	志望業種である
5	勤務制度・福利厚生がよい	13	研修制度がしっかりしている
6	給料が良い	14	有名である
7	これから伸びそう	15	若手が活躍できる
8	海外で活躍できる	16	自宅から通うことができる

Q7

あなたが就職しようとする企業に、どんな制度があれば良いと思いますか。自由にお書きください。

--

Q8

あなたが、今通っている学校を卒業した後の進路予定について教えてください。あてはまる番号を○で囲んでください。

1	播磨圏域で就職
2	播磨圏域で進学
3	兵庫県内(播磨圏域外)で就職
4	兵庫県内(播磨圏域外)で進学
5	兵庫県外で就職
6	兵庫県外で進学

Q9

あなたがQ8で回答された進路を決めるとき、もっとも参考にしている情報源はどれですか。あてはまる番号を○で囲んでください。(最大2つまで選択可)

1	先生
2	情報雑誌
3	インターネット
4	親・保護者
5	兄弟姉妹
6	友達
7	先輩

Q10

将来働くことになったときの就職先(地域)について、あなたの考え方に最も近いものを1つ選んで、あてはまる番号を○で囲んでください。

1	実家から通えるところに就職したい
2	地元(出身県)で就職したい
3	出身県でなくても良いが近隣県(近畿圏内)で就職したい
4	東京で勤務できるところに就職したい
5	そのほか特定の地域で就職したい
6	勤務地にはこだわらない

Q11

将来働くことになったとき、あなたは姫路市内で就職したいですか。あてはまる番号を○で囲んでください。

1	姫路市内で就職したい
2	できれば姫路市内で就職したい
3	あまり姫路市内で就職したくない
4	姫路市内で就職したくはない
5	わからない

Q12

あなたが Q11 で回答された理由をお答えください。(就職したい理由または就職したくない理由を自由にお書きください)

--

Q13

姫路市の生活環境で好きな点とその理由を教えてください。自由にお書きください。

--

Q14

姫路市の生活環境で嫌いな点とその理由を教えてください。自由にお書きください。

--

◇最後に、あなた自身についてお尋ねします。直接記入質問には、内容を直接記述してください。選択質問には、あてはまるものを○で囲んでください。

① 大学生の方 _____ 学部 高校生の方 _____ 科

② 学年: _____ 年生

③ 年齢: _____ 歳

④ 性別: _____

⑤ あなたが勉強している分野は、強いて言えばどちらですか。

文系 理系

⑥ 現在いっしょに住んでいる家族について、あてはまる番号を○で囲んでください。

1, 一人暮らし 2, (両)親 3, 祖父(母)

4, 兄弟姉妹 5, その他 (具体的に: _____)

⑦ あなたは、長子(兄弟姉妹の中で1番上)または兄弟姉妹がない(一人っ子)ですか。どちらかに○をつけてください。

はい いいえ

⑧ あなたにとってふるさと(出身地)と言える場所はどこですか。

[_____] 国 [_____] 県 [_____] 市

⑨ あなたが現在住んでいるところはどちらですか。

姫路市内 姫路市外

⑩ あなたは、姫路市外に出かけることがありますか。あてはまる番号を○で囲んでください。

1, しばしば出かける 2, ときたま出かける 3, めったに出かけない

ご協力、誠にありがとうございました。調査結果は大切に活用させていただきます。

V-2 自由回答一覧

V-2-1【高校生】

Q7 希望の制度
朝の交流会
朝早くない出社時間
天下りがなければいい
あまりにも夜遅くまで仕事をさせない制度
安心して家庭が作れる制度
良い仕事をした人が給料を多くもらえる制度
家で仕事ができる。毎月ボーナスが出る
家で仕事ができる制度。決められた時間働けば仕事を始める、終えるタイミングが個人で自由に決められる制度
育休
育休
育休
育休、産休など手当がきちんとしている
育休制度
育休制度
育休制度があればいいと思う
育児がしやすい制度
育児休暇
育児休暇がしっかりとある
育児休暇が取りやすいなどの働く女性のための制度
育児休暇がとれる
育児休暇がもらえる
育児休暇に関する制度
育児休暇を積極的にとることができる制度
育児制度
育児に対する保証
意見が多く発言できて、日本のくだらない文化がない会社
意見箱に意見を入れて一か月に一回企業全体で話し合う
一攫千金
一週間で最低一日は休みである
一週間に一日は必ず休日がある
一週間に一回休みがあるところ
一週間に最低でも二日は休みがほしい
異動が少ないこと
今のままで十分
大型連休
お金がない人でも診察ができるようになってほしい
男の人でも育児休暇があればいいと思う

同じ会社の中でもたくさんの部署がありそのすべてと繋がりが持てるように月一で何かイベントのようなもので他部署の人ともコミュニケーションが取れたらいいと思う
お昼寝タイム
海外企業と交流を深めるために半年に数回話し合う機会を設ける
海外との交流
海外に転勤しやすいような制度
会社でお勧めする保険をいくつか挙げておいてくれるところ
家庭内勤務
家庭を第一に考えることができる
家庭を持っていても続けられる制度
完全週休二日以上制、夜勤なし
完全週休二日制
完全週休二日制
完全週休二日制、育児休暇(男女に)
完全週休二日制、残業手当有り、労基が機能している
起業したいので、社員が働きやすい環境を整えられるよう、社長と社員の関係を密にできる何か
企業内で雑誌を作ったり、ポスターを作ることを社員でやる制度があればいい
企業に就職しない
企業の見学や、体験をしてもらえる
きちんとした休日制度
きちんとした年金制度
厳しい決まりがない
希望休制度、プログラミング制度、年齢等の対等制度
基本的な制度が整っていれば十分
決められた時間で仕事が終わる。有給がちゃんととれる。出産や子育てに対しての手当
休暇がほどよく取れればよい
休暇制
休暇制度
休日がしっかりととれる制度
休日がしっかりとれる制度。また、休日に呼び出されない制度
休日を自由に選ぶことができる
急な時以外は土日祝日が休み
給料上昇
教員になりたいが、負担を少し減らせるような策を作してほしい
禁煙
緊急の休みが許される制度
勤務時間を定める制度
クラブ活動
結果ではなく頑張りで評価される制度
元気がない人に飴を配る
研修制度がしっかりしていてほしい
高校生が企業に行き、商品などを企画→商品化するといった機会があればいいと思った。
好成績を残すほど、社内での立場が入れ替わったり、給料が増えたりする制度
公務員であれば、教師の休日の部活手当がほしいと思う
効率よく仕事ができればそれでいい
個々の能力が発揮できるような制度
子育て支援

子育て支援制度
子育て支援制度
子育てしやすい環境
子育て中のお母さんでも働きやすい制度(社内に託児所がある、子供の急病による欠勤、早退を認める、など)
子育てに関する手当、服装のラフさ
子ども一時お預かり制度
子どもができた時に安心して子育てしながら働ける制度
子供が熱を出した時などの対応
子どもを預けられる保育園があること
子どもを預ける制度
差別がなく、どんな人でも働ける制度
産休
産休、育休
産休、育休、休暇をしっかりとれる
産休、育休の充実。子供を産み、育てながら働くことを応援する制度
産休、育児休暇
産休・育休がとりやすい
産休から復活したときにそれまで通りの仕事ができる
産休制度
産休制度や復帰後の保育サービス
産休や育休
残業があったとしても時間が決められるという固定の時間で社内での仕事を制限する制度はあったほうが良いと思う。(健康状態を管理し、仕事をより活動的にするため)
残業が少ない。若いうちから大きなプロジェクトに
残業がない
残業がない
残業がないような制度
残業がない曜日を設定する制度
残業が優遇される制度
残業禁止
残業禁止
残業ゼロ
残業代がちゃんと出るところ
残業代が出る。有給がとれる。法律を守っていればよい
残業代をしっかりと出してくれる制度
残業手当
残業手当がしっかりとある所
残業手当はしっかりと出ること
残業手当や労働時間の制限
残業なし
残業などが多すぎにならないような制度。育児休暇がある制度

残業に制限がある
残業に制度を設ける
残業の時間が定められている
残業は給料の 1.5 倍
残業を少なくする制度
残業を減らすような制度
残業をほとんどしなくてよい
時間外労働に厳しい制度
仕事時間が厳しく管理されている制度
仕事だけで人生の半分が終わらないように趣味の時間がほしい。歯車のようにではなく、人間らしく仕事をしたい
自宅勤務
自宅勤務、完全週休二日制
しっかり休暇がとれる制度
しっかりした育休制度
しっかりと決まり事を守る制度
しっかり休みが取れる
私服で働ける
自分が仕事をすればするほど給料が良くなる制度
自分が働きたい時間に働ける
自分が働きやすく、長年働ける環境が整っている企業
自分が休みたいときに休めて時間通りにあがれる制度
自分が休みたいときに休める。二か月に一回ボーナス
自分で制度を作れる制度
自分の家で働ける日がある
自分の意見を言える。上下関係が厳しすぎない制度
自分の欠点も受け入れてくれる環境
自分の誕生日の日は休み。(給料はいつも働いている分入る)
自分のペースで自分の好きなことをできる
自分のやりたい企画を進められ、それを会社がサポートしてくれる制度
社員同士が、幅広い話題の話をする機会
社内運動会
社内での会話の時間
週 3 日休暇制度
週休二日制、残業手当あり
週休三日
週休三日
週休四日制
従業員一人に一回は活躍の場を設けてもらえる
就業時間が決まっている
自由時間
週に一回は休日がある
週に必ず二日は休みがある制度
自由に自分の好きなように働ける制度
自由に出勤
自由に働きやすい制度
週三日以上休み。私服で仕事ができる。食堂の品全部無料。残業代がもらえる

出社時間が自由
障害などのハンデがあっても温かく受け入れてもらえる制度
昇格制度。給料が勤務歴で上がっていく制度
昇進制度
将来起業をしたいと考えている人に向けての起業セミナーをしてほしい
食堂
職場同士が仲が良い。子育てなどに関する援助制度
女子でも働きやすく、妊娠や子育て、生理などに配慮してもらえる制度
女性が結婚、妊娠してもそのまま仕事ができる。女性に対する良い制度
女性が働きやすい(産休、育休など)
女性が働きやすいシステム
女性が働きやすい制度
女性待遇が少しでもあればいい(優遇されていなくてもいい)。子育て、産休について理解がある
女性にとって働きやすい制度。土日が休みなど
女性に優しい制度
女性の育休
女性への待遇が良い(産休)
新入社員待遇
親睦会
好きな時に有給休暇がとれる
成果主義的な制度
成果に応じて給料が上がる
精神的に追い詰められたとき逃げられる制度(辞めれるなど)
積極的な海外研修
体調が悪い時、自宅で仕事をしても良い制度
タイムフレックス制
託児制度
立場関係なく、会社に関して意見を言える制度
男性でも育児休暇
男性の育児休暇・残業手当
小さい子どもがいる母親に少し融通がきく制度
ちゃんとした休みが取れて、残業で苦しい思いをしないような制度
長期休暇
長時間残業がない制度
月に数日早く終わる制度
定期的な社内交流レクリエーション、社員食堂の充実
定期的に休日がある
定期的に毎週一日は休みをもらえる制度
定時に帰ることができる
定時に帰る
定年退職後もしっかりと年金がもらえる
できるだけ自由な制度
転勤したとき家賃等も払ってほしい
どうしても休みたい日に代わりの人に仕事をもらう
どこでも産休制度があるといいと思う
どこの大学出身でもコミュニケーション力があれば就職できる制度

土日が休日制、残業なし
土日完全休日
土日祝日が休日
土日祝日は休み
土日祝は休み
土日祝休み。子供手当がつく
長めの育児休暇
夏休みの長期休暇、自分の机がなく、どこでも仕事できる
日曜日が休み
日曜日は休日。午後7時くらいまでの営業
人間ドック
妊娠している期間は休みが取れ、復帰できる。子供が保育園で熱が出たら途中で帰宅することができる
年金がもらえるまで働くことのできる制度
年功序列制度
能力重視
能力によって評価される制度
ノー残業デー
ノー残業デー
ノー残業デー、福祉や人生設計に関する補助
ノー残業デーが義務化されているような制度
入ったばかりの新入社員にも意見する権利とその場を与えてほしい。古い人たちの意見が通ってしまう現代社会に変革を
バカンス制度
働いた実績でボーナス
働いた分休みが取れる
働きすぎをなくせる制度
働きすぎを防ぐために、一日の労働時間を決める
働く間の時間と休憩する時間が安定している
働く前など研修期間などに分かりやすい仕事内容についての話をしてほしい
一人ひとりが尊重される企業
一人一人のアイデアを尊重し、企画等に必ず出すことができる制度
平等
部活動制度
服が自由。在宅ワークが可能
副業 OK
ブラック企業でなく、働いた分だけ報酬がもらえることが一番
ブラック企業などでなければ良い
ブラックじゃなければ何でも良い
フリー出勤
フレックスタイム制
フレックスタイム制、年功序列でなく実力での歩合制
平和
ベテランと若手が同じところで働く
保育士の給料を上げてほしい
保育の仕事で、育児のための休みを取っても復帰しやすいような制度がほしい。お給料を上げてほしい
法律で定められた勤務時間を超えて勤務することを防ぐ制度
ボーナス、残業日時の手当がしっかりしている

ボーナスがいっぱいもらえて、休みたいときに休める制度
ホワイトな企業
見えないところを見てくれる制度
短い時間でも出勤できる制度
皆でお昼ご飯を食べる
皆の意見を反映できる制度
メイク禁止などの規則がなく、華やかでもいいところ
夜勤なし
休み
休みがある
休みが多い制度
休みがきちんととれて残業が少ない。ボーナスが出る。保険がしっかりしている。実力を認め反映してもらえる
休みがしっかりとあること
休みが自由に取れる
休みがとれる
休みがとれる。忙しくないときは早く帰れる
休みの日が決まっている
休みの日がしっかり決まっている
休みらいときに休める制度
休みを簡単に取れる制度
有給
有給
有給
有給あり
有給が多い。夏休み、冬休み
有給を強制的に取らせる制度
有給を積極的に使える環境
ヨーロッパのような労働時間
リストラなし、年金は多め
レクリエーションのようなものを週一度設ける
老後に年金を支給する制度
労働者の気持ちを理解してくれる企業
若手の研修
若手の人たちがもっと活躍できる実力重視の制度。私情などで辞めることをやむを得ない場合でも、また同じ職場に戻ってこれる環境や制度

Q12 就職したい或いはしたくない理由
飽きた。大都市圏に行きたい
新しい環境で一から始めたいから
新しい環境で働き始めるときに自分の生活環境まで変わると、ストレスが大きくなりそうだから
新しいことに挑戦するには、周りの環境も変えたほうが良いと思うから
新しい自分になりたいから
新しいところで生活してみたい
新しいところに行くことが好きだから
新しいところに適応するのに努力を要するから
新しい土地へ行きたい
新しい場所で新しい経験をしたい。働きたい会社がない
新しい場所に興味があるから
あまりいい職業はなさそう
あまり多くの就職先がないイメージ
あまり考えたことがない
あまり考えたことがないから
あまり交通費を使いたくない
あまり実家から離れたくないから
あまり知らない地域で就職したいから
あまり就職先のことを考えていない
あまり遠くに行きたいとは思わないから
安心だから
安定
安定していそうな大企業が少ないから
家から通いたいから
家から通いたいから
家から通うことができる
家から通える
家から通える
家から通える
家から通える。近畿圏内の大学なら少しは名前が企業にも知られているから
家から通えるため
家から通えるため
家から通えるほうが良いから
家から近い
家から近いから
家から近いから
家から近いから
家から近いから
家から近いから。自分がよく知っている土地で安心できるから
家から近いけど、あまり姫路でどのように働くか分からないから
家から近い
家から近いところが良いから
家から近いほうが良いから
家から近いほうが良いから
家から近いほうが良いから

家から近いほうが良いから
家から近いほうが楽だから
家から通勤できる距離が良いから
家から遠いから
家に近いから
家の近くが良いため
家を出たい
家を出る予定がないので、できれば家から通えるところが良いから
家を離れたくないから
一番慣れている町だから
いつでも姫路に帰れるから
移動距離を短くして体力的に負担をかけないようにしたい
移動するのが面倒くさい
移動に時間をかけたくないから
田舎、閉鎖的な雰囲気が好きでない、生きがいを感じるができない
田舎から出たい
田舎すぎる。これ以上発展の見込みがない
田舎すぎるから
田舎だから
田舎だから
今と異なった環境にいたい
今のところ何をやりたいかよく分からないから
今の場所から抜け、外の世界を見たいから
今までと違うところに行って視野を広げたい。一人暮らしして自立したい
色々な所で経験を積みたいから
いろんな場所で働きたいから
色々な場所を知りたいから
生まれた地元で貢献したいから
生まれも育ちも姫路で慣れているから
大きな企業で働きたいから
大阪で就職したいから
お世話になった土地に貢献したいから
お世話になって先生が多いから
面白そうじゃないから
親が近くにいると何かと安心できるから
親から自立したいため
親から近いところ
親からの自立をしたいから
親から離れて自分で生きてみたいから
親と離れたいから
親の住んでいるところからあまり離れたくない
親の世話ができるから
親の近くで暮らし、なるべく会いたいから
親元は離れたいが、何かあったときに融通を利かせられるようにはしたい
海外を拠点に働きたいから
家族が緊急のときにすぐに駆け付けることができるから

家族との家が近いほうがいい
活動範囲が狭い
通うのが楽だから
通えるところが良い
彼氏が他県にいるので
環境が良い
環境が変化するのが嫌だから
環境になじんでいる
企業を中心となるような支社があまり多くないから
希望がないから
希望の職ならどこでもいいから
基本的にはどちらでもいいが、県内のほうが慣れているから
業種によるから
興味がないから
勤務先はこだわらない
勤務地に関してこだわりのないから
勤務地にこだわりはない
勤務地にこだわりはないが、仕事が姫路にあったとしたら姫路が良い
勤務地にはこだわらない
勤務地はあまり気にしていない
勤務場所にこだわりはない
クリエイティブじゃない
経済的なため
県外で働きたいから
県外に出たい
県外に出たくないから
県外に出て視野を広げたいから
県外に出ようと思わない
高校を出たら姫路を出るかもしれないので
神戸で働きたい
神戸に住みたいから
公務員志望であるため
故郷のほうが好き
故郷を大事に
こだわっていないから
こだわりのない
最終的に決まったところで尽力したらいいと思う
市外に出ていろんなことを学びたい
自家が近いと便利だから
仕事以外の趣味など私生活において便利なところが良い
仕事で疲れても実家が近いとありがたい
自宅から通えるから
自宅から通えるから
自宅から通えるところに就職したいから
自宅から出勤できるのは確かに良いが、姫路にいい職があるのか疑問
自宅から近いほうが仕事に集中できるから

自宅から近いほうが融通が利く
自宅から通勤したい
親しみがあるため
実家が近いと便利だから
実家が近いほうがいいから
実家通いができるから
実家からあまり離れたくない
実家から通いたいから
実家から通いたいから
実家から通いたいから
実家から通いたいから
実家から通うことができるから。地域の行事等で共通の話題が多いから
実家から通えば交通費が抑えられる。住み慣れた土地のほうが安心できる
実家から通えるところが良いから
実家から通えるところが良いから
実家から近いから
実家から近いので交通費がかからない
実家から通勤できるから
実家から離れたい
実家からや実家に近いほうが便利だと思っているから
実家を離れたくないから
知っている人がいっぱいいるところではなくて、知らない人がいっぱいいる都会で生活したいから
知っている幼稚園などが多い。姫路の道が慣れている
市内でなくとも、やりたい仕事があったから
市内でも市外でも自分がやりがいのあることをやりたい
市内にどういう企業があるかまだ分からないが、やりがいのある自分に合ったところに就職したいから
市の職員になり、姫路市で先生として働きたいから
自分が興味のある職に就きたいから場所は関係ない
自分が住み慣れている土地であるから
自分が住んでいるところだから
自分が住んでいる町に貢献したいから
自分が育った地域で働きたいから
自分が育った場所だから
自分が育った町を自分の手で間接ながら創造することができるから
自分が働きたい会社があればその場所はどこでもいいから
自分が働くことができる中で最もいいところに就きたいので、それがどこかは分からない
自分がやりたい仕事があれば姫路でも良いが、ないのならばそこまで姫路にこだわらない
自分がやりたい仕事だったらこの地域でもよいから
自分が良く知っているところで、何かあれば助けってくれる人が近くにいるから
自分に合った職場なら多少遠くてもいいから
自分に合ったところで働けるならどこでもいい
自分に適しているかまだ分からないから
自分のしたい仕事ができるならばどこでもよい
自分のしたい仕事が姫路で活かせるとは思わないから
自分のしたい職業によるから
自分の知っている場所のほうが落ち着くから

自分の視野を広げたい
自分の出身地域で役に立ちたいから
自分の知らない地域で働きたいから
自分の好きな仕事ができるならどこでもいいから
自分のなりたい職業は東京でしか無理で、もしそれになれない場合は姫路でもよいから
自分の働きたい仕事は姫路にあるかどうか分からないから
自分の町で働きたい
自分のやりたいことをしたいから。近畿圏が理想
自分のやりたい仕事がないし、外(世界、県外)で活躍できそうにないから
自分のやりたい仕事ならどこでもいいから
自分は警察官になりたいので
地元以外のところで働いてみたいから
地元以外の場所で働きたいから
地元が一番好き
地元が一番好きだから
地元が一番住みやすいから
地元が好き。都会は好きじゃない
地元が好きじゃないから
地元が好きだから
地元が好きなので、地元から通える場所で働きたい
地元が過ごしやすいから
地元が慣れていて生活しやすいから
地元が姫路だから
地元だから
地元だから
地元だから
地元だから
地元だから知り合いなどが多そう
地元であり、安心感があるから
地元で安心するから
地元で活躍したいから
地元で貢献
地元で就職し、貢献したい
地元で就職するかどうかあてにならない
地元で就職することで親が年を取ったときに介護に行きやすい
地元で働きたいから
地元で役に立ちたい
地元なので知り合いがらくさんいるから。でも大阪や東京のほうが良い仕事があるのではないかと思う
地元で貢献するか、海外で働くかのどちらかが良い
地元こだわらない
地元にはないところで働きたいから
地元のために働きたいと思うし、安心できるから

地元の慣れ親しんだ感じが楽であると思うから
地元のほうがいいから
地元のほうが落ち着くから
地元のほうが分かっていることが多く心配が少ない
地元の祭りに参加したい
地元もいいが、地元にこだわりすぎるのは自分の能力を閉じ込めてしまう結果になるのではないかと思うから
地元を離れたいから
地元を離れたくないし、近いから
地元を離れて、もっと都会で働きたいから
視野が狭くなるから
就職活動をするときに考えが変わっているかもしれないから
就職先がどこになるか分からないから
就職先にこだわりを持っていないから
就職先の施設によるから
就職したい会社がないから
就職したい会社が姫路にはないから
就職したい場所が兵庫県にはないから
就職できればどこでもいいので
就職場所が未定
就職場所にはこだわらない
自由に合う仕事があればいい
出身地だから
生涯を姫路で過ごすのは嫌だから
条件によって変えようと思っているから
将来自分のやりたいことが姫路でなければ意味がないことだから
将来どこにいるか分からないから
将来どこに住んでいるかわからないから
将来何しているかわからないから
将来についてまだ分からないから
将来のことは見当もつかないから
将来のことはまだあまり考えられていないから
将来のビジョンがまだ見えないから
職種が多い。便利
職種に限られるから
職種や企業、会社などが限られるため
知らない土地で生活したい
知り合いがいるから
知り合いと会った時に面倒だから
知り合いと出会うかもしれないから
知り合いに会いたくない
人生においていろいろな経験がしたいので、一つの場所にとらわれたいから
新天地で新しい自分を見つげたいから
好きな職種で働くなら場所はそこまで関係ない
すぐ実家に帰れる。または、家から通える
すぐ実家に帰れるから
過ごしやすいから

ずっと同じところにいるのも面白くないから
ずっと姫路にいるから違うところをしたい
ずっと姫路にいるので、ほかの地域をしりたいから
住み慣れた環境だから。親や祖父母に何かあったときにすぐ会いに行けるから
住み慣れた地域で働くことは精神的に落ち着ける気がするから
住み慣れた土地だから
住み慣れた街で仕事がしたいから
住み慣れているから
住み慣れている地域なら安心できそうだから
住みやすいと思うから
住みやすい町だから
世界へ出て国際的な活動がしたい
そこまで想像ができない
育ったところと違う場所で生活することはいい経験になると思うから
外に出たいから
外の世界を見たい
その時になってみないろ自分がどこで働きたいか分からないから
祖父母や親がいるのでなるべく近くで働きたい
それほどこだわらないため
大都市に行きたい
大都市に住みたいから
他県に行ってみたい
単純に楽だから
地域にこだわりはない
地域に縛られている感じがして嫌だから
地域を重視したことがないから
小さい頃から見えてきた親しみのある場所で働けたらいいなと思うし、より良い場所にしていくために自分が貢献して役に立てばうれしいと思うから
近いから
近いところが良い
近いほうがいい
近いほうが良いから
近いほうがいいから。近くに知っている人がいたら安心できる
近いほうが何かと便利だから
近いほうが便利
近いほうが楽だから
近いほうが楽だから
違う環境で生活がしてみたいから
違う地域で暮らしたいから

違う地域に行っているんなことを学びたい。親元を離れて自分のことを自分でする力を付けたい
違う場所に行ってみたくらいという好奇心があるから
近くが良いから
近くに就職したい場所があるから
近すぎる
近すぎるのは嫌だから
近場が良い
近場だから
地方に行きたいから
駐車料金をとられるから
中小企業が多そう
地理をある程度知っているから
就いた仕事の状況によるから
通勤が楽
通勤時間を短くできるから
通勤に時間がかかるのはもったいないから
通勤に便利
就きたい仕事の就職場所が姫路にもあるかもしれないから
就きたい就職先なら場所は関係ないから
就きたい職業が姫路でできるなら姫路で就職したいが、そうでないときや、総合的に市外のほうが条件が良い場合は市街を選択すると思う
できることが少ないので刺激がなさすぎる。姫路特に思い入れはない
できるだけ家から仕事に行きたいから
できるだけ家から近くが良いから
できれば家から通いたい
できれば違う町で働いてみたいから
できれば遠いところに行ってみたくらい、一人っ子なので親が倒れたりしたときにすぐに向かえる距離のほうがいいのかなと思うから
同級生と会うかもしれないから
東京、大阪などで働きたい
東京音楽隊でありたいから
東京か大阪で就職します
東京周辺に行きたいから
東京進出
東京で就職したいから
東京で就職したいから
東京で働きたいから
東京で働きたいから
東京に行きたいから
東京に行きたいから
東京に行ったときにそこで暮らしたいと思ったから
東京のような都会に住みたいから
どうしても地元で働きたいこともないし、地元を出たいわけでもない
遠いと通うのが大変だから
遠くに行きたい
遠くに行くのが大変だから
遠くに就職するメリットも特にないから

都会が良い
都会が良いから
都会で色々経験したいから
都会で生活して働きたい
都会で働きたいから
都会に行きたい
都会に行ったほうが色々な情報を得られるかもしれないから
都会に住みたい
都会に出たいから
都会に出たいから
都会に出たいから
都会に出たいと考えているから
都会のほうが大きい企業がたくさんある
都会のほうがロマンがあるから
都会へ行きたい
都会へ行きたいから
特に希望はない
特に希望はない
特に決めていない
特にこだわらないから
特にこだわりのない
特に地元こだわりのないから
特に姫路市内で働くことにこだわりのない
特に姫路にこだわりのないが、良い職場があれば姫路で働きたい
独立したいから
どこであっても仕事があればいいから
どこで仕事をしてても特にこだわりのない
どこで就職してもやりたい仕事できれば良い
どこで就職しても私にはあまり影響がないから
どこでもいい
どこでもいいが自分が本当に働きたいと思う場所に就職したいから
どこでもいいから
どこでもいいから

どこでもいいから
どこでもいいから
どこでも同じだから
どこでもよい
どこに就職しても同じだと思ったから
都市に行きたいから
都心で働きたい
土地勘があって働きやすいから
土地に慣れているから
どちらでもいい
どちらでもいい。できれば関東や大阪などで働きたいと思っている
どちらでもいいから
どちらでもいいと考えているから
どちらでもよい
どちらとも言えない
どっちでもよい
どっちでもよい
どっちでもよい
どっちでもよい
とにかく就職できるかどうかに着眼点がある
どの会社、現場に就くかはまだ全くの白紙だから
どの場所で就職しても構わないから
どのような職があるか分からない
とりあえず姫路から出たい
どんな仕事に就きたいか分からないから
何かあったときにすぐにその働き先に向かうことができるから
何になりたいかすら決まっていないから
何の仕事をするか決めていない
何も考えていない
なるべく実家から近いところに住んで仕事に行きたいから
慣れ親しんだ土地だから

慣れ親しんでいるから
慣れたところがいいから
慣れているから
なんとなく
なんとなく
なんとなく
なんとなく
日本の外へ出て働いてみたいから
漠然としているから
場所でなく内容で決めたいから
場所にこだわらないから
場所にこだわりはない
場所はこだわらない
場所はどこでもよいから
働きたいという思いがない
働きたいと思う場所がどこにあるかもまだ把握していないから
働きたいところが市外にあるから
働きたいところが姫路市内にはないから
働く職種が少ない
働く地域にはこだわりのないから
働くところがほとんどないので県外で仕事をしたいから
働く場所について考えたことがないから
働けたらどこでもいい
働けたらどこでもいい
一人暮らしがしたいから
一人暮らしが大変、通勤時間が多いのが嫌
一人暮らししたいから
一人暮らしで自立したいから
一人暮らしで姫路を出たいから
一人暮らしをしたいから
一人暮らしをしたいから
姫路が好き
姫路が好きだから
姫路が好きだから
姫路が好きだから
姫路が好きだから
姫路が好きだから。自分が育った町だから
姫路が都会過ぎず田舎すぎず、ちょうどいい感じに住みやすいから
姫路からあまり出たくない
姫路市街に住んでいるから
姫路市が好きだから
姫路市が住みやすいから

姫路市が住みやすいから
姫路市内が嫌というよりも私は海外で働きたい
姫路市内だけではなく、もっと広いところで就職したいから
姫路市内で就職したいとこだわっていないから
姫路市内でも市外でもよい
姫路市内にいないのではなく、別のところで就職してその所の雰囲気とかを見たりしたいから
姫路市内に航空会社がないから
姫路市内に自分のやりたいものがあれば姫路市内でもいいが、なければ離れるしかない
姫路市にこだわる必要があまりないから
姫路市にずっといたくないから
姫路市に就きたい職があるか分からない
姫路市には特にこだわっていないから
姫路市民でないから
姫路市民の人の力になりたいから
姫路出身でないから
姫路出身ではないから
姫路出身ではないから
姫路出身ではないから
姫路だけではなく、いろいろな地域の人とも交流したい
姫路で就職するともう姫路から出ることができない可能性が高い
姫路出たい
姫路でなくても良い
姫路でなくても良い
姫路での就職にこだわりはない
姫路で働きたいとも働きたくないとも思っていないから
姫路では就けない職を目指しているから
姫路といえばグローリーしか思いつかないから
姫路に愛着はない
姫路にいたいから
姫路に希望している職がない
姫路にこだわっていないので、どちらでもよい
姫路にこだわりはない
姫路にこだわりはないから
姫路につきたい職があるか分からないから
姫路に閉じこもりたくない
姫路にどんな仕事があるのか知らない
姫路に何も無いから
姫路にはあまり大きな会社がない
姫路のことをよく知っているから
姫路の災害の少なさと、多くも少なくもない人口
姫路の外での環境を体験してみたいから
姫路の外にある県の雰囲気を見てみたいから
姫路の端に住んでいるから
姫路の雰囲気が自分に合っていると思うから
姫路のほうがよく知っていて安心するから
姫路は田舎で交通の便があまりよくないから、神戸や大阪の都会の暮らしをしてみたい

姫路は自分の就職したい企業がない。都会へのあこがれ
姫路はしょぼいから
姫路は都会ではないけれど、そんなに田舎でもなく、とても住みやすいから
姫路は都会でも田舎でもなく、中途半端だから
姫路はとても住みやすく、自分に合っていると思うので
姫路もいいと思うけど東京に出てみたい気持ちもあるから
姫路よりいい土地があるから
姫路より良さそうな地域がありそうだから
姫路を出たいけど、まずは就職が決まるのが優先
姫路を出てチャレンジしてみたい気持ちもあるが、家から近いほうがいい気もする
姫路を離れて就職したいから
兵庫県内の大学に通うことになった場合、県から出る機会がないから
兵庫県南部であればどこでもいいから
広い視野を持ちたい
広い世界が見たいから
広い世界に出たいから
広い世界に飛び出していきたいから
不便でなければ働く地域には特にこだわりはない
別にそこまで考えていない
別に姫路でも悪くはない
変化がほしい
他にも住みやすい地域があると思うから
ほかの環境に行ってみたい
ほかの地域で暮らしたいから
ほかの地域で就職したほうが自立できそうだから
ほかの地域に行くことで、新たな発見が見つけれられるから
ほかの地域に興味があるから
ほかの地域について知りたいから
ほかの地域のことも知りたい
ほかの地域も知っておきたい
ほかの土地に行きたいから
ほかの場所にも行ってみたい
まだ就職について真剣に考えたことがないので分からない
まだ就職について深く考えていないから
まだ何も将来のことについて考えていないから
まだよく分からない
まだよく分からない
まだ分からないから
まだ分からないから
祭りが好きだから
祭りが苦手だから
祭りのときに帰ってこれるから
見慣れているから
見慣れている土地だから
昔から東京で仕事をしたいと思っていたから
目指しているのが東京だから

もう少し都会が良い
もう少し都会で働きたいから
もう少し都会へ行きたい
もっと需要がある所
もっと世界を知りたい
もっと都会的な場所で働きたい
もっと都会に行きたい
もっと都市で働きたい
もっと広い世界が見たいから
やりたいことができるならある程度便利が良いところならどこでもよい
やりたいことができればどこでもよい
やりたいことならどこでもよいから
やりたい仕事がない
良く知った土地で働きたいから
良く知らない町は不安だから
楽
両親が高齢になれば実家で介護できるから。慣れた街だから
分からないから
分からないから
私になりたい職業は姫路市内にあるから

Q13 環境好き
姫路が都会過ぎず田舎過ぎず、ちょうどいい感じに住みやすいから
姫路は都会ではないけれど、そんなに田舎でもなく、とても住みやすいから
明るい、安全
明るい、きれい
秋に祭りの時期があること。毎年楽しみにしているから
暖かい
暖かく住みやすい
ある程度移動手段があって田舎過ぎず都会過ぎないところ
ある程度のものが揃っている点
安全
安全
安全でそんなに治安も悪くなく、昔から知っているところなので住みやすい。姫路城がきれい
安定している点。大都市でも田舎でもないところが良い
いい具合に店が駅にある
いい具合の都会と田舎の近さ
いいくらいの田舎感と都会感
良いところだから
良い文化がある所。雰囲気が良い
家が近い
家からコンビニが近く便利
意外と何でもあるところ
意外と広い
意外と便利
移動が便利
田舎過ぎず都会過ぎず住みやすい
田舎過ぎず都会過ぎない気温もいいくらい
田舎ではあるけど、不自由ではないところ
田舎でも少し地域を出ると、便利な店などがたくさんあるう
田舎でも都会でもないところ
田舎でも都会でもないところ。人や店の数が少なくも多くもないところ
田舎でもなく都会でもなく、過ごしやすい
色んな店があるところ。田舎にはないから
色んなものが駅に揃っている
生まれ育った場所なので落ち着く
生まれ育った町なので生活しやすい
映画館や、ショッピングセンターなどが充実している
衛生環境が良い、整備されている
駅がきれいになった。見た目が良い
駅が盛んになっているところ。田舎だけど、駅のようにお店が集まっているところがあると、買い物もできるし気分転換になるから
駅から近く、生活に必要な店が近くにある
駅周辺以外の治安はまだいいほうだと思う
駅周辺が少し都市化してきていて便利
駅周辺がよくなってきて、便利
駅周辺に充実した施設があること。便利

駅周辺の環境。たくさんの店があり、華やかで生活しやすいから
駅周辺の整備がしっかりしている
駅周辺のポイ捨てが少ない
駅近
駅にはそこそこ色々揃っているから便利
駅に店が多く便利
駅の近くは便利。新幹線がとまる
駅の近くは道や建物が整備されている
駅の周りがとても充実している
駅前が充実している
駅前が充実している
駅前がちょっと活性化したところ
駅前が使いやすい
駅前などはにぎわっているが、城付近は景観が保たれているという様々な面がある点
駅前がいい
大きな地震が少ないところ
多くのベトナム人が住んでいる
大手前公園でたくさんの催しがあること
大手前通りが広いところ。通行しやすく視界が開けている
大通りが賑やか
お城があり、見たら元気になる
お城がきれい
お城がきれい
お城がきれい
穏やか
穏やかで落ち着く
穏やかな雰囲気、落ち着いて生活できる
落ち着いている、住みやすい、交通の便が良い
落ち着いているが、利便性は良いところ
落ち着いている点、夜静かだから
落ち着いているところ、自然があるところ
お祭りがあるところ
お店などがたくさんあっていい雰囲気
思ったより便利。新幹線が止まる
買い物など便利
買い物や交通機関などで不自由があまりなく便利
活気がある。古風な雰囲気と近代的な雰囲気の融合が良い
活気があるがあまりすぎないところ、あまりに活気があると不便だから
過密ではないが都市であり、自然や歴史的建造物等も多く、わざわざほかの地方に行く理由があまり見当たらないところ
川、海の水がきれい。気持ち良い
川や公園の清掃活動があり、自然環境をきれいに保とうとしている
環境が整っていて住みやすい
環境に強い
観光客で賑やかなところ。栄えている感じがするから
観光資源が身近にあり、観光客にどのようなニーズがあるのか日常の生活を通して知ることができる
気候が良い
気候が温暖で台風もないところ。スキー場が近い

気候が良い
気候が良い。ある程度都会である
きちんとしたごみの分別
基本キレイ。城下町を大切にしていると分かるから
基本不便なことがない
きれい
きれい
禁煙区域がある、姫路城がある
空気おいしい
空気がきれい
空気がきれい
空気がきれい
空気がきれい。人が少なめで中心部にあまり工場がないから
暮らしやすい
交通が整備されている点。店が充実している
交通が便利
交通が便利。バス、タクシー、電車など
交通機関が整っている
交通機関が良い
交通手段が多く便利
交通などが便利なこと。世界遺産が身近にある
交通の便があまり不便でないこと
交通の便が良い
交通の便が良い
交通の便が良い。知り合いが多い
交通の便が良いところ
交通の便が良くいろんなところに行きやすい
交通の便が充実している。姫チャリ。市の中心に行けば大抵のものがそろう
交通の便が良い
交通の便が良い
交通の便が良い
交通の便が良く、通学しやすい
交通便が良い
交通便が良い
交通便利
交通網が充実している。いろんなところに行きやすい
交通網などが発達している
交通や買い物など便利が良い点
紅葉が見れるところ
故郷という安心感
個人的な趣味の上で施設が豊富である
言葉が通じやすい
ごみが少ない。落ち着く。ちょうどいい
ごみが少ない。自然が多い
コンパクトシティなところ
コンビニがある

災害があまりなく平和
災害が起こってもあまり影響を受けない点。身の安全は大切だから
災害が少ない
災害が少ない、安全な土地である点
災害が少ない。都会でも田舎でもないところ
災害が少ないところ
災害が比較的少ない
災害の不安が少ない
様々な店や施設が充実していること
地震が少ない
地震がない
地震などの災害がない
静か
静かで過ごしやすい
静かで住みやすい
静かなところ
自然があり、ほどほどに便利である。都会と田舎の間くらい
自然がある
自然がある上に便利な点が多く、災害がほとんどない
自然があること
自然がいい具合の割合である点。いい具合に都会
自然が美しい
自然が多い
自然が多い、歴史的な建物が多い
自然が多いところ
自然が多いところ、心が穏やかになる
自然が多く、落ち着く
自然が結構ある所
自然が豊か
自然が豊かで過ごしやすい点
自然災害が少ない
自然災害が少ない
自然災害が少ない
自然災害が少ない。交通の便が良い
自然災害が少ない点。安全で住みやすいから
自然災害が少なく安全なところ。田舎すぎず都会過ぎず、衣食住に困ることなく自然に恵まれているところ

自然災害が全くなく、安心して暮らせる
自然で落ち着く
自然もあり商業施設も充実しているところ
自然豊か
自然豊か
自然豊かな点
自然豊かなところが多い
自然豊かなところがきれい
自宅から近い
親しみやすい
実家がある
知っている友達が多く、生活しやすいから
知っている人がいるので会話がしやすい。地元だからこそわかることがある
自転車置き場が多いこと
自分の家の周りは適度に店があって、非常に良い
自分の地域と比べて店が多くある
地元愛がある
地元なので思い出がある
地元にくらべて交通の便が良い
地元の行事が多い
地元の祭り。毎年たくさんの人が祭りを見るために地元に来てくれるのは誇らしい
車両速度 10km オーバー以内なら許される点
住宅街ばかりでなく、自然もあるので落ち着く
商店街や祭りに活気があるところ
城があり、誇れる
城がある
城がある
城がある
城がある
城が見える
城周辺の歴史的施設があること
新幹線が通っていて便利
新幹線がとまる
新幹線がとまる
人口が多すぎず少なすぎず、市街地もコンパクトに収まっている。交通の利便性
人口が多すぎず少なすぎない。気候が適切
水族館がほかの市よりも雰囲気が良い
スーパーが多い
スーパーが多い。買い物がしやすい
少し行ったら駅前で、少し奥へ行ったら自然があり、ちょうどよい
過ごしやすい
過ごしやすい。交通機関が多い
素敵なピアノの先生がいる
スポーツ施設が多いところ
住み慣れた土地
住み慣れていて、落ち着くから

住み慣れている
住み慣れている
住み慣れているから行動しやすい
住み慣れているからびくびくすることはない
住みやすい
住みやすい、災害が少ない
住みやすい。自分のほしいものや必要なものが近場で手に入る
住みやすい。人が温かい
住みやすい。人が多くも少なくもなく、交通の便もそれなりによく、近くにコンビニもあって、都会でも田舎でもないこと
住めば都
住んでいる町の人が温かいところが好き。落ち着く
生活しやすい
生活しやすい、自然豊か
世界遺産がある
世界遺産がある所
世界遺産が近くにあること
世界遺産にも囲まれていて、交通の便も良い
設備、サービスが充実して暮らしやすい
設備が揃っている。きれい
そこまで荒れていない
そこまで人が多くないから暮らしやすい
大都市とのアクセスがしやすく、市全体が税金によって潤いがあるから
高い建物が少ないこと。人が多すぎないこと
たくさんの店がある
タバコのポイ捨てに対する罰金制度がしっかりしているところ
食べ物がおいしい
治安が悪いところが良い
治安はそこそこ安定していて、生活しやすいと考える
治安もいいし、落ち着いた生活ができる
地域愛が強いこと。祭りなどでよく現れていると思う
地域が活気であふれている
地域向上のため、たくさんのイベントを催す点。地元愛が目に見えて分かるから
地域交流がよくできる点
地域でのつながりが強い
地域の方々が温かく支援して下さること
地域の人が優しい
地域を活性化する活動があるから(姫路城マラソンなど)
小さな頃から慣れ親しんでいる点。静かで落ち着いているから

近い
地価が手軽でやや都会
近くに店がある
近くにローソンがある
中学生以下医療料金が無料である点
ちょうどよいくらいに近代化しており、自然もたくさんある点
ちょっとした町と、田舎とがあり、バランスが良い
津波がめったに来ない
津波などの心配がなく、安心して暮らすことができる
津波の被害が少ないこと
適度な人口密度で活発的ながら暑苦しくない点
適度に店がある。田舎すぎると困る
適度に緑があるから
電車、新幹線がたくさん通っているので移動しやすい
電車、バスなど交通の便が良い
電車が便利なこと
電車を待っている時間がピオレのお陰で楽しいところ
道路が明るく夜でも安全に帰れる
道路がきれい
遠くまで行かなくても必要なことが済ませられるので便利
都会過ぎず、田舎すぎず、住みやすい
都会過ぎず、田舎すぎず、不便がないところ
都会過ぎず、田舎すぎないところ
都会過ぎず、かといって不便な点も少ない
都会過ぎず田舎すぎず、交通の便も良く自然も残っている点
都会過ぎず田舎すぎず、適度で住みよい
都会過ぎず田舎すぎず暮らしやすい
都会過ぎず田舎すぎない
都会過ぎず田舎すぎない
都会過ぎず田舎すぎない
都会過ぎず田舎すぎない点
都会過ぎず田舎すぎないところ
都会過ぎず田舎すぎないところ
都会過ぎず田舎すぎないところ
都会過ぎず田舎すぎないところ。災害が少ないところ
都会過ぎず田舎すぎないところ。人口過多でなく住みやすい
都会過ぎない。窮屈な暮らしが嫌いだから
都会過ぎないところ
都会過ぎないところ。
都会過ぎないところ。田舎すぎず、交通の便もいいから
都会過ぎないところ。姫路城があること
都会っぽくなく、田舎っぽくもないところ。気候が温暖
都会ではないが田舎すぎないところ
都会ではないが少し大きな町、という微妙なポジションが良い
都会ではないけど田舎でもないという中間っぽくて住みやすい
都会でもあり田舎でもある。近くに何でもある。姫路城がある

都会でもなく田舎でもない
都会でもなく田舎でもない点
都会でもなく田舎でもなく過ごしやすいから
都会と田舎の間である所。都会のにぎやかさはあまりないが、交通の便は良い
都会よりも自然が残っている。文化遺産がある。土地が高価すぎない
特に不満はなく、住みやすい
どこに行っても姫路に帰りたくなり、帰ってくると、とても落ち着く
都市でもなく、田舎でもない過ごしやすい町だから
都市に行きやすく、悪くも良くもない普通の町
土地整備が整っている。景観がいい
どちらかというと田舎で落ち着いているから
友達がいる
長年住んでいるので慣れている、生活しやすい
馴染みがある
何かと便利
何もなくていい
慣れている
慣れている
慣れている
慣れているし、程よい田舎だから
何でも自転車で行ける範囲にある
賑やかであまり狭い感じもなく過ごせること
賑やかな点
ノスタルジックな風景で落ち着く
のどか
のどか
のどか
のどかなところ
のんびりしている
のんびりしているところ、庶民的なところ、姫路城がかっこいい
バスがたくさん走っていて便利
バスや電車の本数がほかの市に比べて多いと思う。通学にバスも電車も使っているので便利
晴れが多い、遊べるから
犯罪がすくない
犯罪が少ない。暮らしていて安心する
比較的安心
比較的緑が多い点。気分が落ち着くから
必要なものが揃いやすくて便利である点
人が明るい
人が温かい
人が多くて栄えてきた
人が多すぎないところ
人が多すぎないので落ち着く
人がそこまで多くないこと。人が多いと疲れる
人がそこまで多くないところ
人が楽しい

姫路城が見える
姫路城が見える
姫路城が見れること
姫路城周辺がとてもきれい
姫路城と周辺がきれい、世界に誇れる
姫路城にみんなが誇りを持っている
姫路城を大切にしている
姫路城を中心に、いろいろな施設が揃っているところ
姫路城
姫路城が近い
姫路は穏やかでとてもいい街だと思う
昼はのどか
普通
物騒でない点
不便でない
不便な点がないこと
不満はないので今で満足している
雰囲気が好き
分煙ゾーンがあり、副流煙を吸わずに済むし、環境にもいいから
文化がたくさんある
平和
平和な感じがして、ゆっくりできる
便利
便利、店がそれなりにある
ポケストップが多い
歩道が広い点。通行しやすい
程よい田舎感と都会感。生活に困らないし、中心部は発達している
程よく田舎で程よく都会なところ。海も山もあること
程よく田舎な点
程よく田舎なところ
ほどよく田舎なところ。都会は騒がしいから
程よく自然がある
ほどよく都会と自然がある
程よく都会なので住みやすい
程よく便利
ボランティアやイベントが多い
まあまあアクセスが良い
まあまあ田舎なところ。落ち着く
街がきれい
街がきれい
街がきれい。ある程度のものが揃っている
街がきれいな点。見ていて気分が良くなる
街と自然の調和、街しか存在しないところは窮屈だが、自然があることで精神的にリラックスできるため
街の知らない人でも「おかえり」と言ってもらえること
街の道路がきれい。最近改築されたのか、新しい建物がある
街のどこかには緑があるところ

祭り。外国人が多い。国際的な感じ
祭りがあること
祭りが盛ん
祭りが盛ん
店が多い
店が多い
店が多い、バスが多い
店が多く色々と便利。困ったときに役に立つから
店がたくさんある
店が増えてきてすぐ買い物に行ける。山や海があること
店や施設がすくなからずあるので、不便ではないこと
道がきれい
道がきれい
道が分かりやすい
道端などに目立つごみが少ないから
緑が多い
緑が多い、空気が良い
緑が多い、姫路城があることで観光客が多い
緑が多く、空気が新鮮
緑が多い
緑が残っている
緑が豊か
みんないい人で結構栄えている点
優しいところ
優しい人が多い
山が多いので落ち着いて過ごせる
有名な建物がある。姫路駅の交通の便が良い
雪が降らない。うっとうしくないから
よく分からない地元の人が作った自作の曲を大きなフェスティバルで披露させるところ
ライトアップが良い
利便性が良い
歴史あるお城と町が残っている点
歴史的
割と何でもあるところ

Q14 環境嫌い
アートシネマが上映してない映画があるのが残念
飽きた
遊ぶところが少ない
遊ぶところが無い
遊ぶ場所が少ない
遊べる場所がほとんど姫路駅周辺のみ
新しいお店などが少ないので面白くない
新しい環境で働いてみたい
あまり楽しめる施設がない
ありすぎて書ききれません
歩きながら煙草を吸う人が多いこと。車の信号無視やスマホを触りながら運転している人が多いこと
良いデザインの建物が少ない
家が工場に近いので鉄粉が飛んでくる
家から最寄り駅が遠く不便
市川を渡る橋が狭い(歩行者と自転車)
一部に集中しすぎている。都会と田舎との落差が激しい。川にごみがたまっている
一方通行が多いので、移動しにくい
田舎
田舎。治安が大してよくない
田舎。つまらない
田舎すぎる
田舎すぎる点、寂しい
田舎の交通の便が悪いところ
嫌な人が多い
色々と不便
うまくないミュージシャンが路上ライブをしていてうるさい
運転マナーの悪い人が多い
駅から離れるとポイ捨てが多い
駅近隣の空き地が多い
駅周辺と遠いところでの道路整備の違い
駅周辺に遊ぶ場所がない
駅周辺にだけ建物が多い
駅周辺の開発が中途半端すぎる。姫路城のせい高い建物を建てられないのはナンセンス
駅周辺の商業施設が微妙
駅周辺の人口密度が高い
駅周辺を除いて田舎で不便
駅の衛生環境が悪い

駅の近くにパチンコ店が多いこと
駅の場所が偏っている
駅前かある程度栄えている部分にしか再開発が実施されていない。市内の税金をかけている場所の均衡がない
駅前しか栄えていないような気がする
駅前で汚いところがあること
駅前にみんなが楽しめる建物がなさすぎる。学生が楽しめるような建物があればいいと思う(ラウンドワンなど)
駅前に無料の自転車置き場がない
駅前の発展が乏しく、不便
駅前のマナー
駅まで出てきても時間をつぶせる場所が無さすぎる
駅南から駅北へ抜ける道が狭く、すぐに渋滞する
大きい店が少ない
大きなイベントがないこと。近くでも神戸までいかないとコンサートもコミケもない
大阪、京都、神戸ほど行きたいと思えるものが多くない
大手前通り周辺にごみ箱が少なく、不便
大手前通りにごみのおいがよく残る
同じところだけ道路整備しないでほしい。ほかにもっとすべきところがあると思う
お店が充実していない
お店が少ない
外国人観光客や観光客が多いため、ごみ場所の場所が分からずポイ捨てが多い
外国の人が多いのはグローバルでいいかもしれないが、学校でのトラブルが少し見受けられる
街灯が少ない。カラスが多い
街灯の数が少ないところがある
買い物などをするとところが少なく、不便
学生が遊ぶ場が少ない(遊園地など)
学校にスマホを持ち込むのがダメな点。県立の学校は持っていくのはいいのに、市立はなぜだめなのかよく理解できない。事件に巻き込まれても何も対応できない
ガラが悪い
からだを動かして遊ぶようなところが駅の近くにない点
川が汚い。星が見えない。水が黒い
川の水が汚い
考えが古い
観光客によるごみ
観光施設が姫路城や好古園くらいしかないこと。駅周辺で大人数で使える飲食店が少ない
教育制度がなっていない、コンビニだらけ、直してほしいところが直らない
京都、大阪、神戸に比べるとほしいものが入手できない機会が多い。ポケセンコーベ作ってほしい
空気があまりきれいでない
空気が汚い
臭い
車が多い
車が多い
車がなかなか譲ってくれず、横断歩道を渡れないところ
車の運転が荒い
車の運転が荒い
車のスピードが速い
警察が鬱陶しい
公園が廃れている

高校生が医療料金が有料である点
交差点のカーブミラーや溝へのブレーキング設置を増やしてほしい。スクールゾーンなどが増やしてほしい
公衆トイレが汚い。ポイ捨てが多い。鳩が多い
工場周辺は空気が汚い
工場地帯のにおいが嫌い
交通が不便
交通が不便、電車代が高い
交通事故が多い
交通渋滞
交通手段が少ない
交通手段が不便
交通手段が不便(特にバス)
交通の便が不便
交通の便が不便などところがある
交通の便が悪い
交通の便が悪い。中国人がガラ悪い
交通の便をもっとよくしてほしい
交通マナーが車も自転車も悪い
交通マナーが悪い、譲り合うことがない
交通量が多いところ。自転車で事故しそうになるから
交通量が多い道でも交通整備されていない
交通ルールを守らない(譲り合わない)ことが多い
高齢者が多い
ゴミブリが出る
ごみ、ポイ捨てが多々ある
ごみがある。道路のわきの溝が臭い。ため池に草が多く生えており、虫が多い
ごみが臭い
ごみがたくさん落ちている点。環境が汚れているように見えるから
ごみが散らかっているところがあること
ごみがよく落ちている
ごみがよく落ちている、見苦しい
災害がなさすぎて人々が無関心で、災害が起こった時の対処が絶対にできないと思うから
在学、または卒業した高校で人間を評価される風潮
最近熊が出る点
様々な施設が集中しているところとそうでないところの差が激しい
様々な施設が少ない
寒い
寒すぎず、暑すぎず気候が良い
騒がしい。店が混雑している
山電のトイレが汚い
仕方ないことだが、信号の流れが悪いと最近思う
自習できる場所があまりない
施設などが神戸などに比べると整っていない
自転車が車や歩行者と接触せず安全に通れる道が少ない
自転車用のレーンが少なく狭い歩道で車道との距離が近いのが危ない
市の取り組みが少ないこと

地味
小学校がかわいい
商業施設があまり充実していない
ショッピングセンターが少ない、駅周りに住宅関係の建物を立てないでほしい
城しかない
神姫バスとタクシーの運転が荒い
信号が多い、忙しい時大変
信号の待ち時間が長い気がする
深夜にバイク等がうるさい
スクランブル交差点で歩行者が渡る時間が少ない自転車を降りて渡ると混雑する
スクランブル交差点のところが面倒くさい
少し田舎。姫路駅にもっと有名な店や日本に一店しかないような店がほしい
少し田舎。不便
少しうるさい
少し空気が悪い
全てがさつぱい
狭い道が多い。交通が不便
騒音がすごい
体育館が少ない。いつも予約でいっぱいなのでもっと増やしてほしい
大都会と比べると店舗がしょぼい
大都市と比べて就職先が少ない
建物の階層が低くなりがち。姫路駅周辺の駐輪所の少なさ
たまに柄の悪い人がいる
たまに騒音
治安。気にしてしまうから
治安が悪い
治安が悪い
治安が悪い、ヤンキーが多い、けんかしている人を見ると面倒くさい
治安が悪い、夜の外出が怖いから
治安が悪い。怖い人が多い
治安が悪い。信号無視や飛び出すお年寄りや子供を見かける
治安が悪いところがある
治安が悪く、怖い
治安は良くないし、うるさい
地域によって格差がある気がする
地域によっては遊ぶ場所がない点
地域の差がある
近くに大きなショッピングセンターがないので買い物に不便。バスの便が一時間に一本しかない
中学校の治安が悪い。電車のマナーが悪い。警察が役に立たない。無人駅が多い
中心部での信号の混雑とながらスマホ、歩きたばこ
中途半端に都会
駐輪にお金がかかる
ちょっと田舎とちょっと都会の差が激しい。田舎に行ったときに不便
通学路や道が狭く、事故しそうになる
電車、バスの本数が少ない
電車が少ない

電車が少ない
電車の賃金が高い
電車の本数が少ない
電車の本数が少ない
電車の本数が少ない
電車のローカル線の本数が少ない
電車やバスの本数が少ない。店の閉店が早い。
東京中心の社会では新しいもので恩恵を受けることが少なく、ほかの大都市と比べて見劣りしてしまう点
道路、公共施設が汚い
道路が汚い
道路が狭い
道路が狭いので事故を起こしやすそう
道路が舗装されていないところが多く危険
道路の水たまり
都会感があまりない。大阪に行ったときに都会感に圧倒される
都会的でも緑が多いわけでもないところ
都会に比べ、店が少ない点
都会に見えて田舎なところ
都会のようで実は田舎なところ。有名な店がなく、規模も小さい
特出していいところがない
特定の場所に人が多い、空気が悪い
特に市の北側では交通の便が悪い点。通学に影響を及ぼす
特に姫路の田舎のほうにバスが通っていない。一時間に一本など、少ない
都市計画が下手。駅からお城にかけての魅力が皆無。地方都市間が半端ない
何もないところ
何もないところ
西高に頼り切り
人間がクズすぎる。配慮に欠ける人々が多々いて、環境は悪くないが、社会的マナーに欠けていて不満がある
猫が多い点
寝ているときにバイクの音がうるさくいらいらする
バイクなどの騒音
バイクの音
バイト給料が安い
バスが少なく、不便
バスの本数が少ない。学校帰りやどこか行こうとしてもバスを待つことが多い
バスの路線が行き届いていなく、とても不便。駅周辺のごみが多い
バスや電車の本数が少ないところ
浜辺の人は気性が荒い。秋祭りはうるさいので嫌い。城ばかりにお金をかけて、学校にお金をかけてくれない
播但がひどい。治安が悪い
播但線があまり通っていない
播但線の便が少なすぎる点
人が荒っぽい、怖い
人が多い
人が多い。電車の本数が少ない
人が多いから面倒くさい
人が多く、道も混む

人の集中しているところとそうでないところとの差がすごくて自転車に乗っていたら危ない
微妙に田舎なところ
姫路駅あたりがごちゃごちゃしすぎ
姫路駅周辺には本、服などの店が多いが、遠のくと店が少ないところ
姫路駅周辺を少し離れてしまうと、何もない
姫路駅付近が自転車禁止で不便
姫路駅前もうちょっと頑張ってほしい
姫路城があつて観光客もたくさん来るから、城周辺にもっと店を増やしてほしい
姫路城しか売りがない
姫路城しかない
姫路城しかないこと
姫路城一つに頼りすぎている点
姫路城前の観光客の歩道の利用
姫路城を活かせていないところ
姫路城を商業に活かし切れていないところ
姫路に出ても遊べる場所がなく、姫路城以外に何もない
姫路をどう変えていきたいのか全く分からない(姫路城をピンク色に染めていたから)
病院が多く、遊ぶ場所があまりない
ビルが少ない
風景が同じ
服を買う店、CDを買う店がない
物騒
不便
不便
冬が寒い
不良が多い
雰囲気が悪い時がある
便利が悪い時がある
ポイ捨て
ポイ捨て
ポイ捨てが多い
ポイ捨てが多い。汚い
ポイ捨てが多い。道がでこぼこ
ポイ捨てが多すぎるし、マナーが悪い人が多い
ポイ捨てがたくさんあり、街の景観が汚くなる
ほこり
歩道、自転車通行用の道路が少なく、危ない
歩道が駅前しかきれいでない。危ない道や狭い道が結構ある
歩道が少ない
歩道が狭いところがある
歩道が狭くて危ない
まだまだ無駄な出費が多い
街に出るとガラの悪い人が多くていや
祭り
祭りのときの地域間の行事という半ば強制的な団結がとても鬱陶しい
周りの人から言葉遣いが悪いといわれること

店が少ない
店が少ない
店が少ない
店の閉まる時間が早すぎる。夜に買い物したい
道が狭い、がたがたして通学時危険
道の端の植木がきれいにされていないところがある。街灯がなく、暗いところがある。レールがなかったり、柵が無かったりして、危ないところがある
道幅が狭い
ミュージシャン気取りの輩が駅前にいること
民度が低い、柄が悪い、姫路城一点集中、駅前の工事延期、排他的、閉鎖的、田舎、何もかもが中途半端、歩道がないところが多い、人より車優先状態、モータリゼーションの弊害
もう少し都会になってほしい
もう少し店のバリエーションを都会並みに増やしてほしい。イベントが都会中心であるからもう少しこちらのほうでもしてほしい
もっと姫路は人が来てもいいのに来ないところ
ヤクザがいる
山崎断層があること
ヤンキーが多い
ヤンキーが多い
雪が少ない
良く事故が起こるような交差点には警察の人がいないのに、信号がついている安全なところに警察がいるところ。カーブミラーも全交差点に付けてほしい
よそ者嫌い
夜道が真っ暗
夜うるさい
夜が怖い、暗い
夜の駅付近の柄が悪い
夜の騒音
夜のバイクがうるさい。言葉遣いが荒い
ライブや舞台、ミュージカルが見れるドームがない
ルールを守らない人が多く、事故に巻き込まれる

V-2-2【大学生】

Q7 希望の制度
安定している
育休
育休
育休、産休制度
育休がしっかりとれる。有給がとれて残業がない
育休制度
育休制度、女性管理職率を高める、残業はあまりしない
育休など
育児休暇
育児休暇
育児休暇
育児休暇
育児休暇があること
育児休暇がしっかりとれる
育児休暇制度、育児から帰ってきても働きやすい職場
育児休暇をとっても復業しやすい制度
育児をしながら働ける制度があればいいと思います
一年目でも有給をとらせてくれるような雰囲気。(制度はあっても取れる雰囲気ではないと聞く)
一か月ボンと休みをくれる制度
一週間のうち、何時間働けば良いかが決まっており、それを満たせば数日でもいい制度
いつでもご飯やおかしが食べれる環境
今ある制度について知らないのかわからないが、昼に食事とは別に 10 分程度眠れたらよい
海外研修
海外で仕事がしやすい
海外に留学できる
海外留学制度
確実な週休二日と、有給休暇がとれる制度
家族での旅行手当が出る
完全週休二日制
完全週休二日制
完全週休二日制、育児休暇
完全週休二日制、資格を得る際の受験費負担など
完全週休二日制とその他の休日、祝日。育児休暇
完全週休三日制
企業の仕事場の見学制度
休日がちゃんとある
勤務時間を指定しない
クールビズ
クビにならない制度
クレーム対応は直接上司につなぐ制度
結婚、出産、育児というライフイベントにも柔軟に対応してくれる制度。配偶者と一緒に住めるような配属先を決められるなど
五勤二休
子育て支援制度

子育て制度
子育て制度の強化
産休・育休制度
産休・育休制度が充実
産休・育児休暇
残業があってもいいが、賃金は出してほしい
残業がなく、会社内が穏やか
残業時間が少ない
残業したらいけない
残業代がしっかり出ること
残業代全額支給
残業手当、産休手当
残業なし
時間外労働もしっかり自給分もらえる
時間に自由がきく
仕事だけでなく、人との交流につながるイベントや企画を考える
仕事の出来高制で給料が支払われる制度
しっかりとしたサポートや職場、キャリアアップをしてくれるところ
実用英語をしっかりと学習できる制度があればよいと思う
自分に足りないところ、必要などころなどを確認して、様々な相談をしたりアドバイスをしてくれるチューターのような存在
社員の意見もできる限り耳を傾けてくれるような制度
社長と何気なく愚痴を言える制度
社内なら私服可
週休二日制
週休二日制
週休二日制
充実した研修制度
終身雇用制
終身雇用制
出産、子育てに関して気兼ねすることなく休みや業務負担を軽減できる制度
上司に対して下剋上
昇進制度
昇進制度
将来性があればよい
職員にいい制度があればいい
新卒者を積極的に採用してくれる制度
少し融通がきく
楽しければよい
ちゃんと働くので、育休・産休ややむを得ない休みに対応してくれる制度
長期休暇
月に一回社員全員で親睦会、相談会
出来高制
特になく、働きやすい環境であれば良いと思います
独立
土日祝完全休み
土日休み

土日休みでボーナス、昇給あり
長い休みを一气にとれる制度
長く働き続けることを考えた制度
仲間同士の信頼関係を大事にする制度
何か現状の企業の実態を知れる制度。結局いいところしか見せないだろうから
人間関係を気にしなくてもいい制度
妊娠・出産のフォローがある
ノー残業デー、英語・スペイン語を使う機会あり、資格取得奨励有、家族手当有、完全土日休み、海外で働ける、住宅補助有
博士後期課程を取るための援助をする制度
働きやすさ
一人一人の成績をデータにして、良かった人にボーナスを与える
昼寝
昼寝の時間がある
福利厚生
福利厚生
プライベートでの交流
フリーターにならないようにしてほしい
フレックスタイム
フレックスタイム制
フレックスタイム制
フレックスタイム制度
フレッシュタイム制
保育所
法律をきっちり守る制度
ボーナス
他企業との交流などがある。福利厚生がしっかりしている。社内研修
保険。福利厚生。休み
まかない付き
昔からこうしているから、など今までのことに関わらず、新しいことに取り組んでいける方針のある会社が良い
休みたいときに休める
休みをきちんととりたい
有休
有給
有給、ボーナス、土日祝休み
有給がとりやすい
有給が無駄にならない制度
有給休暇を取ることを推進、さらに言えば義務になるくらいの制度
有給制度がしっかりしている。福利厚生が整っている
有給手当
良い研修とそれを実践できる場が設けられること、土日祝日が休日
リストラなし
理不尽な上司・客から離れやすいシステム
留学支援
労基法がしっかりと機能している企業
労働時間制限制度

Q12 就職したい或いはしたくない理由
新しい環境は慣れるのに時間がかかりそう
あまり大きな会社がない気がする
あまり考えたことがない
あまり考えていない
あまりはっきりしない
あまり魅力を感じない
良い就職先があればどこでもいい
家から通えたらいい
家から近い、実家から通えるので安心できる
家から近いから
家から近すぎるから
家から遠い
行きたい会社が姫路にあるとは限らないから
田舎
田舎
田舎だから
田舎だから
田舎は不便だから
今の自宅から遠いから
色々な環境で住んでみたいから
生まれ育った土地に何か還元したいから
生まれ育った町だから
大きな会社がないから
大阪がいいから
大阪市に住んでいるから
大阪と比べてかなり不便な上、普段の通学の時点で事故にあいかけることが多く、危ない町だと思っているから
大阪のほうが職が多いから
大阪や神戸まで遠いから
大阪や東京などで働きたいから
親は姫路で就職したら良いと言います
海外で生活し、仕事をしたいから
海外で働きたいから
海外で働く
家庭を持った時に近ければ安心だから
通いやすいほうだと思う
通うのが大変だから。あまり魅力を感じないから
通える場所であれば姫路でなくとも良い
考えがまだぼんやりしているから
関東・中部あたりで就職したい
関東に出たいから
希望している業種で働きたい所が姫路市内でないから
給料がいいのか悪いのかわからない
京都府、大阪市、神戸市、東京 23 区、横浜市、千葉市が良いから

近畿辺りならこだわらないから
勤務地に希望はない
勤務地にこだわらないから
勤務地に対するこだわりはないから
勤務地にはこだわらないのでどちらでもよい
具体的に決まっていない
口が荒いです
京阪神などの関西の主要都市から離れているから
現時点で何も思わないから
県内なので良いが、できれば神戸・大阪で働きたい
県を出てみたい
交通が不便で困る。息抜きしたい場所が無い。夜になると光がない所もあり危険
交通の便が微妙
神戸が良い
こだわりがない。学業のために姫路に来たので、特に姫路に思い入れがあるわけではない
こだわりはないから
言葉が汚い
これから学んでいった後に、やりたい仕事ができる会社や職場が姫路にあるかもしれないから
市場の大きいところのほうが利益があるから
したい仕事ができればどこでもよい
自宅が近いから
自宅から遠いので、あまり姫路を就職地に考えていない
自宅からも通えるが、もう少し自宅に近くても良いため
実家が大阪で、実家近くで就職したい
実家が大阪で姫路まで遠いから
実家が神戸だから三ノ宮で働きたい
実家が宝塚のため
実家が姫路でないため
実家が姫路ではないため
実家から通えるところがいい
実家から通える範囲でないため
実家からそこそこ距離があるし、それならもっと街な神戸が良い
実家から近いところに就職したいから。
実家から遠い
実家から遠い
実家から遠く、交通システムが悪く感じられたから
実家から西方向の印象がよろしくない
実家から離れているため
実家近くの市で働きたい
実家と離れているから
実家より都会のところで働きたいから
市内でとどまるか、とどまらないかは分からないから
自分が住む場所の近くならどこでもいい
自分が育った地域でないところで就職したいと考えているから

自分の希望する職業がなかった
自分のやりたいと思える仕事をしたい
地元が明石なので、できるだけ明石市内で就職したい
地元が大阪だから
地元が大阪で姫路に知り合いなどもおらず、大阪のほうが暮らしやすい
地元が加西なので近いから
地元が好きだから
地元が遠いから
地元が姫路で実家が近いから
地元が姫路でない
地元が姫路ではないから。特に姫路にこだわらない
地元が兵庫でも姫路でもないのだからわからないです
地元が良い
地元から遠いから
地元から遠いため
地元から姫路は遠すぎる
地元近隣が良いから
地元で就職したいから
地元で就職したいから。
地元で就職したいと考えているため
地元ですらないから
地元で働きたい
地元で働きたいから
地元で働きたいから
地元で働きたいから
地元ではなく、遠いので
地元近く、交通の便がいいところが良いから
地元のほうが良い
地元へを希望しているから
就職活動していないので分からない
就職先をもう考えているから
就職したいと思える会社があれば就職したい
就職地にはこだわらない
就職地はどこでもよい
就職できることが大切
就職はしたいと思うが、場所のことは考えていない
就職場所はあまり希望はなく、企業の中身で決めたいから
就職場所は特にこだわっていません
就職を考えていないから
出身が姫路市内ではないからです
出身だから
出身地での就職を考えているから
出身地ではないから
出身地ではないから

出身地に帰りたいから
出身でないから
将来親が年をとったとき面倒を見れるから
自立したい
ずっといるから出たいです
ずっと姫路にいるので
する可能性も、しない可能性もあるから
想像できない。家から遠くない
その時次第
そんなに姫路が好きでない
大学が姫路にあるというつながりだから
大学が姫路のため
治安が悪い
近いから
近いから
近いから
近いから親と離れないから
近すぎていや
通勤にくい(電車の本数が少ない)
通勤にできるだけ交通機関を使いたくない
つきたい職種があれば、姫路市内で就職しても構わない
できれば地元で就職したい
遠い
遠いため
都会が良い
都会ではないから
都会に行きたい
都会のほうがいいと思うから
特定の場所で働きたいという意思がない
特に思い入れがないから
特に希望はない
特に希望はないから
特に勤務地にこだわっていないため
特にこだわらない
特にこだわりがない
特にこだわりがないから
とくにこだわりがないから
特にこだわりはない
特に姫路という土地に対して思い入れがないから
特に姫路に愛着があるわけではなく、どこでもいい
どこで就職しても良い
どこでもいいから
どこでもいいから
どこでもいいから

どこでもよい
都市圏から遠い
都市圏に行きたいため
都市部への交通の便が悪い
どちらでもよいから
どちらでもよいから
どちらとも言えない
どちらとも言えないから
どの大学院に進学するかわからないから
場所に興味ない
場所にはあまりこだわらない
場所に関係ない
場所はどこでもいい
場所はどこでもいい
場所はどこでもいいから
場所までは問わない
働きたい職が姫路にないから
一人暮らしをする魅力を感じないから
姫路があまり好きでない、治安が悪い
姫路があまり好きでないから。田舎独特の人間性な気がする。
姫路が地元ではないから
姫路が好きだから
姫路が好きでないため
姫路から出たい
姫路市街に住みたいから
姫路市内ではなくても、兵庫県内ならいいと思っているため
姫路市内に行きたい会社がないから
姫路市内に行きたいところがない
姫路市内にこだわらない
姫路市内にそこまでこだわっていない
姫路市内にどんな化学系の企業があるかわからない
姫路市内には自分が働きたいと思える企業がない
姫路市内の工業系の会社についてもいいし、神戸や大阪でも構わないから
姫路市内は不良が多い。運転マナーは悪く、トラブルになることがしばしばあったため住みたくない
姫路市にこだわりがない。どこでもよい
姫路市のことをまだよく分かっていないから
姫路市は駅周辺以外になると、商業施設があまりないため、住むのに不便だから
姫路出身ではないため
姫路だけに絞りたい
姫路である理由がない
姫路で就職することも考えられるが、やはり地元で就職したい
姫路で就職するなら地元のほうが良い
姫路でなくてもいい
姫路での生活に慣れているため、あとは給料が良ければ残りたいです

姫路に愛着があるわけでもないわけでもない
姫路にいたいとは思わない
姫路に興味がない
姫路にこだわりがない
姫路に自分のやりたいことがない
姫路に住みたくないから
姫路に住んでいないから
姫路に住んでいないため
姫路に住んでいないのでよく分からない
姫路に住んでみて、住みやすい地域だと感じたので
姫路には何も無いから
姫路のことをあまりよく分かっていない
姫路は田舎というイメージなので、働くとなるとずっとそこに住まなくてはいけないと思うし、それは苦痛に感じるため
姫路はそこまで便利ではないから
姫路は治安があまりよくない。車の運転が陰湿。日用品、食品が高い
姫路付近から離れたいから
姫路も駅前以外田舎で生活しにくそうだから
兵庫県なら神戸のほうが馴染みがあるから姫路市で就職したいとは思わない
不便すぎる。家から遠い
不便だから
ほかの地域でやりたいことがある
ほかの地域にも目を向け、そこで自分に合った地域で働きたいため
ほかの土地で働くよりは姫路にいたい
まだ決定していない
まだ五年以上先のことから細かく考えていない
まだそこまでわからない
まだどこで就職したいか決めていないから。でも地元が近いほうがいい。
まだどこに何があるかわかっていないから
まだ何も考えていないから
まだ何も決められていない
まだ未定です
まだ分からないが、どこでもいい
未定
未定です
もう少し都会に行きたい
もっと都会がいい
もっと都会で働きたい
もっと都会に行きたいと思う
もっと都会に出たい
もともと関西出身ではないから。言葉の壁があり、標準語のほうが過ごしやすと感じた。10年くらい関東のほうで暮らしていたから。
もともと姫路に住んでいたわけではないので、特に愛着がない
やりたいことができればどこでもよい
やりたい職業が決まっていないから

より高度なところへ行きたいから

若い者が仕事をする場所にはらしくない

Q13 環境好き
ある程度の都会
ある程度の店が充実している
いい意味でほどよく田舎。しかし新幹線の駅もあるので利便性が高い
意外と便利
衣食住のうち食と住には困らない
田舎
田舎がきれい
田舎ではないところ
海が近い
駅がきれい
駅が近い
駅から姫路城が見えるところ
駅周辺
駅周辺が充実している点
駅周辺で大体の用事が済ませられること
駅周辺に色々な店がある
駅周辺は様々な店があること
駅周辺はショッピングモールが立ち並び、便利である
駅の近くに色々ある
駅の中に本屋があるので気軽に新刊が確認できること
駅の周りがきれい
駅前
駅前がきれいで観光客も多くて楽しい
駅前が栄えているところ
駅前が賑やかなところ
駅前の環境が整っていること
駅前の利便性
駅前はきれい
駅前はきれい
駅前は充実している
駅周りには多くの施設が存在していて、中心街に行くと、いろいろと楽しめる場所
おしゃれな若者が多く、見ていて華がある
お城
穏やか
外国人が多い
買い物に便利
観光客が多くて賑わっている
観光地として栄えている点
観光名所が多い
気候が安定している
喫茶店が充実している
近年、再開発が進み、格段に便利になった点。またスポーツセンターなどもあり、文化的にも伝統があり誇らしい
空気がいい。お店が多い
空気がおいしい
臭くない

景観がきれい
交通が便利
交通が便利、バスが使いやすい
交通手段が充実している
交通の便がいいこと。市内に住んでいるが、雨の日などはバスで難なく通学できる
交通の便が良いと思う
交通の便がいいところ
交通の便が良い。自然が多い
故郷だから。親がいるから
国際的
ごみの分別
ご老人が優しい。のんびりしている
最近駅前の再開発が進んできて買い物などがしやすくなってきた
静か
静か
静か
静か、夜ぐっすり眠れる
静かで暮らしやすい
自然
自然、城、きれいだから
自然が多い
自然が多いところ
自然が多く、地元と似ている
自然が垣間見える
自然が豊か
自然が豊かである
自然が豊かで空気が澄んでいる
自然豊かである点。生活には困らない
自転車で事足りること
地元 비해、公共交通機関が多い
商業が発展している
徐々に栄えていっている
知り合いが多い
城があり、人が集まるから
城がある
城がきれい
城がきれい
しろまる姫がかわいい
新幹線が通っているので便利。田舎で落ち着く
神姫バスの運行数が多い点
人口が多すぎないところ
好きでない
少し田舎っぽいところと、駅前のような開発されたところと色々ある

住み慣れている
住みやすい
住んでません(大阪在住)
世界遺産である姫路城があること。姫路城が楽しそうな雰囲気
世界遺産である姫路城が身近にある
全部
そこそこある程度店が揃っている点
大都市ではないが暮らせる
高い建物が少ない
治安が良い
地域とのつながり
小さいときに育ったところ
地価が高くない
近くにコンビニがある
地理が分かっている
月が見えるところ。草など、周りの景色で季節が感じられる。しろまるひめが可愛い。地名がきれい。
適度に田舎なので静かがいい
電車がある
伝統行事など積極的
都会過ぎず、適度に必要なものがそろえられるお店がある点
都会でもなく田舎でもない
都会と田舎の間である点。居心地が良い
都会と田舎の間にある感じ。楽で不便でないから
特になし
都心ほど人が多くなくて息苦しくない
土地が広い。物価が安い
慣れている
飲み屋が多いところ
乗り換えとかで道に迷うことがない
のんびりしている。時間をあまり気にしないがいい
場所によって住みやすく、駅近くは様々な物などがあり、生活はしやすい
バス、電車、デパートがある
バスが多い、移動しやすい
バスが走っている
バスが頻繁にくる
バス停が多く、バスも良く走っている
バスで行き来できる
バスなどの移動手段については便利
発展してきた
比較的大きいが、人が多すぎるわけでもないところが良い
人が多い
人が多い
人が多すぎるのも少なすぎるのも苦手なので、ちょうどいい点
人が少ない
人が少ない。電車に乗りやすい
人が少ない。並ばなくて良い

人が少ないので動きやすい
人混みが少ないところ
姫路駅が大きい
姫路駅周辺の景観が良い
姫路駅の利便性。実家に帰るとき楽で、駅の周辺の町も好きで、気分転換に行くのも良いので
姫路駅付近がとて賑わってきた点。地域が活性化している気がする
姫路城
姫路城
姫路城、美しい
姫路城、書写山、セントラルパークなど楽しめる場所が多い
姫路城があつてとてもグローバルになっていて面白い
姫路城があり、美しい
姫路城があり、趣がある
姫路城がある
姫路城がある
姫路城がある。のぞみをとまる
姫路城があること
姫路城があること
姫路城があること。海外の人がいっぱい来るから良い
姫路城があること。世界遺産を見てちょっとテンションが上がるから
姫路城があることで観光客が多く、街並みが都会過ぎないのが良い。
姫路城近辺が整備されていてとてもきれい
姫路城のライトアップがいい
姫路城前のお店の雰囲気が好き
姫路に出ればそこからは交通が良い
広い
広い公園が多い、遊具や広場が多く、様々な活動の場になる
フリーダム、静か
フレンドリーな人が多い、バスや電車が多くて便利
程よい田舎で住みやすい
ほどよく田舎
程よく田舎であること
程よく栄えている
程よく都会
ほどよく町
ほとんど何でもある所
町が広くて開放的。空気が良い。姫路城がきれい。駅前も再開発されて利便性も良くなっている。新幹線ののぞみも止まるものは止まる
町中がすごくきれい
街並み、人が多い
マックスバリュが多い
祭りが盛んなところ
店がある
店が多い。バイト募集の応募がしやすい
みなさん地元愛が強い
有名都市として多くの機能がそろっていて便利
ゆたか

Q14 環境嫌い
遊ぶところが無い。新しい施設ができて、利用しない店舗が多い
遊べる場所がない
あまり店がなく、買い物に困る
歩きタバコ
行きたい服屋さんがいない
行こうと思う場所があまりない
衣食住のうち衣に関しては不満がある。神戸の umie のような施設がほしい
一通が多い
一方通行など
一方通行の車線が多い
田舎
田舎、駅からの交通手段が不便
田舎、街灯が不十分で、夜、とても暗いところが多い点
田舎、姫路市のドライバー全員危なすぎる
田舎、不便、バスが高い
田舎。大阪から遠い
田舎。不便。神戸から遠い
田舎すぎる(駅前以外)
田舎すぎる。道が狭い。交通が不便
田舎に行くと何も無い
田舎のほうに住んでいるので交通便
田舎は田舎すぎる
運転が荒い
運転が荒い
運転が荒い
運転が荒い、交通が不便
運転が荒い方が多い
運転が荒いです
運転が荒い人が多い点
駅から少し離れると何も無いところ
駅から離れると交通が不便
駅から離れると店が少なくなる
駅周辺以外の交通が不便
駅周辺を夜に歩くのは少し怖い。変な人が多いイメージ
駅の近くしか栄えていない
駅前以外発展してないところ
駅前くらいしか栄えていない
駅前しか栄えていない
駅前しか栄えていない
駅前しか栄えていない。遊ぶところがない

駅前にいい店が少ない
駅周り以外なにもない。名前だけ有名
大阪・神戸まで遠く、不便
大阪など企業がたくさんある所からは遠い
大阪や京都までが遠いのと、お金がかかる。買い物や観光に行くことが趣味だから
外国人がいて、話しかけられる
外国人が多い
街灯がない。道にガードレールをつけてくれないと危ない
活気がない
学校が遠い
柄が悪い
柄の悪い人が多い
観光客が多い
汚い
汚い。ごみがよく捨てられている
クラブがない
車が多い
車が多い
車が多い。渋滞しがち
車がないと生活しづらい
車がないと不便
車が不可欠なところ
車が乱暴、青信号で渡っていたのにすごいスピードで曲がってきて怒鳴られた。道が狭く、車が近くて怖い
車の運転、柄が悪い人がいる
車の運転が荒い
車の運転が荒い
車の運転が荒い。ウインカーを出さない
車の運転が荒い。人の気性が少々荒い。道が狭い。姫路市に住んでいる人間よりも外国人観光客のほうを重視しているように思える。(大手前通り以外の道が狭い、でこぼこしている)
車の運転が荒い人が多い
車の運転が荒い人が多い、割り込み、追い越しなど。危険だと思ふことがある
車の運転がとにかく荒い
車の運転マナーが悪い。外国人の扱いがざつ。給与が安い
車やバイクの運転が荒い。赤信号でも突っ込むのでひかれそうになる
県大付近があまり栄えていないところ
交通が多少不便
交通が不便
交通が不便であること
交通が悪い。田舎のほうは不便だから
交通機関が多いため混雑すること
交通の便
交通の不便さ
交通の利便性
交通マナーが悪い人がよく見かけられる
交通網が充実していない
交通網が整っていない(終電・始発)
交通量が多い

神戸・大阪までの電車代が高い
個人主張の強い人が多いこと
言葉が汚い
言葉が汚い
言葉遣いが汚い
坂が多い。バスが少ない
寒い、買い物をする場所が少ない
市街地まで遠い
施設が少ない。交通が不便である
自転車(めちゃり)を推している割に、道がぼこぼこで自転車に不向き
自転車で走る時に車とぶつかりそうなところ
地元にはある店がなかったりするため不便
終電が早い
終バスが早いこと
週末など特に駅周辺の勧誘が多い点
上記の本屋でTポイントがつかないこと
少々不便
書写が寒い
スポーツジムまたは公共の体育館のようなものがない
住んでないが、治安が悪い
全般的に盛んじゃない
騒音、車の運転。危険だから
宅地の開発について。大学にコンビニくらい隣接してほしい
たばこを吸う人が多い。車の速度が速く、車の数が多い。自転車に乗る時、道ががたがたで危険
たまに落書きされているところを見る。バス代が高い
治安が良くない
治安が悪い
治安が悪い
治安が悪い
治安が悪い
治安が悪い、交通の便がよくない
治安が悪い。人が怖い
治安が悪い点
治安悪い
治安悪い
地方都市の典型、田畑が続く様子が嫌い
駐車場がない
中小都市
躊躇半端に都会
つまらない
電車の数が少ない(播但)
電車までが遠い、市外に出にくい
道路が狭い
道路が狭いこと
道路整備不備
道路の狭いところが多い歩道が少ない

都会に遊びに行くには遠い。交通費もかかる
特に何も無いところ
都市のわりに大きくない
とばす車が多いイメージ、一方通行車線が多いこと。自家用車で観光に来る人にとってとても使いにくいし、分かりにくいと思う
夏の湿度。治安が悪い
何も無い
何も無い
飲み屋が少なく、高い
野焼きがある
バス、電車の便が悪い
バスが遅れる
バス代が高い、姫路城以外の史跡も推すべき
バス代が高い。姫路城以外の観光施設がない
バス代をもっと安くしてほしい。姫新線の電車の本数をラッシュ時だけでもいいので増やしてほしい
バスの通る道がすごく細い所がある
バスの本数が少ない。田舎なところ
バスばかり
パチンコ屋が多く、うるさい
バリアフリーがまだ十分でない
人が荒い
人が多い
人が苦手
人が苦手。車の運転が荒い
姫路駅周辺しか栄えていない
姫路駅周辺は栄えているが、兵庫県立大学周辺はそうでないところ
姫路に出るまでのバスが一時間に一本しかない
広い道路が少ない
服を買うところが少ない。マイナーな映画を上映しない。
物価が高い。姫路駅周辺はにぎわっているが、一歩外へ出ると車がないと不便。自転車で移動するには道が悪い。電車が少ない。
不便
雰囲気、姫路城しかない点
ほかの都市との交通の便が悪い
歩道が狭い
歩道が狭いところがある
町が広い分車がないと不便。京阪神地帯から遠い。西の姫路、東の尼崎と言われる(個人的な主観)くらい柄が悪い。
マナーが悪い
マナーが悪い
店があるようでなく、不便
店がおおいのでその分目的地を見つけにくい
店が偏っている。レンタルビデオ店が少ない
店が少ない
道がぐちゃぐちゃしている、道が狭い
道が狭い
道が狭い

道が狭い
道が狭い、整理されていない
道が狭く、自転車で移動しづらい
道が分かりづらい
道の状態が良くない。バスが不便
道の整備
緑の自然が少なくなっているように感じる
虫が多い
虫が多い、自転車が運転しにくい
虫が多いこと
もうちょっと新幹線を停めてほしい。帰省するときに少し不便
ものがない
焼き畑のにおいが嫌
ヤンキーが多い
ヤンキーが多い
夜中の珍走団がうるさいこと
夜が怖い
夜早く店が閉まるので平日帰りに利用しづらい
若者が住むには不便。大学付近をもっと都市化するべきだ
悪いイメージを持たれやすい

地元就職促進に関する調査研究報告書（全体版）

平成 29 年（2017 年）3 月

■発行／姫路市 市長公室 地方創生推進室

〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目 1 番地

TEL (079) 221-2832

http://www.city.himeji.lg.jp/s10/2212381/_33984.html